

平成25年度（平成24年度 実施事業）

# 上尾市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

上尾市教育委員会

# 目次

## I 点検評価制度の概要

1 点検評価制度の趣旨	1
2 上尾市教育振興基本計画・教育行政重点施策	1
3 平成25年度における点検評価	1
4 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用	2
◎平成25年度教育委員会点検評価 実施主要事業	3

## II 教育委員会活動

1 上尾市教育委員会の組織と事務分掌	7
2 上尾市教育振興基本計画	9
3 平成24年度 教育行政重点施策	15
4 上尾市教育委員会の活動	
(1) 平成24年度 教育委員会会議の開催状況	23
(2) 平成24年度 教育委員会議決案件	23
(3) 平成24年度 教育委員会委員の主な活動	26
5 平成24年度 教育費予算額	
(1) 平成24年度 上尾市一般会計歳出予算(当初)【目的別】	29
(2) 平成24年度 教育費歳出予算内訳(当初)	30
(3) 平成24年度 教育予算主要事業概要	31
6 平成24年度 教育費決算額	
(1) 平成24年度教育費決算 節別内訳	37
(2) 平成24年度教育費決算 人件費等に関する調	39
(3) 平成24年度教育費決算 性質別歳出内訳及び財源内訳	41
(4) 一般会計・教育費決算額の推移	42

## III 評価結果（施策評価）

### 基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成

施策1 創意工夫を生かした適切な教育指導の実施	45	施策4 特別支援教育の推進	50
施策2 時代の変化に対応した教育の推進	47	施策5 幼児教育の推進	52
施策3 進路指導・キャリア教育の充実	49		

### 基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成

施策1 豊かな心の育成	54	施策5 学校保健の充実	61
施策2 生徒指導の充実	57	施策6 食育の推進・学校給食の充実	62
施策3 人権教育の推進	59	施策7 児童生徒の体力向上	63
施策4 学校教育相談の充実	60		

### 基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進

施策1 教職員の資質・能力の向上	66	施策4 学校のICT化の推進	71
施策2 学校経営の改善・充実	67	施策5 学校安全の推進	73
施策3 学校施設・設備の整備・充実	69	施策6 就学支援の充実	74

### 基本目標Ⅳ 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上

施策1 学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進	76	施策2 家庭教育の充実	77
--------------------------	----	-------------	----

### 基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート

施策1 生涯学習体制の充実	79	施策4 人権教育の推進	82
施策2 生涯学習施設の整備	80	施策5 図書館運営の充実	83
施策3 生涯学習機会の提供	81		

## 基本目標Ⅵ 文化芸術の創造と文化財の保護

施策1 文化芸術活動の推進 ..... 85

施策2 文化財の保護 ..... 86

## 基本目標Ⅶ 健康で活力に満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策1 スポーツ推進計画の策定 ..... 88

施策4 スポーツ指導者の育成 ..... 91

施策2 スポーツ施設の整備・充実 ..... 89

施策5 スポーツ・レクリエーション活動の支援 ..... 92

施策3 スポーツ・レクリエーション事業の充実 ..... 90

## Ⅳ 評価結果（事務事業評価）

### 基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成

事業番号1	さわやかスクールサポート事業(学級支援) .....	95
事業番号2	理科教育振興事業.....	96
事業番号3	教育に関する3つの達成目標推進事業 .....	97
事業番号4	魅力ある学校づくり事業 .....	98
事業番号5	学力向上支援事業.....	99
事業番号6	小学校理科支援員配置事業.....	100
事業番号7	日本語指導職員派遣事業 .....	101
事業番号8	準教科書・副読本整備事業.....	102
事業番号9	英語弁論暗唱大会開催事業.....	103

事業番号10	中学生海外派遣研修事業 .....	104
事業番号11	小中学校ALT配置事業 .....	105
事業番号12	中学生社会体験チャレンジ事業 .....	106
事業番号13	中学生進路意識啓発事業 .....	107
事業番号14	特別支援学級補助員派遣事業 .....	108
事業番号15	特別支援教育推進事業.....	109
事業番号16	幼稚園就園奨励費補助事業.....	110
事業番号17	私立幼稚園児保護者負担軽減費補助事業 ..	110

### 基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成

事業番号18	学習支援事業 .....	112
事業番号19	さわやかスクールサポート事業 (学校図書館支援) .....	113
事業番号20	指導法改善事業.....	114
事業番号21	小中学校音楽会開催事業.....	115
事業番号22	中学校部活動支援事業 .....	116
事業番号23	中学校吹奏楽演奏会開催事業.....	117
事業番号24	道徳教育研究推進モデル校事業.....	118
事業番号25	小中学校図書整備事業 .....	119

事業番号26	図書館資料整備事業 .....	120
事業番号27	子どもの読書活動支援センター運営事業 ..	121
事業番号28	生徒指導推進事業.....	122
事業番号29	さわやか相談室運営事業 .....	123
事業番号30	人権教育推進事業(指導課所管分).....	124
事業番号31	不登校児童生徒の学校適応指導事業 ...	125
事業番号32	教育相談事業 .....	126
事業番号33	児童生徒体力向上推進事業.....	127

### 基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進

事業番号34	学校評議員制度運営事業.....	129
事業番号35	元気な学校をつくる地域連携推進事業 ...	130
事業番号36	小中学校教室エアコン整備事業 .....	131
事業番号37	小中学校教育教材整備事業 .....	132
事業番号38	小中学校校舎大規模改造(耐震補強)事業...	133
事業番号39	小学校校舎改築事業.....	134
事業番号40	小中学校コンピュータ整備事業.....	135
事業番号41	小中学校電子黒板整備事業 .....	136

事業番号42	児童生徒安全推進事業.....	137
事業番号43	学校安全パトロールカー事業 .....	138
事業番号44	入学準備金・奨学金貸付事業.....	139
事業番号45	小中学校特別支援教育就学奨励事業...	140
事業番号46	小中学校就学援助費補助事業 .....	141
事業番号47	要保護児童生徒医療費援助事業.....	142
事業番号48	準要保護児童生徒給食費援助事業 .....	141

### 基本目標Ⅳ 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上

事業番号49	家庭教育推進事業 .....	144
--------	----------------	-----

### 基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート

事業番号50	学校施設開放(生涯学習)事業.....	146
事業番号51	生涯学習指導者活動推進事業.....	147
事業番号52	成人式事業.....	148
事業番号53	子ども大学 あげお・いな・おけがわ.....	149

事業番号54	公民館講座事業 .....	150
事業番号55	人権教育推進事業(生涯学習課所管分).....	151
事業番号56	人権教育集会所運営事業 .....	152
事業番号57	ブックスタート事業 .....	153

### 基本目標Ⅵ 文化芸術の創造と文化財の保護

事業番号58	文化芸術振興事業 .....	155
事業番号59	美術展覧会事業.....	156
事業番号60	市民音楽祭事業.....	157
事業番号61	市民ギャラリー改修事業 .....	158
事業番号62	文化財調査・保存事業.....	159

事業番号63	埋蔵文化財調査事業 .....	160
事業番号64	文化財保護啓発事業 .....	161
事業番号65	歴史資料調査事業.....	162
事業番号66	古文書整理事業 .....	162

### 基本目標Ⅶ 健康で活力に満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進

事業番号67	学校施設開放(スポーツ振興)事業.....	164
事業番号68	市民体育館大規模改造(耐震補強)事業 .....	165

事業番号69	スポーツ大会等開催事業 .....	166
事業番号70	スポーツ教室・講演会開催事業 .....	167

平成23年3月、上尾市教育委員会では「夢・感動教育 あげお」を基本理念とした「上尾市教育振興基本計画」を策定し、新しい時代への新たな一歩を踏み出しました。

この基本理念にある

「夢」という言葉は、知・徳・体の調和のもと、目標・志を持って自己実現を目指し、変化の時代をたくましく生き抜く自立した人間を育成する教育を実践すること

「感動」という言葉は、人と人とのつながりや学校・家庭・地域のつながりの輪を広げ、一体となって、共に生きることの素晴らしさ、尊さを享受し、感動する心を大切にする教育を実践すること

を表し、教育委員会の願い、決意や、家庭・地域において“教育”に携わっていただいているすべての皆様の情熱、絆、希望が込められております。

昨今の社会情勢は、グローバル化、金融危機、さらには東日本大震災などにより、急速に変化し続けており、教育行政に着目すると、少子高齢化の急激な進行、家族形態の変容やライフスタイルの多様化等の社会変化に伴い、過去から社会問題化している いじめ問題、不登校をはじめ、学力・体力の低下、教職員の資質の向上、校舎等の耐震化、食の安全等、取り組まなければならない喫緊の課題が山積しております。

また、このような状況の中、教育委員会に対して社会全体が大きな期待を抱いている一方で、厳しい批判や不安が存在しているのも事実であります。教育委員会が、その批判や不安を払しょくし、市民の皆様から真に信頼される教育行政を運営していくためには、単に施策を講じ、事業の成果だけを求めるのではなく、適切なコストで最大限の成果を得ることができるよう、より効率的で効果的な行政運営を心がけ、市民の皆様に対して説明責任を果たしていかなければなりません。

そこで、上尾市教育委員会では、平成20年度から毎年、教育に関する事務について、点検評価を実施してまいりました。6年目となる本年度も、平成24年度に実施した70の教育に関する事務事業と「上尾市教育振興基本計画」に体系付けられた全32の施策について、自ら点検及び評価を実施し、聖学院大学教授小川洋様、元市立学校長 河原塚貴美代様、元埼玉県教育局生涯学習課主席社会教育主事 菊地豊様からも貴重なご意見を賜り、このたび本報告書を作成いたしました。

今般の自己の点検評価の結果、学識経験を有する先生からの評価、そして、市民の皆様から頂戴する貴重なご意見を真摯に受け止め、引き続き施策の効果の検証と改善を図りながら、「夢・感動教育 あげお」の実現に向けて、より効率的で効果的な行政運営を行ってまいります。

平成25年12月 上尾市教育委員会

## 上尾市教育委員会委員

委員長	細野宏道
委員長職務代理者	本田直子
委員	甲原裕子
委員	吉田るみ子
委員	岡田栄一
教育長	岡野栄二

# I 点検評価制度の概要

## 1 点検評価制度の趣旨

平成18年12月の教育基本法の改正、平成19年3月の中央教育審議会答申等を踏まえ、平成19年6月、教育委員会の組織やその運営方法を定めた「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正された。この法改正においては、大きな柱の一つとして『地方における教育行政の中心的な担い手である教育委員会が、より高い使命感をもって責任を果たすために、教育委員会の責任体制の明確化を図ること』が掲げられ、実現する一つの方策として、平成20年4月1日から、各教育委員会は、毎年、教育に関する事務の管理執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して、議会に報告するとともに、公表しなければならないことが定められた。

この点検評価の実施にあたっては、教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取する機会を設けるなど、知見を活用することにより、教育委員会が行った点検評価結果の客観性を確保することが求められている。

## 2 上尾市教育振興基本計画・教育行政重点施策

平成23年3月に策定した「上尾市教育振興基本計画」であるが、「夢・感動教育 あげお」を基本理念として、「生きる力をはぐくむ」「生きる喜びをはぐくむ」「絆をはぐくむ」の3つの基本方針を掲げている。この基本理念及び基本方針を踏まえて、平成23年度から平成27年度の間に取り組む教育行政の7つの基本目標を定め、さらに、「夢・感動教育 あげお」の実現に向けて、この7つの基本目標には、全32の施策が体系付けられている。

また、この計画の実効性をさらに高め、今日的教育課題に素早く対応し、適切に解決していくために、「平成24年度上尾市教育行政重点施策」を平成24年3月に策定をしている。この重点施策においては、計画の7つの基本目標とそれに体系付けられた施策を効果的に展開していくために、70の事務事業を体系付けている。

当該計画を効率的かつ効果的に推進していくためには、PDCA サイクルの考え方にに基づき、当該計画と点検評価を関連付け、計画の進捗管理を行っていく必要がある。

## 3 平成25年度における点検評価

平成25年度における点検評価については、平成23年度に策定された「上尾市教育振興基本計画」に掲げられた各施策の下に体系付けられた事業（平成24年度上尾市教育行政重点施策において決定）について、事業レベルでの「事務事業評価」を実施するとともに、事務事業評価をベースに、施策レベルでの「施策評価」についても実施する。

なお、事務事業評価及び施策評価とも、評価基準日は平成25年3月31日とする。

### (1) 施策評価

施策評価については、各施策に体系付けられている事務事業の事務事業評価判定(S～D)、評価指標、決算額とともに、当該施策に係る成果指標を掲載している。また、「次年度以降の目標設定」を掲載し、計画の適切な進捗管理を行っていく。

### (2) 事務事業評価

平成25年度の「事業評価判定」の基準については、次のとおりである。

評価	評価基準
S	極めて効果があり、他の事業にも影響を与えた。
A	予定どおり順調に事務執行し、具体的な成果が表れており、引き続き、継続していく必要がある。
B	おおむね順調に事務執行し、成果が表れているが、一部を改善し、継続する必要がある。
C	目標とした成果が予定を下回っており、その手法について改善する余地が多くある。
D	目標とした成果を大幅に下回っており、事業廃止を含めて、事業の見直しをする必要がある。

## 4 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用

法においては、点検及び評価を行うに当たり、点検評価結果の客観性を確保する観点から、教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取する機会を設けるなど、知見の活用を求めている。聖学院大学教授 小川洋氏 及び 元上尾市立小学校長 河原塚貴美代氏に第三者評価を依頼したところである。

平成25年度においては、広範にわたる事業を網羅するため、生涯学習分野に元埼玉県教育局生涯学習課主席社会教育主事 菊地豊氏を加え、学識経験者3名に第三者評価を依頼する。

#### ◎教育に関し学識経験を有する者 ※50音順

聖学院大学教授 小川 洋 氏 (おがわ よう)

元上尾市立小学校長 河原塚貴美代 氏 (かわはらづか きみよ)

元埼玉県教育局生涯学習課主席社会教育主事 菊地 豊 氏 (きくち ゆたか)

#### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)〔抜粋〕

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## ◎平成25年度 教育委員会点検評価 (平成24年度実施事業の評価) 実施主要事業(全70事業)

### 基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成

#### 施策1 創意工夫を生かした適切な教育指導の実施

- 1 さわやかスクールサポート事業 (学級支援) 【再Ⅰ-4】
- 2 理科教育振興事業
- 3 教育に関する3つの達成目標推進事業 【再Ⅱ-1,Ⅱ-7】
- 4 魅力ある学校づくり事業 【再Ⅱ-7,Ⅲ-2】
- 5 学力向上支援事業
- 6 小学校理科支援員配置事業

#### 施策2 時代の変化に対応した教育の推進

- 7 日本語指導職員派遣事業 【再Ⅲ-6】
- 8 準教科書・副読本整備事業 【再Ⅱ-1,Ⅲ-3】
- 9 英語弁論暗唱大会開催事業
- 10 中学生海外派遣研修事業
- 11 小中学校ALT配置事業

#### 施策3 進路指導・キャリア教育の充実

- 12 中学生社会体験チャレンジ事業
- 13 中学生進路意識啓発事業

#### 施策4 特別支援教育の推進

- 再掲 さわやかスクールサポート事業 (学級支援)
- 14 特別支援学級補助員派遣事業
  - 15 特別支援教育推進事業

#### 施策5 幼児教育の推進

- 16 幼稚園就園奨励費補助事業
- 17 私立幼稚園児保護者負担軽減費補助事業

※ 16・17については、1シートで評価

### 基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成

#### 施策1 豊かな心の育成

- 再掲 教育に関する3つの達成目標推進事業
- 再掲 準教科書・副読本整備事業
- 18 学習支援事業
  - 19 さわやかスクールサポート事業 (学校図書館支援)
  - 20 指導法改善事業 【再Ⅲ-1,Ⅲ-2,Ⅲ-4】
  - 21 小中学校音楽会開催事業
  - 22 中学校部活動支援事業 【再Ⅱ-7】
  - 23 中学校吹奏楽演奏会開催事業
  - 24 道徳教育研究推進モデル校事業
  - 25 小中学校図書整備事業 【再Ⅲ-3】
  - 26 図書館資料整備事業 【再Ⅴ-5】
  - 27 子どもの読書活動支援センター運営事業 【再Ⅴ-5】

#### 施策2 生徒指導の充実

- 28 生徒指導推進事業
- 29 さわやか相談室運営事業

#### 施策3 人権教育の推進

- 30 人権教育推進事業 (指導課所管分)

#### 施策4 学校教育相談の充実

- 31 不登校児童生徒の学校適応指導事業
- 32 教育相談事業

#### 施策5 学校保健の充実

#### 施策6 食育の推進・学校給食の充実

#### 施策7 児童生徒の体力向上

- 再掲 教育に関する3つの達成目標推進事業
- 再掲 魅力ある学校づくり事業
- 再掲 中学校部活動支援事業
- 33 児童生徒体力向上推進事業

### 基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進

#### 施策1 教職員の資質・能力の向上

- 再掲 指導法改善事業

#### 施策2 学校経営の改善・充実

- 再掲 魅力ある学校づくり事業
- 再掲 指導法改善事業
- 34 学校評議員制度運営事業
  - 35 元気な学校をつくる地域連携推進事業 【再Ⅳ-1】

#### 施策3 学校施設・設備の整備・充実

- 再掲 準教科書・副読本整備事業
- 再掲 小中学校図書整備事業
- 36 小中学校教室エアコン整備事業
  - 37 小中学校教育教材整備事業
  - 38 小中学校校舎大規模改造 (耐震補強) 事業
  - 39 小学校校舎改築事業

#### 施策4 学校のICT化の推進

- 再掲 指導法改善事業
- 40 小中学校コンピュータ整備事業
  - 41 小中学校電子黒板整備事業

#### 施策5 学校安全の推進

- 42 児童生徒安全推進事業
- 43 学校安全パトロールカー事業

#### 施策6 就学支援の充実

- 再掲 日本語指導職員派遣事業
- 44 入学準備金・奨学金貸付事業
  - 45 小中学校特別支援教育就学奨励事業
  - 46 小中学校就学援助費補助事業
  - 47 要保護児童生徒医療費援助事業
  - 48 準要保護児童生徒給食費援助事業

※ 46・48については、1シートで評価



**基本目標Ⅳ 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上****施策1 学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進**

再掲 元気な学校をつくる地域連携推進事業

**施策2 家庭教育の充実**

49 家庭教育推進事業

**基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート****施策1 生涯学習体制の充実****施策2 生涯学習施設の整備**

50 学校施設開放（生涯学習）事業

**施策3 生涯学習機会の提供**

51 生涯学習指導者活動推進事業

52 成人式事業

53 子ども大学 あげお・いな・おけがわ

54 公民館講座事業

**施策4 人権教育の推進**

55 人権教育推進事業（生涯学習課所管分）

56 人権教育集会所運営事業

**施策5 図書館運営の充実**

再掲 図書館資料整備事業

再掲 子どもの読書活動支援センター運営事業

57 ブックスタート事業

**基本目標Ⅵ 文化芸術の創造と文化財の保護****施策1 文化芸術活動の推進**

58 文化芸術振興事業

59 美術展覧会事業

60 市民音楽祭事業

61 市民ギャラリー改修事業

**施策2 文化財の保護**

62 文化財調査・保存事業

63 埋蔵文化財調査事業

64 文化財保護啓発事業

65 歴史資料調査事業

66 古文書整理事業

※65・66については、1シートで評価

**基本目標Ⅶ 健康で活力に満ちた****スポーツ・レクリエーション活動の推進****施策1 スポーツ推進計画の策定****施策2 スポーツ施設の整備・充実**

67 学校施設開放（スポーツ振興）事業

68 市民体育館大規模改造（耐震補強）事業

**施策3 スポーツ・レクリエーション事業の充実**

69 スポーツ大会等開催事業 【再Ⅶ-5】

70 スポーツ教室・講演会開催事業 【再Ⅶ-4】

**施策4 スポーツ指導者の育成**

再掲 スポーツ教室・講演会開催事業

**施策5 スポーツ・レクリエーション活動の支援**

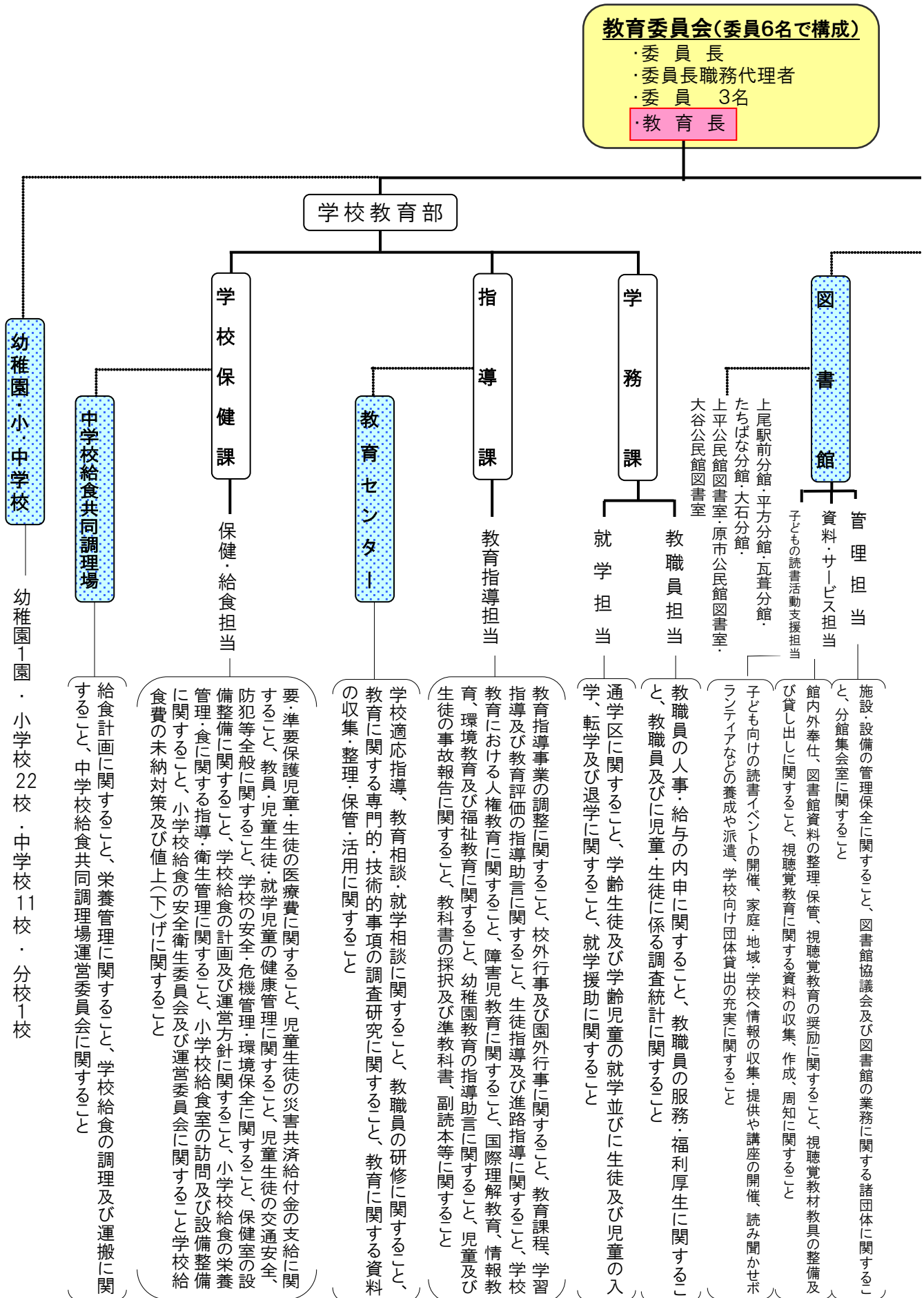
再掲 スポーツ大会等開催事業

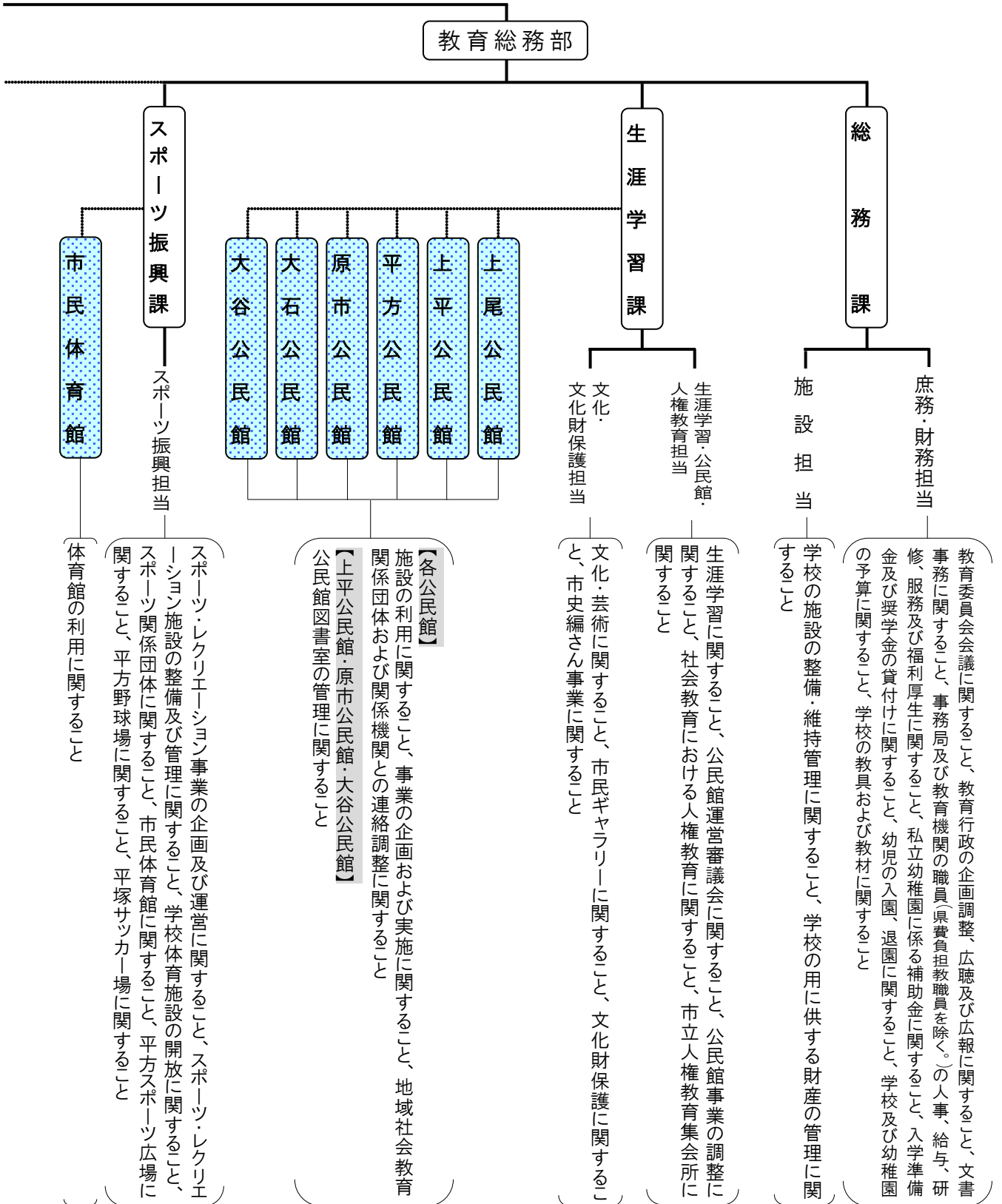
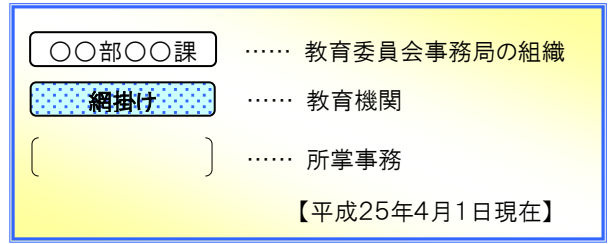


〔平方幼稚園〕

## Ⅱ 教育委員会活動

# 1 教育委員会の組織と事務分掌





## 2 上尾市教育振興基本計画

### (1) 基本計画の策定の趣旨

近年、急速に進む社会の少子高齢化、ICT（情報通信技術）の発達などに見られる高度情報化、さらには社会・経済のグローバル化、環境問題の深刻化などにより社会全体が大きく変化し、また地域では、地域コミュニティの希薄化が進行しています。一方、教育分野においては、子どもたちの学ぶ意欲や学力・体力の低下、問題行動、さらには、社会全体における規範意識や倫理観の低下など、解決すべき多くの課題が指摘されています。



こうした中、平成18年12月、制定から約60年を経て教育基本法が改正されました。この改正教育基本法では、教育を取り巻く様々な状況の変化を踏まえた上で、新しい時代にふさわしい教育の実現のため、「人格の完成」や「個人の尊厳」などの普遍的な理念とともに、新たに達成すべき教育の目標を掲げるなど新しい時代の教育の理念が明確に示されました。

この改正教育基本法に基づき、国は教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育振興基本計画を策定し、また、地方公共団体においては、地域の実情に応じた教育振興基本計画を定めるよう努めなければならないと規定されました。

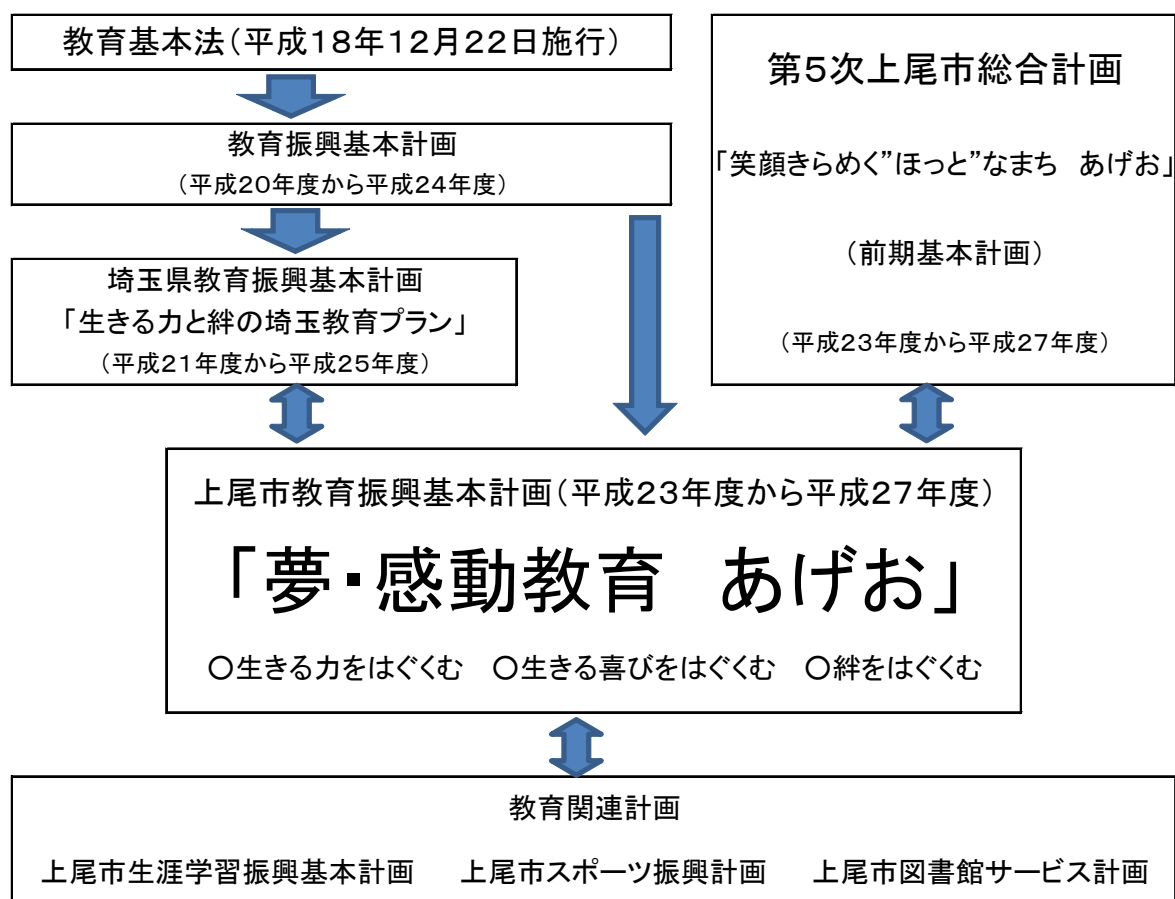
上尾市教育委員会では、これまでも「第4次上尾市総合計画」に基づく総合的かつ計画的なまちづくりを進める中で、教育行政に関する施策を展開してきましたが、改正教育基本法の趣旨に鑑み、また、「第5次上尾市総合計画」を踏まえながら、市の教育が目指す理念としては、おおむね10年先を見通し、教育行政に関して中長期的視点から今後5年間に取り組むべき施策の体系をより明確にし、それらをさらに着実に推進していくために、改正教育基本法に基づく教育振興の施策に関する基本的な計画として、平成23年3月、上尾市教育振興基本計画を定めました。



## （２）上尾市教育振興基本計画の位置付け

本計画は、教育基本法第17条第2項に基づき、平成20年7月に策定された国の教育振興基本計画（平成20年度から平成24年度）及び平成21年2月に策定された埼玉県教育振興基本計画（平成21年度から平成25年度）を参考にし、市の実情に応じた教育の振興のための施策に関して総合的かつ計画的な推進を図るために定める基本的な計画です。

また、本計画は「第5次上尾市総合計画」に示す上尾市の将来都市像「笑顔きらめく“ほっと”なまち あげお」を実現するための教育分野における計画であり、本市の教育関連計画においては、最上位に位置付けられます。そして、平成23年度を初年度とする平成27年度までの5年間の計画として、上尾市教育委員会は、これに基づき年度ごとに重点施策を策定し、事業に取り組みます。



### (3) 上尾市における教育の基本的な考え方

📌 基本理念


**夢・感動教育 あげお**

📌 3つの基本方針

生きる力をはぐくむ  
生きる喜びをはぐくむ  
絆をはぐくむ

📌 7つの基本目標

I 確かな学力と自立する力の育成	V 生涯にわたる豊かな学びのサポート
II 豊かな心と健やかな体の育成	VI 文化芸術の創造と文化財の保護
III 安心・安全で質の高い学校教育の推進	VII 健康でに活かに満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進
IV 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上	



#### ●基本理念

上尾市教育振興基本計画では、本市の教育について、おおむね10年先を見通した基本理念を「**夢・感動教育 あげお**」とします。

## 夢・感動教育 あげお

**夢**

知・徳・体の調和がとれ、夢や目標・志を持って自己実現を目指す、変化の時代をたくましく生き抜く自立した人間を育成する教育を実践します。

**感動**

人と人とのつながりや学校・家庭・地域のつながりの輪を広げ、一体となって、共に生きることの素晴らしさ、尊さを享受し、感動する心を大切にする教育を実践します。



## ●基本方針

基本理念を踏まえて、施策を実施していくにあたっては、次の3つの基本方針で取り組みます。

### 生きる力をはぐくむ

新しい学習指導要領が、小学校では平成23年度から、また、中学校では平成24年度から全面実施されます。この中においても、子どもたちの「生きる力」をはぐくむという理念が引き継がれています。

子どもたちを取り巻く社会や環境が激変する時代にあっては、個性を尊重するとともに能力を伸ばし、知・徳・体の調和を図りつつ、公共の精神、他者を思いやる気持ちや感謝する心などを尊ぶ社会の一員として、たくましく自立するための生きる力をはぐくむことが重要です。

### 生きる喜びをはぐくむ

多くの市民が、自己の充実・啓発や生活の質向上のため、スポーツや文化芸術活動など多様な学習機会を求めています。

市民一人一人が、いつでも、どこでも学べる環境を整え、誰もが生涯にわたって自己実現が可能な社会、笑顔いっぱいの社会の実現を目指し、生きる喜びをはぐくむことが重要です。

### 絆をはぐくむ

今日の様々な教育課題を解決するためには、学校や家庭、地域住民、行政はもとより、企業や大学、関係団体やNPOなど社会全体が連携・協働して一体となって取り組むことが必要です。

また、社会全体で連携・協働して教育に取り組むことは、地域学習や体験活動の充実など教育の質を向上させることにもつながります。

教育の振興を図り、郷土愛に満ちた次世代の人づくりやより良い社会づくりのためには、市民一人一人が教育に対する関心を高め、主体的に教育に参画し、すべての市民の絆をはぐくむことが重要です。

## ●基本目標

本計画の基本理念及び基本方針を踏まえて、今後5年間（平成23年度～平成27年度）に取り組む教育行政の7つの基本目標を示します。

### 〔基本目標Ⅰ〕 確かな学力と自立する力の育成

創意工夫を生かして子どもたちの確かな学力を育成するとともに、社会や環境の変化に主体的に対応できる自立する力を育成します。

### 〔基本目標Ⅱ〕 豊かな心と健やかな体の育成

公共の精神、他者を思いやる気持ちや感謝する心など子どもたちの豊かな心をはぐくむとともに、いじめや不登校、非行・問題行動の防止などの課題に取り組みます。

また、健康の保持・増進や体力向上などにより、健やかな体を育成します。

### 〔基本目標Ⅲ〕 安心・安全で質の高い学校教育の推進

子どもたちの教育環境を整備・充実するとともに、教職員の資質向上を図り、質の高い学校教育を推進します。

また、子どもたちを災害・犯罪から守るための安全対策を講じます。

### 〔基本目標Ⅳ〕 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上

社会全体で教育に取り組む気運を高め、学校応援団など、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進します。

### 〔基本目標Ⅴ〕 生涯にわたる豊かな学びのサポート

自己啓発や生活の充実のための学びの環境を整え、生涯にわたる自己実現をサポートします。

### 〔基本目標Ⅵ〕 文化芸術の創造と文化財の保護

多様な文化芸術活動を支援するとともに、貴重な文化財の保存・活用に取り組みます。

### 〔基本目標Ⅶ〕 健康で活かに満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進

生涯にわたり心身ともに健康で活かに満ちた生活を営むため、スポーツ・レクリエーションに親しむことができる機会と場の提供に取り組みます。



〔上尾市中学校吹奏楽演奏会(西中学校)〕

### 3 平成24年度 教育行政重点施策

平成23年度から、「夢・感動教育 あげお」を基本理念とする上尾市教育振興基本計画がスタートしました。この計画は、教育行政に関して中長期的視点から今後5年間に取り組むべき施策の体系をより明確にし、それらをさらに着実に推進していくことを目的としたものです。

市教育委員会では、この計画の実効性をさらに高めるために、計画の7つの基本目標とそこに位置づけられた施策に沿って「平成24年度上尾市教育行政重点施策」を策定し、本市教育の振興・充実に努めます。

#### 〔基本目標Ⅰ〕 確かな学力と自立する力の育成

平成24年度から中学校においても新学習指導要領が全面实施され、小・中学校ともに新たな学習指導要領が全面实施となります。

児童生徒の生きる力をはぐくむため、アップスマイルサポーターの配置による個々の児童生徒へのきめ細かな支援を推進するとともに、アップスマイル教員配置による中学1年生の少人数学級を実施し、「確かな学力」を育成します。

また、新たな学習指導要領や国際化・情報化の進展、科学技術の高度化などの社会の変化に対応するため、外国語指導助手（ALT）の増員や学校ICT化の推進に取り組みます。

さらに、幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、すべての子どもが質の高い幼児教育を受けられるよう、幼保小の連携を図りつつ、幼児教育の質の向上に取り組むとともに、保護者の経済的負担の軽減等の取組を通じて、幼児教育の振興を図る幼稚園への就園奨励に取り組みます。

（施策と重点的な取組）

#### 施策1 創意工夫を生かした適切な教育指導の実施

- ①確かな学力の定着と学力向上の推進 ②アップスマイル教員の配置  
③魅力ある学校づくりの推進

##### ■主要事業

- 【新規】さわやかスクールサポート事業(学級支援)(80,080千円) ○理科教育振興事業(171千円)  
○教育に関する3つの達成目標推進事業(510千円) ○魅力ある学校づくり事業(6,814千円)  
○学力向上支援事業(7,197千円) ○小学校理科支援員配置事業(2,124千円)

#### 施策2 時代の変化に対応した教育の推進

- ①国際理解教育の推進 ②ICT機器の活用と情報教育の推進  
③環境教育の推進 ④伝統文化に親しむ教育の推進

##### ■主要事業

- 日本語指導職員派遣事業(3,602千円) ○準教科書・副読本整備事業(14,801千円)  
○英語弁論暗唱大会開催事業(58千円) ○中学生海外派遣研修事業(8,935千円)  
○小中学校ALT配置事業(104,900千円) ○緑のカーテン整備事業(600千円)

#### 施策3 進路指導・キャリア教育の充実

- ①進路指導・キャリア教育の推進 ②進路指導体制の充実 ③異校種間の連携

##### ■主要事業

- 中学生社会体験チャレンジ事業(617千円) ○中学生進路意識啓発事業(116千円)

## 施策4 特別支援教育の推進

- ①特別支援教育体制の充実 ②ニーズに応じた支援の推進  
③交流及び共同学習の推進

### ■主要事業

- 特別支援学級補助員派遣事業（16,833千円） ○特別支援学級整備工事事業（5,700千円）  
○(再掲)【新規】さわやかスクールサポート事業(学級支援)(80,080千円) ○特別支援教育推進事業（211千円）

## 施策5 幼児教育の推進

- ①保護者の経済的負担の軽減 ②私立幼稚園への支援 ③市立幼稚園の適切な管理運営

### ■主要事業

- 幼児教育振興協議会運営事業（49千円） ○幼稚園管理運営事業（3,838千円）  
○幼稚園就園奨励費補助事業（295,094千円） ○私立幼稚園児保護者負担軽減費補助事業（69,896千円）  
○私立幼稚園委託事務補助事業（18,270千円）

## 〔基本目標Ⅱ〕 豊かな心と健やかな体の育成

豊かな心をはぐくむため、道徳教育、人権教育、読書環境、体験活動を充実するとともに、アップスマイル学校図書館支援員を配置し、読書活動の一層の推進を図ります。また、いじめや不登校など今日的な教育課題に対応するため、幼稚園・保育所・小学校・中学校の連携を一層強化し、家庭・地域と一体となった生徒指導を推進するとともに、支援員や相談員を配置し、教職員と児童生徒の信頼関係を深め、児童生徒の心を支える教育相談を充実するなど積極的に学校をサポートします。

学校保健活動や食育の充実、安心・安全な給食の提供に努めるとともに、児童生徒の体力向上に向けた取組を積極的に推進し、健やかな体を育成します。

（施策と重点的な取組）

## 施策1 豊かな心の育成

- ①道徳教育の充実 ②特別活動・部活動の充実  
③体験活動の充実 ④読書環境の充実と読書活動の推進  
⑤ボランティア・福祉教育の充実 ⑥幼・保・小連携の取組の推進

### ■主要事業

- 学習支援事業（214千円） ○(再掲)準教科書・副読本整備事業（14,801千円）  
○【新規】さわやかスクールサポート事業(学校図書館支援)（18,139千円）  
○指導法改善事業（34,077千円） ○小中学校音楽会開催事業（919千円）  
○中学校部活動支援事業（3,137千円） ○(再掲)幼児教育振興協議会運営事業（49千円）  
○(再掲)教育に関する3つの達成目標推進事業（510千円）  
○中学校吹奏楽演奏会開催事業（386千円） ○道徳教育研究推進モデル校事業（760千円）  
○小学校図書整備事業（15,000千円） ○中学校図書整備事業（11,000千円）  
○図書館資料整備事業（37,797千円） ○【新規】子どもの読書活動支援センター運営事業(4,087千円)

## 施策2 生徒指導の充実

- ①生徒指導体制の充実 ②総合的な不登校対策の推進  
③いじめ・暴力行為防止対策の推進 ④非行・問題行動防止対策の推進

### ■主要事業

- 生徒指導推進事業（4,678千円） ○さわやか相談室運営事業（17,848千円）

**施策3 人権教育の推進**

- ①人権教育推進体制の充実                      ②人権感覚育成プログラムの普及・活用  
③人権教育研修の充実                            ④啓発活動の推進

## ■主要事業

○人権教育推進事業(1,470千円)

**施策4 学校教育相談の充実**

- ①教育相談体制の充実                            ②学校適応指導教室の充実  
③就学相談の充実                                ④学校・教育センターの連携推進

## ■主要事業

○教育センター管理運営事業（538千円）                      ○不登校児童生徒の学校適応指導事業（4,672千円）  
○教育相談事業（11,515千円）                                      ○就学支援委員会運営事業（457千円）

**施策5 学校保健の充実**

- ①保健教育の推進                      ②保健管理の推進                      ③学校保健組織活動の推進

## ■主要事業

○幼稚園環境衛生検査及び健康診断事業（364千円）                      ○学校健康診断及び健康管理事業（85,880千円）  
○学校環境衛生検査事業（14,490千円）                                      ○保健室管理運営事業（4,988千円）

**施策6 食育の推進・学校給食の充実**

- ①食に関する指導の充実                      ②学校給食の充実                      ③学校給食の衛生管理の徹底

## ■主要事業

○小学校給食調理支援事業（120,728千円）                      ○小学校給食室設備整備事業（31,866千円）  
○小学校給食食器更新事業（3,097千円）                                      ○小学校給食管理運営事業（31,406千円）  
○小学校給食室衛生管理推進事業（19,539千円）                                      ○調理場備品等整備事業（44,073千円）  
○調理業務委託事業（199,763千円）                                      ○献立作成事業（610千円）  
○中学校給食共同調理場管理運営事業(57,487千円)

**施策7 児童生徒の体力向上**

- ①体力向上の推進                      ②体育的行事・部活動の充実                      ③体育・部活動支援の充実

## ■主要事業

○(再掲)中学校部活動支援事業（3,137千円）                                      ○中学校全国・関東大会等補助事業（800千円）  
○(再掲)教育に関する3つの達成目標推進事業（510千円）                                      ○(再掲)魅力ある学校づくり事業（6,814千円）  
○児童生徒体力向上推進事業（3,534千円）

**〔基本目標Ⅲ〕 安心・安全で質の高い学校教育の推進**

様々な課題に対応し、質の高い教育を実現するため、学校経営の改善・充実や教職員の資質の向上に努めるとともに、児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指して、教育課程を編成し、指導法の改善に積極的に取り組みます。

また、平成24年3月に改訂した学校安全マニュアル（防災編）を基にした安全管理・安全教育の充実、中央小学校の改築や耐震補強工事の実施、学校安全パトロールカー事業などにより児童生徒を災害・犯罪から守るための安全対策を講じるとともに、小学校に続き、中学校へのエアコン設置など快適な学校環境整備を行います。

さらに、小・中学校への電子黒板の整備や学校 I C T 活用研修会、授業研究会の実施などにより、学校 I C T を積極的に活用した教育を推進します。

(施策と重点的な取組)

### 施策1 教職員の資質・能力の向上

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| ①教職員の事故防止の徹底とサービスの厳正 | ②教職員のライフステージに応じた研修の充実 |
| ③効果的な人事評価の推進         | ④指導法研究の充実             |
| ⑤教職員の健康管理・メンタルヘルスの推進 | ⑥教師力アップ講座の実施          |

#### ■主要事業

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| ○市費学校職員健康診断事業 (473 千円)    | ○代替臨時教職員派遣事業 (2,910 千円)  |
| ○教職員人事及び就学事務事業 (2,129 千円) | ○(再掲)指導法改善事業 (34,077 千円) |
| ○教職員健康管理事業 16,162 千円)     |                          |

### 施策2 学校経営の改善・充実

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| ①学校評価の実施・公表       | ②地域の実態と学校規模に応じた教育活動の推進 |
| ③適切な教育課程の編成・実施・評価 | ④学校評議員制度の活用            |
| ⑤特色ある学校づくりの推進     |                        |

#### ■主要事業

- |                             |                                |
|-----------------------------|--------------------------------|
| ○通学区域検討事業 (255 千円)          | ○学区見直し地区巡回誘導員配置委託事業 (5,109 千円) |
| ○教育関係団体振興推進事業 (1,810 千円)    | ○学校評議員制度運営事業 (592 千円)          |
| ○(再掲)指導法改善事業 (34,077 千円)    | ○(再掲)幼児教育振興協議会運営事業 (49 千円)     |
| ○(再掲)魅力ある学校づくり事業 (6,814 千円) | ○元気な学校をつくる地域連携推進事業 (220 千円)    |

### 施策3 学校施設・設備の整備・充実

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| ①校舎耐震化の推進         | ②快適な学校環境の整備       |
| ③老朽校舎の大規模改修と維持・保全 | ④学校図書館図書・教材の整備・充実 |

#### ■主要事業

- |                                       |                                  |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| ○学校用業務委託事業 (40,427 千円)                | ○学校事務非常勤職員配置事業 (36,864 千円)       |
| ○(再掲)準教科書・副読本整備事業 (14,801 千円)         | ○小学校管理運営事業 (548,418 千円)          |
| ○小学校教室エアコン整備事業 (81,443 千円)            | ○(再掲)小学校図書整備事業 (15,000 千円)       |
| ○小学校教育教材整備事業 (26,720 千円)              | ○小学校校舎大規模改造(耐震補強)事業 (457,190 千円) |
| ○小学校校舎改築事業 (356,757 千円)               | ○中学校管理運営事業 (326,337 千円)          |
| ○ <b>新規</b> 中学校教室エアコン整備事業 (35,400 千円) | ○(再掲)中学校図書整備事業 (11,000 千円)       |
| ○中学校教育教材整備事業 (17,375 千円)              | ○中学校校舎大規模改造(耐震補強)事業 (450,963 千円) |
| ○中学校校舎改築事業 (36,225 千円)                |                                  |

### 施策4 学校のICT化の推進

- |           |               |
|-----------|---------------|
| ①ICT環境の整備 | ②教職員のICT研修の充実 |
|-----------|---------------|

#### ■主要事業

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| ○(再掲)指導法改善事業 (34,077 千円)   |                         |
| ○小学校コンピュータ整備事業 (82,565 千円) | ○小学校電子黒板整備事業 (3,960 千円) |
| ○中学校コンピュータ整備事業 (41,255 千円) | ○中学校電子黒板整備事業 (1,320 千円) |

**施策5 学校安全の推進**

- ①生活安全・防犯教育の推進
- ②交通安全教育の推進
- ③災害安全・防災教育の推進
- ④学校安全管理の徹底
- ⑤学校安全パトロールカー事業の推進

**■主要事業**

- 児童生徒安全推進事業（20,749千円）
- 自動体外式除細動器(AED)整備事業（2,501千円）
- 学校安全パトロールカー事業（3,490千円）

**施策6 就学支援の充実**

- ①進学に対する支援
- ②就学に対する援助

**■主要事業**

- 入学準備金・奨学金貸付事業（8,886千円）
- (再掲)日本語指導職員派遣事業(3,602千円)
- 外国人学校児童生徒保護者補助事業（660千円）
- 小学校就学援助費補助事業（22,854千円）
- 小学校特別支援教育就学奨励事業(3,245千円)
- 中学校就学援助費補助事業（35,003千円）
- 中学校特別支援教育就学奨励事業(2,506千円)
- 要保護児童生徒医療費援助事業（315千円）
- 準要保護児童生徒給食費援助事業（77,427千円）

**〔基本目標Ⅳ〕 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上**

社会全体で教育に取り組む機運を高め、学校応援団の活動をはじめ、上尾市教育月間、学校ファームなどの取組をとおして、学校・家庭・地域が一体となって児童生徒を育てる教育を充実します。

（施策と重点的な取組）

**施策1 学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進**

- ①学校応援団活動の充実
- ②PTA活動の活性化の推進
- ③学校・家庭・地域・関係機関の連携推進

**■主要事業**

- (再掲)元気な学校をつくる地域連携推進事業（220千円）
- 社会教育団体等補助事業（1,997千円）

**施策2 家庭教育の充実**

- ①家庭教育推進活動の実施
- ②親の学習の推進

**■主要事業**

- 家庭教育推進事業（493千円）



## 〔基本目標Ⅴ〕 生涯にわたる豊かな学びのサポート

いつでも、どこでも、自分が学びたいときに学べる体制を整備しながら、自己実現と地域参加を積極的に支援します。また、市民一人ひとりが人権を尊重し合う社会を実現するための施策を推進します。

図書館は、生涯学習の基盤施設として、また、市民のための身近な情報ステーションとして、その充実を図り、引き続き、ブックスタート事業などに取り組みます。

さらに、「子どもの読書活動支援センター」を開設し、学校・家庭・地域への情報の収集・提供等を行い、連携を強化する中で子どもの読書活動を推進します。

（施策と重点的な取組）

### 施策1 生涯学習体制の充実

- ①生涯学習振興基本計画の推進  
②生涯学習・社会教育情報の収集・提供  
③学習グループの支援  
④社会教育団体活動の支援

#### ■主要事業

- 社会教育委員会議運営事業（242千円）  
○生涯学習指導者活動推進事業（620千円）  
○(再掲)社会教育団体等補助事業（1,997千円）

### 施策2 生涯学習施設の整備

- ①公民館の整備と管理運営  
②学校施設開放事業の充実

#### ■主要事業

- 学校施設開放(生涯学習)事業（2,341千円）  
○公民館管理運営事業（84,324千円）  
○公民館運営審議会運営事業（356千円）

### 施策3 生涯学習機会の提供

- ①公民館活動の充実  
②多様な学習機会の提供

#### ■主要事業

- (再掲)生涯学習指導者活動推進事業（620千円）  
○成人式事業（1,040千円）  
○子ども大学 あげお・いな・おけがわ（0千円）  
○公民館講座事業（3,414千円）

### 施策4 人権教育の推進

- ①人権教育・啓発活動の推進  
②人権教育集会所活動の推進  
③人権教育集会所の整備と管理運営

#### ■主要事業

- 人権教育推進事業（1,162千円）  
○人権教育集会所運営事業（2,061千円）  
○人権教育集会所管理事業（11,030千円）

### 施策5 図書館運営の充実

- ①図書館資料の整備・充実  
②図書館サービスの充実  
③図書館施設の整備・充実  
④子どもの読書活動支援センターの推進・充実

#### ■主要事業

- 図書館運営事業（158,671円）  
○図書館施設管理事業（28,117千円）  
○(再掲)図書館資料整備事業（37,797千円）  
○視聴覚ライブラリー事業（3,602千円）  
○(再掲)【新規】子どもの読書活動支援センター運営事業(4,087千円)  
○ブックスタート事業（2,888千円）

〔基本目標Ⅵ〕 文化芸術の創造と文化財の保護

広く市民に芸術活動の発表の場として利用されている市民ギャラリーの改修工事を行うなど、市民の文化・芸術活動の展開や活動団体の育成を支援し、市民が豊かな文化の享受と発信ができるような環境づくりを行います。

また、伝統文化の継承、文化財の保存管理に努め、収集・整理を進め、学習活動を支援する環境を整えるために、古文書整理事業などにも取り組みます。

(施策と重点的な取組)

施策1 文化芸術活動の推進

- ①文化芸術活動の支援
- ②新しい文化芸術を創造する活動の支援
- ③市民ギャラリーの運営・充実

■主要事業

- 文化芸術振興事業 (2,137 千円)
- 美術展覧会事業 (1,379 千円)
- 市民音楽祭事業 (540 千円)
- 市民ギャラリー管理運営事業 (21,199 千円)
- 新規**市民ギャラリー改修事業(5,511 千円)

施策2 文化財の保護

- ①文化財の指定・登録と保存・管理
- ②埋蔵文化財の保護
- ③無形民俗文化財の継承支援
- ④文化財の保存・活用
- ⑤歴史資料の収集・整理と保存・活用

■主要事業

- 文化財調査・保存事業 (5,527 千円)
- 埋蔵文化財調査事業 (4,789 千円)
- 文化財保護審議会運営事業 (142 千円)
- 文化財保護啓発事業 (57 千円)
- 歴史資料調査事業 (2,663 千円)
- 市史担当分室及び資料室維持管理事業 (97 千円)
- 古文書整理事業 (30,623 千円)

〔基本目標Ⅶ〕 健康で活かに満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進

スポーツ施設の整備・充実に努めるとともに、市民の継続的な生涯スポーツ活動の要となる団体や指導者・リーダーの育成、スポーツイベントやスポーツ推進委員を中心とした地域スポーツ活動の充実など、各種施策を推進するとともに、これらを体系的・計画的に推進していくために、上尾市スポーツ推進計画を策定します。

また、市民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる上尾市民体育館について、平成25年4月のリニューアルオープンを目指し、耐震補強及び大規模改修を進めます。

(施策と重点的な取組)

施策1 スポーツ推進計画の策定

- ①スポーツ推進計画の策定

■主要事業

- スポーツ推進審議会運営事業 (176 千円)

**施策2 スポーツ施設の整備・充実**

- ①スポーツ施設の整備と管理運営      ②学校体育施設の開放と設備の充実

## ■主要事業

- 学校施設開放(スポーツ振興)事業 (3,988 千円)      ○平方スポーツ広場管理運営事業 (7,737 千円)  
 ○平塚ゲートボール場管理運営事業 (1,117 千円)      ○市民体育館管理運営事業 (20,291 千円)  
 ○平方野球場管理運営事業 (7,418 千円)      ○平塚サッカー場管理運営事業 (2,431 千円)  
 ○【新規】市民体育館大規模改造(耐震補強)事業(614,700 千円)

**施策3 スポーツ・レクリエーション事業の充実**

- ①スポーツ・レクリエーション大会の充実      ②スポーツ・レクリエーション教室の充実

## ■主要事業

- (再掲)スポーツ推進審議会運営事業 (176 千円)  
 ○スポーツ大会等開催事業 (21,891 千円)      ○スポーツ教室・講演会開催事業 (474 千円)

**施策4 スポーツ指導者の育成**

- ①スポーツ推進委員活動の充実      ②スポーツ指導者の育成・活用

## ■主要事業

- (再掲)スポーツ教室・講演会開催事業 (474 千円)

**施策5 スポーツ・レクリエーション活動の支援**

- ①スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援      ②総合型地域スポーツクラブの支援

## ■主要事業

- (再掲)スポーツ大会等開催事業 (21,891 千円)

## 4 上尾市教育委員会の活動

## (1) 平成24年度 教育委員会会議の開催状況

定例会・臨時会	開催日時		場 所	出席 委員数
平成24年 4月定例会	平成24年4月20日(金)	16:07～17:23	上尾市役所 教育委員室	6名
平成24年 5月定例会	平成24年5月25日(金)	10:00～11:38	〃	6名
平成24年 6月定例会	平成24年6月20日(水)	14:05～14:57	〃	6名
平成24年 7月定例会	平成24年7月26日(木)	14:00～15:20	〃	6名
平成24年 8月定例会	平成24年8月22日(水)	14:03～15:28	〃	6名
平成24年 9月定例会	平成24年9月19日(水)	14:04～15:28	〃	6名
平成24年 第2回臨時会	平成24年10月1日(月)	15:01～15:19	〃	6名
平成24年 10月定例会	平成24年10月19日(金)	16:04～16:53	〃	6名
平成24年 11月定例会	平成24年11月21日(水)	14:02～15:58	〃	6名
平成24年 12月定例会	平成24年12月26日(水)	16:37～17:45	〃	6名
平成25年 1月定例会	平成25年1月23日(水)	16:01～17:15	〃	5名
平成25年 2月定例会	平成25年2月20日(水)	13:34～15:19	〃	6名
平成25年 第1回臨時会	平成25年3月22日(金)	14:08～14:21	〃	6名
平成25年 3月定例会	平成25年3月27日(水)	14:32～15:52	上尾市役所議会棟 全員協議会室	6名

## (2) 平成24年度 教育委員会議決案件

議案番号	議 案 名	採決 結果	議決番号	議決 年月日
議案第29号	上尾市社会教育指導員の委嘱について	全員一致 原案可決	議決第29号	平成24年 4月20日
議案第30号	教育長が臨時に代理して処置した事項の承認について	全員一致 原案可決	議決第30号	
議案第31号	上尾市教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第31号	平成24年 5月25日
議案第32号	上尾市幼児教育振興協議会規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 修正可決	議決第37号	
議案第33号	上尾市公民館運営審議会委員の委嘱又は任命について	全員一致 原案可決	議決第32号	
議案第34号	上尾市図書館協議会委員の任命について	全員一致 原案可決	議決第33号	
議案第35号	上尾市スポーツ推進審議会委員の任命について	全員一致 原案可決	議決第34号	
議案第36号	上尾市立人権教育集会所運営委員会委員の委嘱又は任命について	全員一致 原案可決	議決第35号	
議案第37号	上尾市人権教育推進協議会委員の委嘱又は任命について	全員一致 原案可決	議決第36号	

議案番号	議案名	採決結果	議決番号	議決年月日
議案第38号	平成24年度上尾市一般会計補正予算に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第38号	
議案第39号	上尾市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第39号	
議案第40号	上尾市民体育館条例の一部を改正する条例の制定に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第40号	
議案第41号	工事請負契約の締結に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第41号	
議案第42号	上尾市入学準備金・奨学金貸付条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第42号	平成24年 6月20日
議案第43号	上尾市社会教育委員の委嘱又は任命について	全員一致 原案可決	議決第43号	
議案第44号	上尾市社会教育指導員の委嘱について	全員一致 原案可決	議決第44号	
議案第45号	中学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱又は任命について	全員一致 原案可決	議決第45号	
議案第46号	上尾市教育委員会の権限に属する事務の決裁に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	全員一致 原案可決	議決第46号	平成24年 7月26日
議案第47号	上尾市教育委員会事務局及び教育機関の職員の勤務時間、休憩時間等に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	全員一致 原案可決	議決第47号	平成24年 8月22日
議案第48号	平成23年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第48号	
議案第49号	工事請負契約の締結に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第49号	
議案第50号	平成25年度当初教職員人事異動の方針について	全員一致 原案可決	議決第50号	平成24年 9月19日
議案第51号	上尾市立小・中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第51号	
議案第52号	平成24年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	全員一致 原案可決	議決第52号	
議案第53号	上尾市スポーツ推進審議会委員の委嘱又は任命について	全員一致 原案可決	議決第53号	平成24年 10月19日
議案第54号	平成25年度当初給食調理員及び用務員人事異動方針について	全員一致 原案可決	議決第54号	平成24年 11月21日
議案第55号	平成24年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に係る報告書の提出について	全員一致 原案可決	議決第55号	
議案第56号	平成24年度上尾市一般会計補正予算に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第56号	

議案番号	議案名	採決結果	議決番号	議決年月日
議案第57号	上尾市民体育館条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第57号	平成24年 12月26日
議案第58号	上尾市民体育館の指定管理者の指定に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第58号	
議案第59号	上尾市スポーツ推進審議会規則等の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第59号	
議案第60号	上尾市民体育館管理規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第60号	平成25年 2月20日
議案第61号	上尾市教育委員会事務局及び市立教育機関の職員の服務に関する規程及び上尾市教育委員会の権限に属する事務の決裁に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	全員一致 原案可決	議決第61号	
議案第1号	上尾市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第1号	
議案第2号	上尾市立小・中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第2号	平成25年 2月20日
議案第3号	平成25年度当初教職員人事異動に係る内申について	全員一致 原案可決	議決第7号	
議案第4号	平成24年度上尾市一般会計補正予算に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第3号	
議案第5号	平成25年度上尾市一般会計予算に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第4号	
議案第6号	上尾市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第5号	
議案第7号	上尾市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第6号	
議案第8号	教育委員会事務局及び教育機関の職員の人事異動について	全員一致 原案可決	議決第8号	
議案第9号	平成25年度上尾市教育行政重点施策の策定について	全員一致 原案可決	議決第9号	平成25年 3月27日
議案第10号	上尾市立学校施設の開放に関する規則等の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第10号	
議案第11号	上尾市教育相談員、学校適応指導教室指導員等設置規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第11号	
議案第12号	上尾市教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第12号	

議案番号	議案名	採決結果	議決番号	議決年月日
議案第13号	上尾市民体育館管理規則の一部を改正する規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第13号	
議案第14号	上尾市教育委員会の権限に属する事務の決裁に関する規程及び上尾市教育委員会事務局及び市立教育機関の職員の服務に関する規程及び上尾市教育委員会の権限に属する事務の決裁に関する規程の一部を改正する訓令の一部を改正する訓令の制定について	全員一致 原案可決	議決第14号	

### (3) 平成24年度教育委員会委員の主な活動

月日	件名	場所
4月2日	小・中学校新採用・転入教職員等着任式	富士見小学校
4月6日	上尾市学校評議員委嘱式及び研修会	上尾市文化センター
4月9日	小・中学校入学式	市内小・中学校
4月20日	教育委員会4月定例会	上尾市役所
5月7日	埼玉県南部地区教育委員会連合会理事会・総会	川口市フレンドシア
5月9日	上尾・桶川・伊奈教育委員会連絡協議会総会	伊奈町役場
5月18日	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会	川口市リリア
5月25日	教育委員会5月定例会	上尾市役所
5月30日	埼玉縣市町村教育委員会連合会総会	川口市リリア
5月26・27日	上尾市立小学校運動会	市内各小学校
6月3日	富士見小学校竣工記念式典	富士見小学校
6月4日	埼玉縣市町村教育委員会教育委員研究協議会	さいたま商工会議所
6月20日	教育委員会6月定例会	上尾市役所
7月4日	上尾・桶川・伊奈教育委員会連絡協議会県外視察研修	茨城県つくば市
7月24日	上尾市中学校吹奏楽演奏会	上尾市文化センター
7月26日	教育委員会7月定例会	上尾市役所
8月2日	中央小学校安全祈願祭	中央小学校
8月22日	教育委員会8月定例会	上尾市役所
9月19日	教育委員会9月定例会	上尾市役所
9月26日	中学校体育祭	市内各中学校
9月29・30日	小学校運動会	市内各小学校
10月1日	教育委員会第2回臨時会	上尾市役所
10月4日	新委員校長会議あいさつ	上尾市役所
10月6日	平方幼稚園運動会	平方幼稚園
10月6日	東中学校向原分校体育祭	向原分校
10月7日	上尾市民体育祭	上尾運動公園
10月16日	新委員教頭会議あいさつ	上尾市役所
10月17日	原市南小学校委嘱研究発表	原市南小学校
10月19日	教育委員会10月定例会	上尾市役所

月日	件名	場所
10月24日	大石中学校委嘱研究発表	大石中学校
10月25日	上尾市小学校連合運動会	上尾運動公園
10月26日	芝川小学校委嘱研究発表	芝川小学校
11月7日	東中学校委嘱研究発表	東中学校
11月13日	大石小学校委嘱研究発表	大石小学校
11月15日	上平北小学校委嘱研究発表	上平北小学校
11月16日	上尾市立小・中学校音楽会	上尾市文化センター
11月18日	上尾シティマラソン	上尾運動公園
11月21日	教育委員会11月定例会	上尾市役所
11月22日	上平中学校委嘱研究発表	上平中学校
11月27日	大谷中学校委嘱研究発表	大谷中学校
11月29日	今泉小学校委嘱研究発表	今泉小学校
12月3日	新委員市政会あいさつ	上尾市役所
12月6日	福島県本宮市教育委員会委員との懇談会	富士見小学校
12月26日	教育委員会12月定例会	上尾市役所
1月4日	教育委員会年頭式	上尾公民館
1月13日	成人式	上尾市文化センター
1月22日	尾山台小学校委嘱研究発表	尾山台小学校
1月23日	教育委員会1月定例会	上尾市役所
1月30日	平方東小学校委嘱研究発表	平方東小学校
2月10日	上尾市民駅伝競走大会	上尾運動公園
2月14日	東小学校委嘱研究発表	東小学校
2月20日	教育委員会2月定例会	上尾市役所
3月15日	中学校卒業証書授与式	市内各中学校
3月22日	小学校卒業証書授与式、第1回教育委員会臨時会	市内各小学校、上尾市役所
3月27日	上尾市民体育館内覧会、教育委員会3月定例会	上尾市民体育館、上尾市役所



〔入学式（上尾小学校）〕

〔上尾桶川伊奈教育委員会  
連絡協議会県外視察研修〕

〔研究委嘱発表会（原市南小学校）〕



〔上尾市小学校連合運動会〕



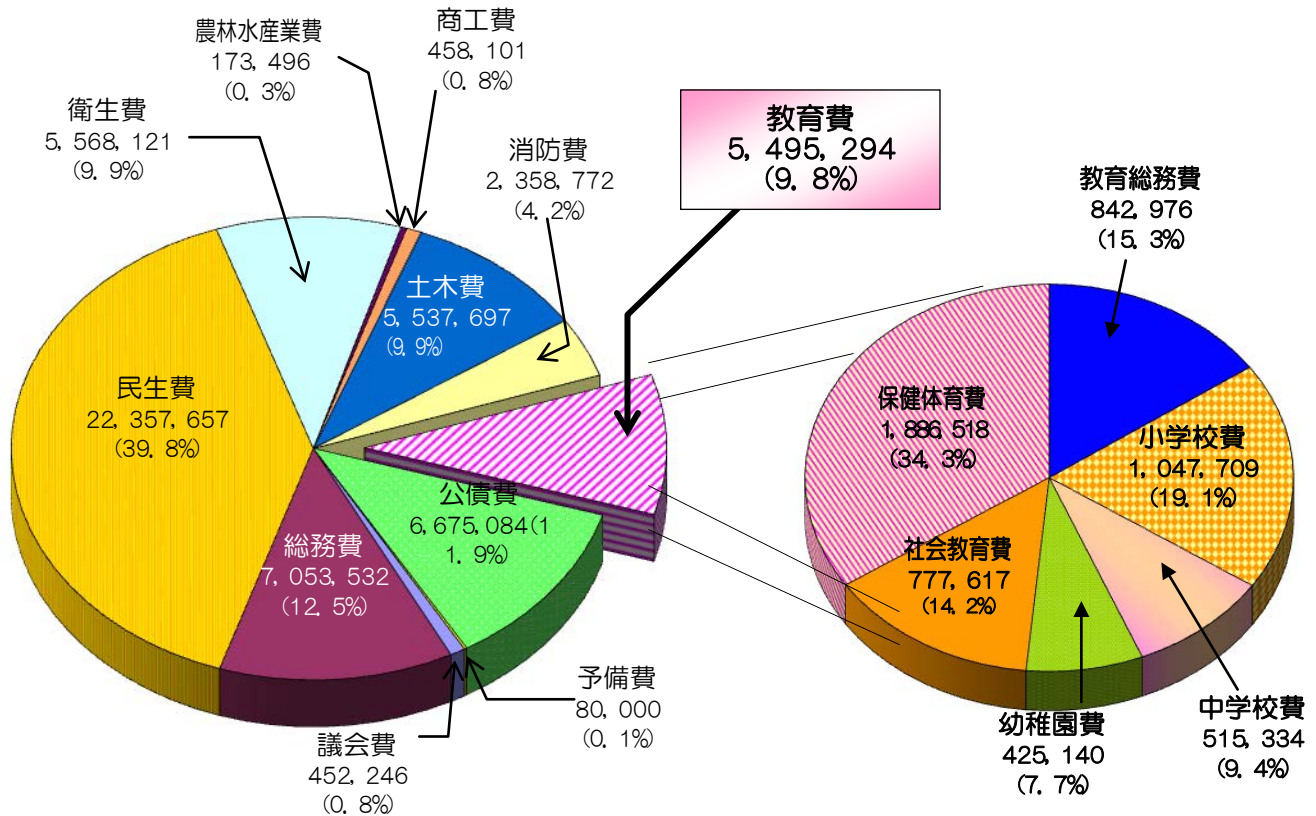


〔大石小学校〕

## 5 平成24年度 教育費予算額

## 平成24年度 上尾市一般会計予算（当初）

〔 単位：千円 〕



(1) 平成24年度 上尾市一般会計歳出予算（当初）【目的別】

(単位：千円)

	平成24年度		平成23年度		比較増減 (C) [(A)-(B)]	増減率 [(C)/(B)*100]
	予算額 (A)	構成比(%)	予算額 (B)	構成比(%)		
議会費	452,246	0.8	503,254	0.9	▲51,008	▲10.1
総務費	7,053,532	12.5	7,458,315	13.1	▲404,783	▲5.4
民生費	22,357,657	39.8	23,784,997	41.9	▲1,427,340	▲6.0
衛生費	5,568,121	9.9	5,046,794	8.9	521,327	10.3
農林水産業費	173,496	0.3	163,733	0.3	9,763	6.0
商工費	458,101	0.8	488,100	0.9	▲29,999	▲6.1
土木費	5,537,697	9.9	4,028,359	7.1	1,509,338	37.5
消防費	2,358,772	4.2	2,358,052	4.1	720	0.0
教育費	5,495,294	9.8	5,968,498	10.5	▲473,204	▲7.9
公債費	6,675,084	11.9	6,949,898	12.2	▲274,814	▲4.0
予備費	80,000	0.1	40,000	0.1	40,000	100.0
合計	56,210,000	100.0	56,790,000	100.0	▲580,000	▲1.0

## (2) 平成24年度 教育費歳出予算内訳(当初)

(単位:千円)

	平成24年度	平成23年度	比較増減	対前年度比
<b>○教育総務費</b>	<b>842,976</b>	<b>908,906</b>	<b>▲ 65,930</b>	<b>▲ 7.25</b>
教育委員会費	4,749	4,762	▲ 13	▲ 0.27
事務局費	474,380	446,794	27,586	6.17
教育指導費	328,817	407,367	▲ 78,550	▲ 19.28
教育センター運営費	35,030	49,983	▲ 14,953	▲ 29.92
<b>○小学校費</b>	<b>1,047,709</b>	<b>2,251,288</b>	<b>▲ 1,203,579</b>	<b>▲ 53.46</b>
学校管理費	740,973	673,887	67,086	9.96
教育振興費	71,779	83,282	▲ 11,503	▲ 13.81
学校建設費	234,957	1,494,119	▲ 1,259,162	▲ 84.27
<b>○中学校費</b>	<b>515,334</b>	<b>418,537</b>	<b>96,797</b>	<b>23.13</b>
学校管理費	410,505	324,429	86,076	26.53
教育振興費	67,204	67,558	▲ 354	▲ 0.52
学校建設費	37,625	26,550	11,075	41.71
<b>○幼稚園費</b>	<b>425,140</b>	<b>411,889</b>	<b>13,251</b>	<b>3.22</b>
幼稚園費	425,140	411,889	13,251	3.22
<b>○社会教育費</b>	<b>777,617</b>	<b>707,858</b>	<b>69,759</b>	<b>9.85</b>
社会教育総務費	140,137	131,629	8,508	6.46
公民館費	208,361	205,338	3,023	1.47
図書館費	365,155	326,241	38,914	11.93
子どもの読書活動推進費	6,975	0	6,975	—
集会所運営費	13,091	10,926	2,165	19.82
文化財保護費	10,515	12,373	▲ 1,858	▲ 15.02
市史編さん費	33,383	17,725	15,658	88.34
視聴覚ライブラリー費	0	3,626	▲ 3,626	▲ 100.00
<b>○保健体育費</b>	<b>1,886,518</b>	<b>1,270,020</b>	<b>616,498</b>	<b>48.54</b>
保健体育総務費	324,135	324,423	▲ 288	▲ 0.09
学校給食費	580,227	558,061	22,166	3.97
共同調理場運営費	301,933	295,499	6,434	2.18
社会体育費	26,529	28,837	▲ 2,308	▲ 8.00
スポーツ施設運営費	653,694	63,200	590,494	934.33
合 計	5,495,294	5,968,498	▲ 473,204	▲ 7.93

(3) 平成24年度 教育予算主要事業概要 [★印は新規事業]

**教育総務費**

**○教育指導費**

きめ細かな学習指導を展開し学力向上や健全な学級運営を図るため、さわやかスクールサポート事業に係る経費を計上しているほか、各学校において創意工夫を生かした教育課題の研究を行う魅力ある学校づくり事業などに係る経費を計上している。

(単位:千円)

事業名 (★印は新規事業)	平成24年度 予算額	平成23年度 予算額
★新規★ さわやかスクールサポート事業 (学級支援) (アップスマイルサポーター70人など)	80,080	—
★新規★ さわやかスクールサポート事業 (学校図書館支援) (小学校に週5日全校配置など)	18,139	—
中学生海外派遣研修事業	8,935	8,969
小・中学校ALT配置事業 (小・中学校に全校配置)	104,900	104,900
魅力ある学校づくり事業	6,814	6,814



〔ALT参加授業の様子〕



〔魅力ある学校づくり事業〕

〔中学生海外派遣研修〕

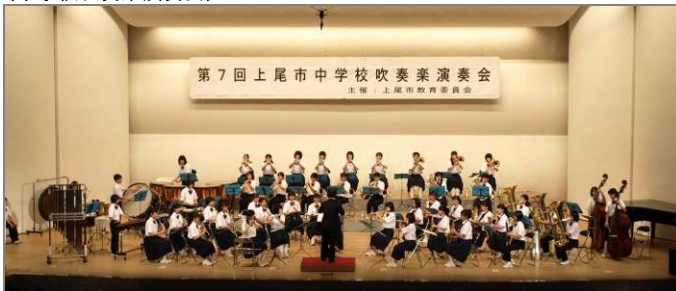
〔小・中学校音楽会〕



〔中学校吹奏楽演奏会〕



〔小・中学校音楽会〕



**○教育センター運営費**

教育相談・不登校児童生徒の学校適応指導などに係る経費を計上している。

さわやか相談室運営事業	17,848	17,756
-------------	--------	--------

## 小学校費・中学校費

### ○学校管理費

学校施設の管理運営(屋上防水、受水槽などの改修を含む)に係る経費のほか、新たに中学校全校の普通教室(187教室)にエアコンを整備するための経費(10年リース)を計上しているほか、大石南中学校に特別支援学級を新設(平成25年4月開設)するための経費を計上している。

〔エアコン整備事業〕



小学校教室エアコン整備事業	81,443	70,435
★新規★ 中学校教室エアコン整備事業	35,400	—
★新規★ 中学校管理運営事業 (大石南中学校に特別支援学級を新設)	326,337 ( 5,700)	278,433 ( —)

### ○教育振興費

小・中学校の教育教材の整備に係る経費のほか、就学援助費の補助に係る経費を計上している。

小学校教育教材整備事業	26,720	26,720
中学校 //	17,375	17,375
小学校就学援助費補助事業	22,854	21,730
中学校 //	35,003	32,264

### ○学校建設費

中央小学校校舎改築工事(平成25年度完成予定)及び上尾中学校の校舎改築基本設計に係る経費を計上している。なお、平成23年度3月補正予算に小学校6校、中学校4校の大規模改造・耐震補強工事に係る経費を計上し、平成24年度中に実施する。

〔耐震補強工事〕



小学校校舎改築事業(中央小学校)	234,757	1,493,719
★新規★ 中学校校舎改築事業(上尾中学校)	36,225	—



〔中央小学校校舎改築工事〕



〔トイレ改修工事〕

## 幼稚園費

### ○幼稚園費

平方幼稚園の管理運営に係る経費、就園奨励費補助金(国庫補助基準の改正に併せ補助単価を引上げ)、私立幼稚園児保護者負担軽減費補助金に係る経費を計上している。

幼稚園就園奨励費補助事業	295,094	275,776
私立幼稚園児保護者負担軽減費補助事業	69,896	68,912

**社会教育費**

**○社会教育総務費**

学校施設開放に係る経費、美術展覧会など文化・芸術に係る経費のほか、市民ギャラリーを改修するための経費を計上している。

学校施設開放（生涯学習）事業	2,341	2,689
美術展覧会事業	1,379	1,332
★新規★ 市民ギャラリー改修事業 （スポットライトのLED化、エアコンの改修など）	5,511	—



〔美術展覧会〕



〔市民音楽祭〕

**○公民館費**

市内6公民館の管理運営に係る経費を計上している。

公民館管理運営事業	84,324	80,535
-----------	--------	--------

〔はじめての陶芸〕



〔スポーツ吹矢〕



〔ドリップコーヒー入門教室〕



**○図書館費**

図書館本館、上尾駅前・大石・瓦葺・平方・たちばなの5分館、各公民館図書室の図書の購入や貸出しに係る経費などを計上している。

図書館運営事業	158,671	156,329
図書館資料整備事業	37,797	3,501

〔しちょうさん、えほんよんで〕



〔ブックスタート〕



〔図書館まつり〕



## ○子どもの読書活動推進費

子どもの読書活動を推進するため、子どもの読書活動支援センター(富士見小学校図書館内)の新設に係る経費を計上している。

★新規★ 子どもの読書活動支援センター運営事業	4,087	—
ブックスタート事業	2,888	3,039

## ○集会所運営費

人権教育推進の拠点施設である原市・畔吉集会所の講座や講演会などの開催に係る経費を計上している。

人権教育集会所運営事業	2,061	2,062
-------------	-------	-------



〔縄文土器〕

## ○文化財保護費

文化財の保護、普及に係る経費を計上している。

埋蔵文化財調査事業	4,789	4,348
-----------	-------	-------



〔宿前Ⅲ遺跡〕



〔薬師耕地前出土資料〕

## ○市史編さん費

古文書や旧役場文書・公文書等の歴史資料の収集や調査に係る経費を計上している。

歴史資料調査事業	2,663	2,310
----------	-------	-------

## 保健体育費

## ○保健体育総務費

児童生徒の各種健康診断に係る経費のほか、児童生徒に万一の事故が起きた場合の医療費等の補償、登下校等の安全確保のための防犯ブザーの貸与に係る経費を計上している。

学校健康診断及び健康管理事業	85,880	85,972
児童生徒安全推進事業	20,749	20,994
学校安全パトロールカー事業	3,490	3,463

## ○学校給食費

小学校の学校給食に係る経費のほか、経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対する学校給食費の援助に係る経費を計上している。

準要保護児童生徒給食費援助事業	77,427	65,326
-----------------	--------	--------



## ○共同調理場運営費

中学校給食共同調理場及び各中学校の調理業務や配送などに係る経費を計上している。

調理業務委託事業	199,763	197,400
----------	---------	---------

## ○社会体育費

市民体育祭や市民駅伝競走大会、シティマラソンなどのイベントの開催・補助に係る経費を計上している。

スポーツ大会等開催事業	21,891	24,111
-------------	--------	--------



〔市民体育祭〕



〔上尾シティマラソン〕



〔ニューヨークシティハーフマラソンからの招待に関する調印式〕

## ○スポーツ施設費

スポーツ施設などの管理運営に係る経費のほか、東日本大震災で被災した市民体育館の耐震補強工事（屋根の軽量化、柱の補強など）・大規模改造工事（メインアリーナの床張替え、外装補修、空調設備・トイレ・給湯設備の改修工事など）に係る経費を計上している。

市民体育館管理運営事業	20,291	43,321
★新規★ 市民体育館大規模改造（耐震補強）事業	614,700	—



〔市民体育館弓道場〕



〔市民体育館テニスコート〕

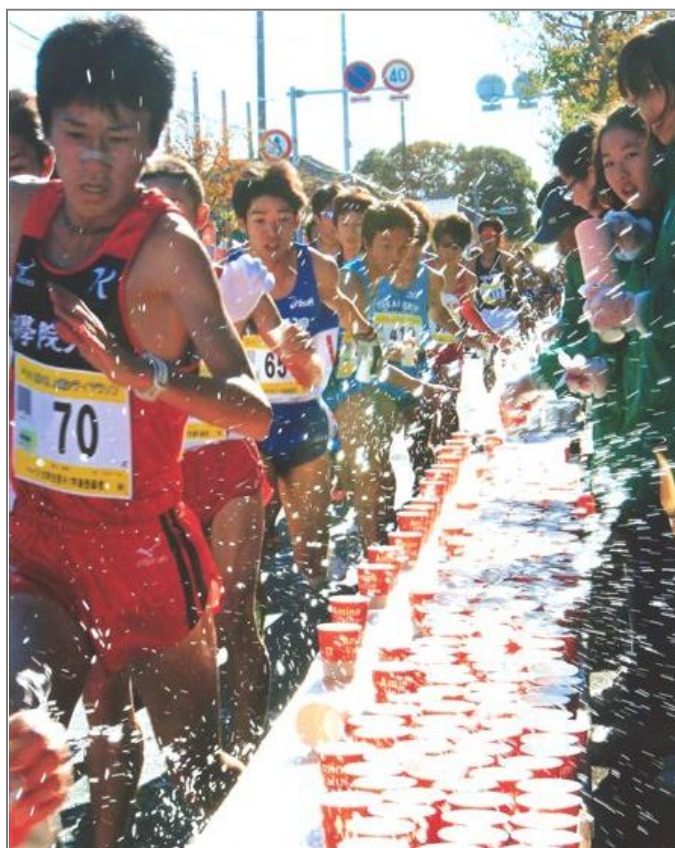


〔市民体育館大規模改造（耐震補強）工事〕



第25回2012上尾シティマラソン写真コンテスト

◎一般部門グランプリ



〔タイトル 必至に給水〕

◎小・中学生部門グランプリ



〔タイトル ガンバ！お姉ちゃん〕

## 6 平成24年度 教育費決算

## (1) 平成24年度教育費決算 節別内訳

節名		教育費合計	教育総務費	小学校費
1節	報酬	127,041,469	36,322,500	0
2節	給料	685,397,390	196,492,270	15,523,200
3節	職員手当等	353,474,896	118,731,619	7,319,049
4節	共済費	212,543,635	62,936,272	5,074,563
5節	災害補償費	0	0	0
6節	恩給退職年金	0	0	0
7節	賃金	279,010,810	161,884,269	0
8節	報償費	17,452,439	5,087,400	2,315,447
9節	旅費	3,135,455	1,662,669	0
10節	交際費	333,500	333,500	0
11節	需用費	634,288,912	37,879,425	262,296,169
	消耗品費	185,394,133	33,004,626	61,459,922
	燃料費	38,460,101	0	2,087,290
	食糧費	190,771	0	0
	印刷製本費	13,280,583	4,872,949	3,003,191
	光熱水費	298,206,547	0	151,474,521
	修繕料	95,329,635	0	44,271,245
	賄材料費	598,542	0	0
	飼料費	0	0	0
	医薬材料費	2,828,600	1,850	0
12節	役務費	43,019,474	1,540,537	17,311,574
13節	委託料	773,172,313	156,059,508	70,713,395
14節	使用料及び賃借料	410,484,653	2,267,390	224,579,227
15節	工事請負費	1,782,737,295	0	753,966,720
16節	原材料費	2,316,300	0	1,206,561
17節	公有財産購入費	0	0	0
18節	備品購入費	198,779,075	17,553,900	64,483,685
19節	負担金補助及び交付金	455,478,366	17,982,604	6,419,000
20節	扶助費	119,745,938	0	21,127,394
21節	貸付金	3,080,000	3,080,000	0
22節	補償・補てん及び賠償金	4,519,830	0	4,519,830
23節	償還金・利子及び割引料	0	0	0
24節	投資及び出資金	0	0	0
25節	積立金	63,706	0	0
26節	寄附金	0	0	0
27節	公課費	0	0	0
28節	繰出金	0	0	0
合計		6,106,075,456	819,813,863	1,456,855,814

(単位:円)

中学校費	幼稚園費	社会教育費	保健体育費	節 名	
0	363,750	25,391,379	64,963,840	報酬	1節
4,078,800	20,728,800	192,772,849	255,801,471	給料	2節
2,086,755	10,619,338	94,847,158	119,870,977	職員手当等	3節
1,334,193	6,076,863	58,926,057	78,195,687	共済費	4節
0	0	0	0	災害補償費	5節
0	0	0	0	恩給退職年金	6節
0	0	5,566,560	111,559,981	賃金	7節
2,267,830	27,000	6,338,282	1,416,480	報償費	8節
0	103,817	920,580	448,389	旅費	9節
0	0	0	0	交際費	10節
136,254,322	1,222,720	54,411,352	142,224,924	需用費	11節
37,053,136	639,710	12,229,829	41,006,910	消耗品費	
2,043,599	147,255	347,114	33,834,843	燃料費	
0	0	72,646	118,125	食糧費	
1,292,277	29,850	2,601,467	1,480,849	印刷製本費	
72,077,624	0	31,167,353	43,487,049	光熱水費	
23,787,686	394,905	7,975,919	18,899,880	修繕料	
0	0	0	598,542	賄材料費	
0	0	0	0	飼料費	
0	11,000	17,024	2,798,726	医薬材料費	
11,209,056	195,607	4,677,236	8,085,464	役務費	12節
42,336,640	302,610	205,588,941	298,171,219	委託料	13節
83,089,038	14,910	55,967,952	44,566,136	使用料及び賃借料	14節
490,502,250	987,000	1,948,275	535,333,050	工事請負費	15節
633,174	0	0	476,565	原材料費	16節
0	0	0	0	公有財産購入費	17節
40,130,998	645,900	37,977,930	37,986,662	備品購入費	18節
7,624,000	372,947,005	12,322,534	38,183,223	負担金補助及び交付金	19節
31,842,271	0	0	66,776,273	扶助費	20節
0	0	0	0	貸付金	21節
0	0	0	0	補償・補てん及び賠償金	22節
0	0	0	0	償還金・利子及び割引料	23節
0	0	0	0	投資及び出資金	24節
0	0	63,706	0	積立金	25節
0	0	0	0	寄附金	26節
0	0	0	0	公課費	27節
0	0	0	0	繰出金	28節
853,389,327	414,235,320	757,720,791	1,804,060,341	合 計	

## (2) 平成24年度教育費決算 人件費等に関する調

※この表は、費目毎の正規職員（小・中学校に勤務する県費負担教職員は除く。）に対する給与等（給料・諸手当・共済費）、非常勤特別職職員に対する報酬及び臨時職員に対する賃金を掲載。なお、報酬及び賃金については、該当評価シートの事業費に含み掲載しているが、正規職員に対する給与等は含まれていない。

## 【教育総務費】

目	節	決算額	備考
1 教育委員会費	1 報酬	3,972,000	教育委員会委員報酬 5人
2 事務局費	2 給料	196,492,270	教育長・職員給与等 44人 (総務課・学務課・指導課・教育センター)
	3 職員手当等	118,731,619	
	4 共済費	62,936,272	
	計	378,160,161	
	7 賃金	35,950,250	臨時学校事務職員パート賃金 (市立小・中学校33校に臨時職員を配置)
3 教育指導費	7 賃金	125,934,019	病休代替等臨時教職員賃金 特別支援学級補助員賃金 日本語指導職員賃金 アップスマイルサポーター賃金 アップスマイル教員賃金 アップスマイル学校図書館支援員賃金 生徒指導支援員賃金
4 教育センター運営費	1 報酬	32,350,500	さわやか相談室相談員報酬 11人 学校適応指導教室指導員報酬 3人 教育相談員報酬 4人 臨床心理士報酬 1人

## 【小学校費】

目	節	決算額	備考
1 学校管理費	2 給料	15,523,200	職員給与等 4人 (市立小学校用務員)
	3 職員手当等	7,319,049	
	4 共済費	5,074,563	
	計	27,916,812	

## 【中学校費】

目	節	決算額	備考
1 学校管理費	2 給料	4,078,800	職員給与等 1人 (市立中学校用務員)
	3 職員手当等	2,086,755	
	4 共済費	1,334,193	
	計	7,499,748	

## 【幼稚園費】

目	節	決算額	備考
1 幼稚園費	1 報酬	363,750	学校薬剤師報酬 1人 学校医報酬 2人
	2 給料	20,728,800	職員給与等 5人 (市立幼稚園教諭)
	3 職員手当等	10,619,338	
	4 共済費	6,076,863	
	計	37,425,001	

## 【社会教育費】

目	節	決算額	備考
1 社会教育総務費	1 報酬	2,781,000	社会教育指導員報酬 2人 社会教育委員報酬 11人
	2 給料	51,646,537	職員給与等 14人（生涯学習課）
	3 職員手当等	27,526,731	
	4 共済費	16,633,278	
	計	95,806,546	
2 公民館費	1 報酬	17,890,379	社会教育指導員報酬 14人 公民館運営審議会委員報酬 13人
	2 給料	58,979,232	職員給与等 12人（公民館6館）
	3 職員手当等	29,979,328	
	4 共済費	18,906,033	
	計	107,864,593	
3 図書館費	1 報酬	92,000	図書館協議会委員報酬 8人
	2 給料	82,147,080	職員給与等 16人（図書館）
	3 職員手当等	37,341,099	
	4 共済費	23,386,746	
	計	142,874,925	
7 賃金	3,886,500	パート賃金	
4 子どもの読書活動推進費	1 報酬	1,260,000	子どもの読書活動支援センター協力員報酬 1人
	7 賃金	623,060	パート賃金
5 集会所運営費	1 報酬	3,264,000	社会教育指導員報酬 2人 人権教育集会所運営委員会委員報酬 20人
6 文化財保護費	1 報酬	116,000	文化財保護審議会委員報酬 8人
	7 賃金	1,057,000	遺物整理員賃金

## 【保健体育費】

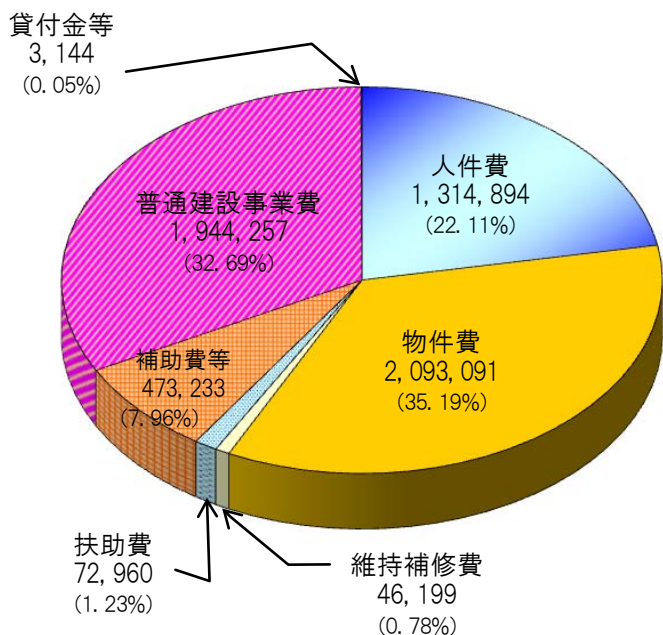
目	節	決算額	備考
1 保健体育総務費	1 報酬	61,551,840	学校薬剤師報酬 34人・学校医報酬 179人
	2 給料	90,713,992	職員給与等 21人 （スポーツ振興センター・ 学校保健課・中学校給食共同調理場）
	3 職員手当等	49,816,899	
	4 共済費	27,573,683	
	計	168,104,574	
7 賃金	1,932,485	健康診断業務等パート賃金・保健事務補助パート賃金	
2 学校給食費	2 給料	165,087,479	職員給与等 44人（市立小学校給食調理員）
	3 職員手当等	70,054,078	
	4 共済費	50,622,004	
	計	285,763,561	
7 賃金	109,627,496	嘱託給食調理員賃金 臨時給食調理員賃金 臨時短期給食調理員賃金	
3 共同調理場運営費	1 報酬	42,000	共同調理場運営委員会委員報酬 3人
4 社会体育費	1 報酬	3,370,000	スポーツ推進審議会委員報酬 14人 体育指導委員報酬 41人

(3) 平成24年度教育費決算 性質別歳出内訳及び財源内訳

(単位:千円)

	総 額	教育総務費	小学校費	中学校費	幼稚園費	社会教育費	保健体育費	
							体育施設費等	学校給食費
人件費	1,314,894	354,805	27,797	86,193	37,789	370,003	47,796	390,511
物件費	2,093,091	91,621	745,461	406,106	2,272	330,300	39,855	477,476
維持補修費	46,199		35,259	633	288	6,689	3,330	
扶助費	72,960		2,497	2,652	1,925			65,886
補助費等	473,233	395,340	22,534	16,990	376	15,913	20,930	1,150
普通建設事業費	1,944,257	859	832,083	515,606	1,017	7,955	586,737	
積立金	64					64		
投資及び出資金	0							
貸付金	3,080	3,080						
繰出金	0							
歳出合計	5,947,778	845,705	1,665,631	1,028,180	43,667	730,924	698,648	935,023
国庫支出金	503,617	68,290	239,225	133,246		900	61,956	
都道府県支出金	17,456	5,580	1,095	9,238	300	550		693
使用料・手数料	32,361		196	141	5,379	19,747	6,898	
分担金・負担金 ・寄付金	0							
財産収入	64					64		
繰入金	3,448					3,448		
諸収入	49,488	3,082	623	279	13	3,070	42,345	76
繰越金	103,856		68,466	35,390				
地方債	965,000		380,300	252,900			331,800	
一般財源等	4,272,488	768,753	975,726	596,986	37,975	703,145	255,649	934,254

[出典:平成24年度 地方財政状況調査(11表)]



**人件費**: 報酬、給料、手当等、一定の勤務に対する対価、報酬として地方公共団体から支払われる一切の経費。

**物件費**: 人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外の地方公共団体が支出する消費的性質の経費の総称で、パート賃金、旅費、教育委員会交際費、需用費、役務費、備品購入費、報償費、委託料、使用料及び賃借料、原材料費等をいう。

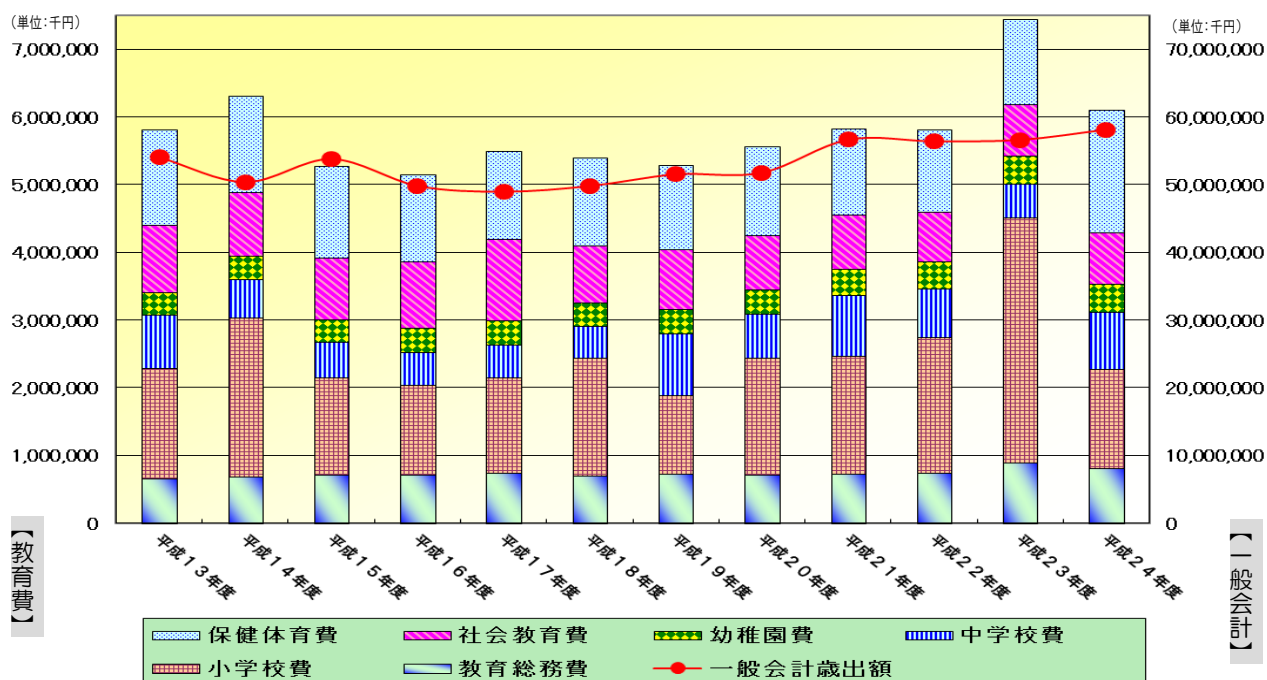
**維持補修費**: 地方公共団体が管理する公共用又は公用施設の効用を維持するための経費をいう。

**扶助費**: 地方公共団体が法律に基づいて支給する費用及び地方公共団体が単独で行う各種扶助の支出額をいう。教育費では就学援助費等が該当する。

**補助費等**: 報償費のうち報償金及び賞賜金、役務費のうち保険料、物件費に計上されない委託料、負担金補助及び交付金、公課費などをいう。

**普通建設事業費**: 投資的経費の代表的なもので、道路、橋りょう、学校などの建設・大規模修繕等に要する経費。

(4) 一般会計・教育費決算額の推移



※平成16年度一般会計歳出決算額については、減税補てん債借換債の額を除いた金額

(単位：円)

	教育総務費	小学校費	中学校費	幼稚園費	社会教育費	保健体育費	教育費 合計
平成13年度	669,990,999	1,622,574,390	797,628,858	322,915,019	994,894,467	1,405,791,309	5,813,795,042
平成14年度	692,839,790	2,349,331,019	570,026,237	343,571,595	938,128,728	1,419,296,002	6,313,193,371
平成15年度	722,452,630	1,434,802,075	521,193,590	339,829,795	909,768,579	1,355,541,212	5,283,587,881
平成16年度	725,433,972	1,319,977,332	488,190,111	359,627,499	975,589,484	1,294,158,846	5,162,977,244
平成17年度	748,159,084	1,413,347,842	474,620,752	359,665,665	1,208,903,848	1,292,397,530	5,497,094,721
平成18年度	708,236,734	1,742,294,265	463,654,326	350,290,465	846,117,609	1,295,276,923	5,405,870,322
平成19年度	728,647,962	1,159,633,623	924,470,912	355,280,095	877,152,221	1,255,537,940	5,300,722,753
平成20年度	718,441,527	1,727,278,365	645,064,158	366,999,341	807,374,959	1,300,070,613	5,565,228,963
平成21年度	727,247,575	1,750,179,883	899,888,936	378,921,744	800,470,216	1,281,375,694	5,838,084,048
平成22年度	745,616,856	2,003,534,523	716,904,945	400,424,764	743,234,494	1,213,313,426	5,823,029,008
平成23年度	902,044,967	3,618,507,100	496,808,804	423,063,614	752,006,065	1,256,194,053	7,448,624,603
平成24年度	819,813,863	1,456,855,814	853,389,327	414,235,320	757,720,791	1,804,060,341	6,106,075,456

	一般会計歳出額	教育費 合計	構成比(%)	増減率(%)
平成13年度	54,036,327,088	5,813,795,042	10.76	▲16.06
平成14年度	50,389,327,787	6,313,193,371	12.53	8.59
平成15年度	53,794,998,277	5,283,587,881	9.82	▲16.31
平成16年度	49,819,808,570	5,162,977,244	10.36	▲2.28
平成17年度	48,968,489,988	5,497,094,721	11.23	6.47
平成18年度	49,803,916,276	5,405,870,322	10.85	▲1.66
平成19年度	51,536,553,337	5,300,722,753	10.29	▲1.95
平成20年度	51,771,491,589	5,565,228,963	10.75	4.99
平成21年度	56,642,264,638	5,838,084,048	10.31	4.90
平成22年度	56,417,623,161	5,823,029,008	10.32	▲0.26
平成23年度	56,620,163,136	7,448,624,603	13.16	27.92
平成24年度	58,132,713,835	6,106,075,456	10.5	▲18.02



〔西小学校〕



基本目標 I

確かな学力と自立する力の育成

施策1 創意工夫を生かした適切な教育指導の実施

施策2 時代の変化に対応した教育の推進

施策3 進路指導・キャリア教育の充実

施策4 特別支援教育の推進

施策5 幼児教育の推進

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成
施策	施策Ⅰ 創意工夫を生かした適切な教育指導の実施

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額（千円）	事業 評価	評価指標				
			評価指標	22年度	23年度	24年度	
1 さわやかスクールサポート事業 （学級支援）	84,227	A	少人数学級教員数	24人	26人	7人	
			アップスマイルサポーター数	20人	27人	70人	
			アップスマイルサポーター配置率	40.0%	48.2%	25.5%	
2 理科教育振興事業	158	A	上尾支部科学展出品数	161 作品	144 作品	145 作品	
			県中央展選出作品数	2/107 作品	2/118 作品	1/115 作品	
			埼玉県学習状況調査 理科 正答率	小5 71.1% (70.7%) 中2 58.7% (55.7%)	73.2% (72.2%) 53.9% (52.1%)	64.7% (64.0%) 57.0% (54.6%)	
3 教育に関する3つの達成目標 推進事業	510	A	教育に関する3つの達成目標 全小・中学校全学年 学力の達成率（読む・書く・計算）	93.5 %	94.5 %	94.6 %	
			規律ある態度80%達成項目数	93項目 / 108項目	99項目 / 108項目	103項目 / 108項目	
			新体力テスト 総合評価 上位3ランク(ABC) の児童生徒の割合	小学校	78.4 %	79.5 %	79.6 %
				中学校	83.9 %	84.9 %	85.5 %
4 魅力ある学校づくり事業	7,114	A	委嘱研究発表校数	11 校	13 校	11 校	
			上尾市学力調査の 国語・算数(数学)・英 語の平均値	小学校	52.2	52.4	51.8
				中学校	51.0	50.7	50.3
			教育に関する3つの達成目標 体力(運動習慣)	79.9 %	80.1 %	76.4 %	
5 学力向上支援事業	7,139	A	家庭等で学習 している児童生 徒の割合	小学校	57.0 %	60.7 %	63.7 %
				中学校	65.5 %	65.3 %	64.1 %
			上尾市学力調査の 国語・算数(数学)・英 語の平均値	小学校	52.2	52.4	51.8
				中学校	51.0	50.7	50.3
6 小学校理科支援員配置事業	420	B	理科支援員配置校数	22 校	6 校	4 校	
			理科支援員配置時数(年間)	5.9 時間	9.5 時間	11.7 時間	
			埼玉県学習状況調査 理科 正答率	小5	71.1% (70.7%)	73.2% (72.2%)	64.7% (64.0%)
				中2	58.7% (55.7%)	53.9% (52.1%)	57.0% (54.6%)

◎施策の成果指標

指標名		平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
上尾市学力調査の 国語・算数(数学)・英語の平均値	小学校	52.2	52.4	51.8	全国平均を50としたときの市の平均値
	中学校	51.0	50.7	50.3	

## ◎教育委員会の施策評価

創意工夫を生かした適切な教育指導の実施については、計画的に市内小・中学校への委嘱研究を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図り、学校の教育力を高めてきた。また、知・徳・体の調和のとれた教育を推進し、埼玉県全県で取り組んでいる「学力」「規律ある態度」「体力」の3領域における取組も一層推進することができた。

さわやかスクールサポート事業では、児童生徒へのきめ細かな指導と支援を行うため少人数学級教員やアップスマイルサポーター等を配置した。平成24年度は、アップスマイルサポーターを70人に増員し、特別な教育的支援を要する児童生徒一人一人への「きめ細かい支援」を行い、個々の状況に合わせた教育を充実させることができた。小学校への理科支援員の配置についても、平成24年度は4校の配置となったが、1校あたりの配置時数を増加させるなど工夫を施し、きめ細かい支援を行うこともできた。理科教育の充実に効果があり、観察・実験を充実させたことで、科学に興味をもたせ、科学的な思考力を身につけさせることにもつながった。上尾市学力調査の結果から明らかとなった児童生徒の学習状況の実態をもとに、全小・中学校において、学力向上プランを作成し、創意工夫を生かしながら、適切な教育指導の実施に努めることができた。

## ◎次年度以降の目標設定

目標指標		平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
上尾市学力調査の 国語・算数(数学)・英語の平均値	小学校	51.8	52.0	52.0
	中学校	50.3	51.0	51.0

### 学識経験者の意見

◇インクルーシブ教育を求める保護者が増えていることもあり、支援を必要とする児童・生徒への個別指導態勢の充実をいっそう進める必要がある。ただし、障がいの内容によっては特別支援学校での教育が子どもの発達に効果的な場合もあり、保護者の相談に責任をもって対応する体制も必要と考える。また、いわゆる理科離れや教員の急速な世代交代による指導技術の継承の断絶などの不安もあり、理科支援員の配置は実現するべきと考える。また児童・生徒の家庭学習時間が不十分なことは国際比較調査からも指摘されるところであり、保護者への啓発運動なども必要である。

※インクルーシブ：障害の有無によらず、誰もが地域の学校で学べる教育

◇学習内容の難易度の上昇により、学年が上がるにつれて、学力の差は大きくなっていく。低学年の段階から「落ちこぼし」をさせない配慮や個別指導の体制を作ることが大切である。少人数学級、アップスマイルサポーター等の配置により個別支援の充実に努めることは学力の向上に大きな効果をもたらしている。

◇教育に関する3つの達成目標は、学力の達成率94.6%、規律ある態度達成項目数、新体力テスト上位ランク児童・生徒数の割合ともに高い数値で概ね満足できる。ただし、学力向上支援事業は、上尾市学力調査の平均値が小・中学校とも昨年度の平均値を下回り、基礎力の向上が望まれる。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成
施策	施策Ⅱ 時代の変化に対応した教育の推進

### ●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額（千円）	事業 評価	評価指標				
			評価指標	22年度	23年度	24年度	
7 日本語指導職員派遣事業	2,253	A	派遣教職員数	12人	9人	12人	
8 準教科書・副読本整備事業	13,185	A	道徳副読本整備状況	67%	67%	100%	
			体育科準教科書整備状況	67%	67%	67%	
			保健体育科準教科書整備状況	100%	100%	100%	
			社会科副読本整備状況	100%	100%	100%	
9 英語弁論暗唱大会開催事業	58	A	大会参加生徒数	31人	30人	33人	
			市学力調査英語平均値	50.8	51.7	52.1	
10 中学生海外派遣研修事業	9,810	A	応募生徒数	51人	46人	44人	
			派遣生徒数	22人	22人	22人	
11 小・中学校ALT配置事業	100,698	A	ALT配置人数	15人	27人	27人	
			ALT活用 時数	小学校	9.6時間	30.6時間	31.5時間
				中学校	27.9時間	36.0時間	37.6時間

### ◎施策の成果指標

指標名		平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
上尾市学力調査の 国語・算数(数学)・英語の平均値	小学校	52.2	52.4	51.8	全国平均を50としたときの市の 平均値
	中学校	51.0	50.7	50.3	

### ◎教育委員会の施策評価

時代の変化に対応した教育の推進については、国際社会のグローバル化が急速に進展する中で、豊かな国際感覚を養い、将来、国際社会に貢献できる人材として必要な資質と能力を育成することができた。また、自国の文化や母語を学び、国際語である英語を用いたコミュニケーション能力を培うとともに、豊かな心の育成や外国人児童生徒・海外帰国子女等への支援も行うことができた。特に、全小中学校にALTを配置し、生きた英語を学べるだけでなく、日常的にALTとふれ合える環境を整備することができ、英語力やコミュニケーション力を培う上でも効果的であった。また、感受性豊かで多くのことを吸収できる中学生を海外に派遣し、ホームステイ等の直接的な体験をとらして主体的に交流を図る機会を設ける海外派遣研修事業や英語弁論大会の開催は、生徒の英語による表現力や英語を学ぶ意欲を高めることができた。

## ◎次年度以降の目標設定

目標指標		平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
上尾市学力調査の	小学校	51.8	52.0	52.0
国語・算数(数学)・英語の平均値	中学校	50.3	51.0	51.0

## 学識経験者の意見

- ◇日本語を母語としない児童・生徒の学習支援は今後とも継続していただきたい。またALTについては、契約内容による制約もあるだろうが、語学に限定せず出身地の文化紹介など、社会科や家庭科などの授業参加など、ALTの活用方法について工夫があってもよいのではないか。
- ◇小学生の中学年から英語を導入し、高学年では英語を正式教科にするという提言がなされた。こうした流れに沿う教育改革が期待されている。上尾市では、小学校においても各学校にALTを配置し、そうした流れを先取りしており、各学校の独自性を発揮したALTの活用を期待する。
- ◇平成23年度からのALT全小・中学校配置、平成24年度のALT活用時数の増加等で生きた英語を学べる環境は整ってきた。中学生海外派遣事業は、市内の児童・生徒に夢や希望を与える。継続とPR策に期待する。

〔ALT授業風景〕



〔中学生海外派遣事業〕



上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成
施策	施策3 進路指導・キャリア教育の充実

### ●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額（千円）	事業 評価	評価指標				
			評価指標	22年度	23年度	24年度	
12 中学生社会体験チャレンジ事業	593	A	職場体験事業所数	214	233	221	
			職場体験充実度	生徒	97.8%	98.6%	98.8%
				保護者	99.4%	99.5%	99.7%
13 中学生進路意識啓発事業	110	A	ふれあい講演会 実施率	100%	100%	100%	

### ◎施策の成果指標

指標名		平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
職場体験充実度	生徒	97.8%	98.6%	98.8%	職場体験を「よい」と回答した割合
	保護者	99.4%	99.5%	99.7%	

### ◎教育委員会の施策評価

進路指導・キャリア教育の充実については、地域で活躍する様々な分野の方々に講師に招き、各中学校で講演会を実施することにより、生徒が自らの進路や生き方について考える有意義な機会とすることができた。また、中学生が地域の中で様々な社会体験活動を行い、多くの人々とふれあう中で、みずみずしい感性や社会性、自立心を養い、たくましく豊かに生きる力をはぐくむのに効果をあげた。これらの事業をとおり、自分の将来に夢や希望を抱き、その実現をめざし、基礎的な知識や、望ましい勤労観、職業観の育成を図ることができた。平成24年度は、生き方を学ぶ進路指導・キャリア教育を推進するために、講演会で生徒と保護者が一緒に講演を聴く機会を設けるなど、学校と家庭が一体となり、進路意識の啓発を図ることができた。

### ◎次年度以降の目標設定

目標指標		平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
職場体験充実度	生徒	98.8%	100%	100%
	保護者	99.7%	100%	100%

学 識 経 験 者 の 意 見	◇チャレンジ事業はできれば3日間は欲しい。また校内でのキャリア学習は、外部講師による講演が中心になる傾向があると考えられるが、地元企業の協力をえて、現場で働いている働き盛りの職業人を一定数揃えたワークショップ型の学習活動などを検討するなど、新しい取り組みを考える余地もあるのではないかと。
	◇今や、高校生・大学生の就職難が恒常化し、残念なことであるが若者の多くが、夢や希望を抱けなくなってきている。そうしたことも踏まえ、仕事の厳しさを学ぶ体験は非常に貴重である。協力企業に感謝し更なる発展に期待したい。
	◇中学校の社会体験チャレンジ事業は、生徒、保護者の評価指標も年々向上している。これは、学校、地域社会を結ぶ良い事業である。計画を立案、実施する学校、並びに、協力企業・事業所の努力を評価する。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標 I 確かな学力と自立する力の育成
施策	施策 4 特別支援教育の推進

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額（千円）	事業 評価	評価指標			
			評価指標	22年度	23年度	24年度
1 さわやかスクールサポート事業 （学級支援）	84, 227	A	少人数学級教員数	24人	26人	7人
			アッピースマイルサポーター数	20人	27人	70人
			アッピースマイルサポーター配置率	40. 0%	48. 2%	25. 5%
14 特別支援学級補助員派遣事業	15, 698	B	補助員配置数	9人	9人	9人
			補助員配置率	26. 5%	26. 5%	28. 1%
			補助員対象研修回数	0回	0回	9回
15 特別支援教育推進事業	236	A	特別支援教育研修会回数	5回	5回	5回
			特別支援教育研修会参加率	100 %	104 %	100 %
			障害のある児童生徒の理解	500人	500人	500人

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
アッピースマイルサポーター配置校数	10校	20校	33校	
アッピースマイルサポーター数	20人	27人	70人	
アッピースマイルサポーター配置率	40. 0%	48. 2%	25. 5%	

## ◎教育委員会の施策評価

特別支援教育の推進については、各種研修会の充実によって教員の指導力、資質を向上させ、成果をあげることができた。例えば、県立特別支援学校の特別支援教育コーディネーターを講師として、発達障害の児童生徒の理解や支援等について研修を深めることができた。各研修会の参加者からは、「今後の指導につながる具体的な講話で参考になった」「児童生徒一人ひとりのニーズに応じた様々な教材教具を知ることができた」「校内での特別支援教育コーディネーターの役割を理解することができた」という感想が寄せられた。また、各学校でも県立特別支援学校の特別支援教育コーディネーターを招く中で、特別な教育的支援を要とする児童生徒への様々な具体的対応について研修を深めることができた。また、通常学級や特別支援学級に在籍している児童生徒は、障害の種類や発達状況が様々であり、それぞれの担任を補助するためにアップスマイルサポーターなどを配置している。これらにより、該当児童生徒の在籍する学級の健全かつ円滑な運営に大きな効果をあげている。特別支援学級及び特別支援学校との合同作品展は、今回も多くの子供生徒、市民の方の参加があり、障害のある児童生徒にとっては作品を披露する場であり、市民にとっては障害のある児童生徒について理解する場となり、よい交流の機会とすることができた。

## ◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
アップスマイルサポーター配置校数	33校	33校	33校
アップスマイルサポーター配置率	25.5%	26.0%	26.0%

◇インクルーシブ教育の推進には、現職教員の研修が必須である。今後とも研修の充実を図る必要がある。

◇70名に及ぶアップスマイルサポーターの配置に敬意を表するところである。一方、発達障害といっても多義にわたり、同じ障害名であっても症状は個別にみな異なり、対応は専門家であっても難しい。一人一人の症状にあわせた個別の指導計画を作成し、指導方法を工夫する必要がある。担任やサポーターがスーパーバイズを受けられるシステムがあるとよい。教育センターの臨床心理士等との連携をいっそう密にとりたい。

◇特別支援教育の推進には、人・物・場所等の確保が重要である。特別支援学級補助員配置率の微増は有効である。通常学級在席を希望する障害をもつ児童・生徒が多い現状で、アップスマイルサポーター数が増加したことも心強い。



上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成
施策	施策5 幼児教育の推進

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額（千円）	事業 評価	評価指標			
			評価指標	22年度	23年度	24年度
16 幼稚園就園奨励費補助事業	284,894	A	就園奨励費補助金減免率(公立)	15.9%	26.2%	16.2%
			就園奨励費補助金支給率(私立)	78.2%	77.8%	76.1%
17 私立幼稚園児保護者負担軽減費補助事業	69,757	A	公・私立幼稚園保育料差額	102,839円	100,245円	97,198円
			補助額	106,837円	111,145円	113,050円

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
幼稚園就園率	84.2%	86.3%	87.4%	全幼稚園児数／(人口－保育所等通園児数)※市内在住3,4,5歳児
幼稚園等と連携・交流している小学校の数	22/22校	22/22校	22/22校	

◎教育委員会の施策評価

幼児教育は、子どもの基本的な生活習慣や態度を育て、道徳性の芽生えを培い、学習意欲や態度の基礎となる好奇心や探究心を養い、創造性を豊かにするなど、小学校以降における生きる力の基礎や生涯にわたる人間形成の基礎を培う上で重要な役割を担っている。

幼稚園は幼児教育の中核としての役割を果たしており、幼稚園への就園を希望する幼児の保護者に対し補助を行い経済的負担を軽減することで、幼稚園への就園機会の確保を図っている。就園率は増加傾向にあり、一定の効果が上がっているものとする。

また、幼稚園・保育所等と小学校においては、職員間の情報交換や全ての小学校において幼稚園・保育所との交流を実施しており、子どもの生活や遊びが小学校教育へと円滑に移行していくよう連携を図っている。

さらに、幼稚園は地域の子育て拠点としての役割を担っていることから、各幼稚園が実施する子育て支援事業について、県とともに積極的な支援を行っている。

質の高い幼児期の学校教育・保育を総合的に提供するため、「子ども・子育て支援制度」が平成27年度から本格的にスタートする予定であり、保育部門と共に、家庭、幼稚園・保育所等、地域社会が手を取り合って子どもたちの健やかな育ちを支えていくため、子育て支援の充実など、多角的な事業展開に取り組んでいく必要がある。

◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
幼稚園就園率	87.4%	88.4%	89.4%

学 識 経 験 者 の 意 見	◇幼児教育の重要性が近年、いっそう強く指摘されるようになってきている。幼児教育の向上と充実のための支援は必要である。
	◇子育て支援の充実が急速に進んでいる。一方で、保育所や幼稚園と学校との環境の差は大きい。双方の交流や連携はますます重要になっていくと思われる。保護者や地域ボランティアの活用等発展に期待したい。
	◇少子化の中で、市内の幼稚園就園率の向上や全小学校と幼稚園・保育園との交流推進は素晴らしい。「子ども・子育て支援制度」の実施に向けて、未就園児を持つ家庭への関わり・支援が大事である。

## 基本目標Ⅱ

### 豊かな心と健やかな体の育成

---

施策1 豊かな心の育成

施策2 生徒指導の充実

施策3 人権教育の推進

施策4 学校教育相談の充実

施策5 学校保健の充実

施策6 食育の推進・学校給食の充実

施策7 児童生徒の体力向上

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策1 豊かな心の育成

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額（千円）	事業 評価	評価指標				
			評価指標	22年度	23年度	24年度	
3 教育に関する3つの達成目標推進事業	510	A	教育に関する3つの達成目標 全小・中学校全学年 学力の達成率（読む・書く・計算）	93.5%	94.5%	94.6%	
			規律ある態度80%達成項目数	93項目 / 108項目	99項目 / 108項目	103項目 / 108項目	
			新体力テスト 総合 評価 上位3ランク（ABC） の児童生徒の割合	小学校	78.4%	79.5%	79.6%
				中学校	83.9%	84.9%	85.5%
8 準教科書・副読本整備事業	13,185	A	道徳副読本整備状況	67%	67%	100%	
			体育科準教科書整備状況	67%	67%	67%	
			保健体育科準教科書整備状況	100%	100%	100%	
			社会科副読本整備状況	100%	100%	100%	
18 学習支援事業	204	A	外部指導者補助数	70人	97人	103人	
			外部指導者活用数	140人	103人	187人	
19 さわやかスクールサポート事業（学校図書館支援）	18,091	A	学校図書館支援員数	8人 / 33校	8人 / 33校	25人 / 33校	
			1校あたりの派遣日数 （平均）	43日	43日	小学校202日 中学校約41日	
			「読書が好き・どちらか といえば好き」と回答した 児童生徒の割合	小学6年	71.6%	72.6%	74.5%
				中学3年	73.8%	75.8%	72.8%
20 指導法改善事業	31,359	A	指導の重点努力点 配布数	935冊	942冊	965冊	
			研修会実施数	37回	44回	44回	
			市学力調査 平均値	小学校	52.2	52.4	51.8
				中学校	51.0	50.7	50.3
21 小・中学校音楽会開催事業	861	A	参加学校数	33校	33校	33校	
			参加者数	約2,000人	約2,000人	約2,000人	
22 中学校部活動支援事業	3,080	A	部活動指導員配置人数	45人	45人	45人	
23 中学校吹奏楽演奏会開催事業	299	A	参加学校数	11校	11校	11校	
			一般来場者数	282人	310人	378人	
24 道徳教育研究推進モデル校事業	760	A	道徳教育研究発表会	—	2回	2回	
			研究発表会参加者数	—	348人	359人	
			規律ある態度 80%達成項目数	93項目 / 108項目	99項目 / 108項目	103項目 / 108項目	

25	小中学校図書整備事業	25,861	A	増加冊数	小学校	7,179冊	13,272冊	12,399冊
					中学校	3,295冊	6,959冊	5,783冊
				廃棄冊数	小学校	593冊	43,153冊	4,023冊
					中学校	199冊	17,848冊	497冊
				年度末現有冊数	小学校	204,860冊	174,740冊	181,400冊
					中学校	114,566冊	103,677冊	106,119冊
			A	図書標準目標達成率	小学校	91.6%	78.1%	83.7%
					中学校	81.6%	72.1%	74.3%
26	図書館資料整備事業	37,783	A	蔵書数（全9館）		574,733点	580,537点	580,754点
				蔵書密度（市民一人当たり）		2.53点	2.56点	2.55点
				図書館利用者数（全9館）		384,793人	385,539人	440,036人
				総貸出点数（全9館）		1,440,079点	1,418,163点	1,455,006点
				貸出密度（市民一人当たり）		6.34点	6.24点	6.39点
27	子どもの読書活動支援センター運営事業	3,763	A	出張おはなし会		—	—	23回
				ボランティア養成講座		—	—	21回

### ◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
学力の達成率（読む・書く・計算）	93.5%	94.5%	94.6%	小・中学校全学年正答率
規律ある態度80%達成項目数	93項目 / 108項目	99項目 / 108項目	103項目 / 108項目	規律ある態度達成数 （小・中学校合計）
「読書が好き・どちらかといえば好き」と回答した児童生徒の割合	小学6年	71.6%	72.6%	上尾市小・中学校学力調査 質問紙調査
	中学3年	73.8%	75.8%	
研究発表会参加者数	—	348人	359人	上平北小学校、上平中学校 研究発表会参加者数

### ◎教育委員会の施策評価

豊かな心の育成については、読書活動による情緒教育などがあげられるが、平成24年度は、学校図書館支援員を小学校全校に毎日配置、中学校には週1日配置することにより、司書教諭を補助し、児童生徒の読書活動推進に大きく貢献することができた。特に、推薦図書や読書案内等や新書の展示コーナーが設置されるようになり、児童生徒が本を手に取りやすい環境が整ってきた。児童生徒の学習に必要な環境を整えるため、図書標準の基準を満たすよう予算配分を行うことができた。

また、小・中学校音楽会等を開催し、音楽的な活動をとおして、児童生徒の豊かな心の育成につながった。学校間で互いの音楽を鑑賞することは、児童生徒だけでなく教員の指導力を高める視点からも効果があり、市民への芸術文化の提供と学校理解にもつながった。

道徳及び体育科・保健体育科では教科用図書が発行されていないため、道徳の授業及び体育科、保健体育科の授業を充実させ、本市の教育水準を高めるために準教科書・副読本の整備を行った。

各学校においては、児童生徒や地域の実態に応じた特色ある教育活動を推進するため、特に、総合的な学習の時間等に専門的な知識や技能を持つ外部指導者や学校支援ボランティアを積極的に活用し、体験活動や個に応じた指導の充実を図り、児童生徒にとって魅力ある教育活動を展開できた。

家庭・地域と連携した道徳教育を展開し、豊かな人間性や社会性を育む道徳教育を充実させ、豊かな心の育成に取り組むことができた。

## ◎次年度以降の目標設定

目標指標		平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
規律ある態度80%達成項目数		103項目 / 108項目	108項目 / 108項目	108項目 / 108項目
「読書が好き・どちらかといえば好き」と回答した児童生徒の割合	小学6年	74.5%	75.0%	75.5%
	中学3年	72.8%	73.5%	74.0%
学校図書館支援員の1校あたりの派遣日数（平均）		小学校202日 中学校 41日	小学校202日 中学校202日	

## 学識経験者の意見

◇新学習指導要領にそった学習指導の定着と調整を進めるためにも、現職教員の研修と、外部からの支援は不可欠である。また児童・生徒たちの自発的な学習活動の習慣を身につけさせる上でも、図書館の環境整備は欠かせない。さらに通常の授業のなかで図書館を利用した学習経験を多くさせることは、子どもたちに自ら学ぶ姿勢を形成するうえで有効である。図書館を授業に生かした学習活動を促進する指導法の研修も求められている。

◇多くの項目について確実に成果を挙げており、教育委員会、各学校等の多くの努力が実を結んだものと思われる。

◇豊かな心の育成には全ての教育活動が関わる。中でも道徳教育の果たす役割は大きい。24年度に、道徳副読本の整備が100%になったことは快挙である。有効な活用と研究授業等を大事に積み上げて欲しい。

〔原市中学校〕



〔子どもの読書活動支援センターの活動〕



上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策2 生徒指導の充実

### ●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額（千円）	事業 評価	評価指標			
			評価指標	22年度	23年度	24年度
28 生徒指導推進事業	4,539	A	支援員派遣校数	5校	5校	4校
			支援員1校あたり週 派遣日数	1.6日	1.6日	2日
			暴力行為発生件数	16件	26件	20件
			街頭補導回数	558回	536回	569回
29 さわやか相談室運営事業	17,760	A	相談室の相談回数	14,073回	9,927回	11,204回
			相談の解決率	79%	80%	87%
			不登校生徒出現率	1.81%	1.69%	1.60%

### ◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
街頭補導回数	558回	536回	569回	11中学校区における街頭補導実施数
不登校生徒出現率（中学校）	1.81%	1.69%	1.60%	不登校生徒数／全生徒数×100
いじめ解消率（小中学校）	98.6%	100%	96.9%	いじめ解消件数／いじめ認知件数×100

### ◎教育委員会の施策評価

生徒指導の充実については、各学校に対して管理職のリーダーシップの下に、生徒指導主任を中心に全教職員の共通理解に基づいて校内指導体制を確立し、学級や学年の枠を超え、相互に連携して児童生徒一人一人の指導・援助に当たるよう指導し、充実を図ることができた。生徒指導支援員を希望する学校に配置し、校内巡視などを行うことで、抑止力となり、専門性の高い支援員を配置することで、非行・問題行動を繰り返す生徒への教員の指導を支援することができ、再発防止等にも効果を上げることができた。

上尾市生徒指導推進協議会の活動に関しては、市内の小・中学校及び高等学校が地域及び警察等関係機関、青少年育成団体等と連携し、中学校区内のパトロールなど具体的な実践を行い、児童生徒及び青少年の非行・問題行動の抑止力となることができた。「いじめ」については、いじめ根絶対策会議を開催し、すべての学校で児童生徒対象の共通したアンケートを月1回実施したり、保護者対象の共通したアンケートを学期1回実施する等、市全体で「いじめ」の早期発見・早期解消のための取組ができた。さわやか相談室相談員の昨年度の相談延べ件数は一昨年より増えているが、相談の解決率は87%に達し、いじめや不登校等の問題に積極的に関わることで成果をあげることができた。特に不登校生徒出現率は1.60%で、着実に減少している。

## ◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
暴力行為発生件数	20件	0件	0件
いじめ解消率（小中学校）	96.9%	100%	100%

## 学識経験者の意見

◇不登校児童・生徒の出現率が低下傾向にあり、また全国平均と比較しても低い傾向にあることは、当該事業の有効性を示すものと考えられる。一層の改善を目指して、学年別や地域別など、より詳しい分析を踏まえた対策が求められる。さらに近年、貧困家庭の子どもが不登校になりやすい傾向があることが指摘されている。この点についても、教職員の共通理解を形成する研修などが求められる。

◇生徒指導についても、かつてのような非行・問題行動等よりも発達障害を持つ児童生徒の対応に、より多くのエネルギーを必要としている状況も聞いている。かつての非行問題に対して警察や関係機関と密接に連携したように、精神科というとまだ敷居が高い傾向があるが、さらにいっそう専門機関と連携すべきである。いじめ・不登校等に関しては、困難な課題であるにもかかわらず努力の成果がよく現れている。

◇学校でのいじめや暴力の解決は、早期発見・早期対策が重要である。教職員と児童・生徒の信頼関係、及び学校と保護者・地域との連携協力が肝要である。さわやか相談室との連携も大切にしたい。

〔原市南小学校 靴揃え〕



〔いじめ根絶対策会議〕

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策3 人権教育の推進

### ●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額 (千円)	事業 評価	評価指標			
			評価指標	22年度	23年度	24年度
30 人権教育推進事業 (指導課所管分)	1,357	A	教育に関する3つの達成目標 「規律ある態度」 やさしい言葉づかい	86.2%	86.5%	88.7%
			人権作文・標語集配布率	100%	100%	100%

### ◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
教育に関する3つの達成目標 「規律ある態度」 やさしい言葉づかい	86.2%	86.5%	88.7%	効果の検証 「相手のことを考えたやさしい言葉づかいができる」 『よくできる』『だいたいできる』回答児童生徒数/全児童生徒数×100
人権作文・標語集配布率	100%	100%	100%	配布数/児童生徒数×100

### ◎教育委員会の施策評価

人権教育の推進については、人権作文の作成と人権作文・標語集の配布やあいさつ運動、道徳教育の推進により児童生徒の人権意識を高めることができた。また、管理職及び教員を対象に差別の現実を踏まえた講演やフィールドワーク等を実施し、人権教育を推進する指導者の資質の向上に努めた。しかし、インターネット上の人権問題や未だに解決されない同和問題、そして、学校現場におけるいじめや体罰の問題が課題として残されている。これらを解決するために、学校の管理職及び教員が人権問題を正しく理解し、差別をしない教育を一層充実させていく必要がある。

### ◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
教育に関する3つの達成目標 「規律ある態度」 やさしい言葉づかい	88.7%	89.0%	90.0%

- ◇多様な差別のあり様について、児童・生徒への啓発とともに、教職員の研修が欠かせない課題となっている。とくに体罰問題などを契機とした教員側の意識改革も人権教育の柱の一つと考えるべきである。
- ◇インターネット上のいじめが社会問題化している。現在小中学生の子供たちが大人になった時、どんな社会になっているか大きな不安があるが、望ましい社会にもっていけるよう今教えるべきことをしっかりと教えておきたい。
- ◇「規律ある態度」やさしい言葉づかいの指標が、向上していることは好ましい。人権教育は、同和教育の推進を中心に様々な課題に対処するとともに、内容のマンネリ化には留意したい。



上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策4 学校教育相談の充実

### ●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額（千円）	事業 評価	評価指標			
			評価指標	22年度	23年度	24年度
31 不登校児童生徒の学校 適応指導事業	4,408	A	適応指導教室入級者数	11人	10人	9人
			適応指導教室開設日数	165日	167日	146日
			学校への復帰率	100%	100%	100%
32 教育相談事業	11,446	A	教育相談実件数	310件	282件	279件
			教育相談延べ回数	3,829回	3,432回	3,171回
			教育相談終結率	78.7%	88.7%	86.4%

### ◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
不登校児童生徒出現率	0.77%	0.70%	0.67%	不登校児童生徒数/児童生徒数×100
教育相談終結率	78.7%	88.7%	86.4%	終結数/相談実件数×100
適応指導教室から学校への 復帰率	100%	100%	100%	学校復帰した人数/入級者×100

### ◎教育委員会の施策評価

学校教育相談の充実により、不登校児童生徒の出現率が下がってきた。これは、市の目標値をもとに各学校がそれぞれに不登校児童生徒の出現率の目標値を設定し取り組んだ結果である。各学校が数値目標を設定することで、より具体的に策を練り、解決に向け努力することができた。また、年度途中で進捗状況を把握し、取組の見直しを行ったことも不登校児童生徒数の減少につながったと考えられる。平成24年度の教育相談件数は3,171回であるが、教育心理専門員・相談員・指導員の丁寧な対応により、高い終結率となっている。教育相談内容では、児童生徒の発達の偏りによる相談が多いため、知能検査の件数も前年度の52件から82件に増加したが、教育心理専門員2名が丁寧にアセスメントを行うことで、学校とも連携し支援の構築を図ることができた。また、不登校の背景には家庭環境の影響も考えられるので、スクールソーシャルワーカーが学校と連携し積極的に家庭と関わることで不登校が解消されている。平成24年度の学校適応指導教室に入級した児童生徒の学校復帰率は100%であった。適応指導教室に入級している児童生徒が学校復帰するためには、市内全中学校に設置しているさわやか相談室との連携が必要である。教育センターでは毎日のようにさわやか相談室と連絡を取り合い、不登校児童生徒の情報を共有しながら教育相談を進めてきた。その結果として、平成24年度不登校児童生徒の出現率は、前年度をさらに下回ることができた。今後も、不登校を出さないため、また、不登校になってしまった児童生徒を学校復帰させるため、教育センターでの教育相談機能の一層の充実を図っていく。また、同時に学校、家庭、教育センターの連携を進めながら、学校適応指導教室をより有効に機能させていく。

### ◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
教育相談終結率	86.4%	87.0%	88.0%

学識経験者の意見	◇不登校児童・生徒の適応教室への入級率上げが求められる。そのためにも個々の児童・生徒の問題点について、学校の教員と相談員などとの情報がスムーズに共有できる体制がより効率的に行われるよう配慮が求められる。
	◇発達の偏り、発達障害児と、それ以外の不登校の児童生徒の対応はまったく異なっている。教育心理専門員の活躍を今後とも期待したい。
	◇学校教育相談の取組みで、不登校児童・生徒の出現率が減少している。今後も、校内の教職員間の連絡、学校と家庭の情報交換、小学校と中学校等との連携等を大事にしていきたい。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策5 学校保健の充実

◎施策の成果指標

指標名			平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
「早寝 早起き 朝ごはん」調査	起床時間 7時までに起きる	小学校	95.4%	96.0%	96.5%	「早寝 早起き朝ごはん」調査（各年度4月調査）
		中学校	81.4%	83.8%	83.4%	
	就寝時間 10時までに寝る	小学1年	95.8%	96.5%	97.5%	
		小学2年	92.8%	93.2%	95.0%	
		小学3年	88.7%	89.5%	90.3%	
		小学4年	86.0%	81.9%	83.8%	
		小学5年	76.2%	77.3%	73.5%	
		小学6年	60.5%	64.4%	62.6%	
	就寝時間 11時までに寝る	中学1年	81.8%	82.6%	78.9%	
		中学2年	53.1%	54.3%	51.8%	
中学3年		27.6%	31.9%	31.5%		
DMF保有数	小学校	0.47	0.41	0.36	※DMF保有数・過去にむし歯になったことがある歯の本数を表したもの	
	中学校	1.48	1.23	1.29		
	平均	0.81	0.68	0.67		

◎教育委員会の施策評価

生活習慣の乱れを改善するよう、各学校で学校保健計画を作成し、学校保健委員会を中心に家庭や地域の関係機関との連携を図り、子どもたちの生活のリズムを整えるなどの基本的な生活習慣を培うとともに、健康管理などにより、学校保健活動を推進することは重要である。また、食物アレルギーについては、学校と保護者や主治医等との連携をはかり、情報共有やアレルギー症状発生時の対応について、共通認識を持つことが一層重要となってきた。平成24年度は学校保健委員会を各学校で複数開催しており、家庭・地域・関係機関との連携を図ることができた。定期健康診断は、全ての小・中学校で計画的に実施されており、疾病の早期発見・治療による健康保持・増進を行うことができた。特に「歯・口の健康づくり」においては、歯科保健コンクールへの応募校も増え、児童生徒一人当たりのDMF保有数も低下してきている。

◎次年度以降の目標設定

目標指標			平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
起床時間 7時までに起きる	小学校		96.5%	97.0%	98.0%
	中学校		83.4%	84.0%	85.0%
就寝時間	10時までに寝る	小学校	83.8%	84.0%	85.0%
	11時までに寝る	中学校	54.1%	55.0%	56.0%
DMF保有数	小学校		0.36	小・中学校平均0.66未満	
	中学校		1.29		
	平均		0.67		

**学識経験者の意見**

- ◇児童・生徒の健全な身体的発達には、家庭（保護者）に一義的な役割がある。必要な情報を伝えつつ、保護者への啓発に今後とも努めるべきである。
- ◇この分野は、本来的には各家庭の問題である。だからこそ家庭向けの啓発活動が必要不可欠である。しかし、学校教育で家庭の問題にまで踏み見込まざるを得ない現実は理解できるが、限界は見てくるのではないだろうか。
- ◇DMF保有数の割合が減少している。これは、学校と家庭の協力の証である。しかし、平成24年度の小3・4年生と中1・2年生の「就寝時間」が、平成22年度より遅いことが気付きである。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策6 食育の推進・学校給食の充実

## ◎施策の成果指標

指標名		平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明	
朝ごはんを必ず食べる	小学校	1年	97.1%	97.5%	97.2%	「早寝 早起き 朝ごはん」調査（各年度4月調査）
		2年	95.6%	95.0%	96.9%	
		3年	95.2%	95.3%	95.1%	
		4年	95.8%	96.4%	95.4%	
		5年	95.9%	96.0%	94.5%	
		6年	96.7%	96.6%	96.2%	
		平均	96.1%	96.1%	95.9%	
	中学校	1年	95.6%	96.7%	94.9%	
		2年	93.0%	93.0%	92.5%	
		3年	90.6%	91.1%	92.7%	
平均		93.1%	93.6%	93.4%		

## ◎教育委員会の施策評価

「食」は知・徳・体の基礎となるものであり、特に成長期にある子どもたちにとっては重要なものである。しかしながら、子どもたちの朝食欠食や偏食、肥満傾向の増加、保護者によるネグレクトなど、食生活の乱れが指摘されている。学校と家庭が連携しながら、子どもたちに望ましい食習慣を身に付けさせるとともに、学校における食育推進者の指導力を向上させるため、研修の充実が必要である。平成24年度も教育委員会では、「早寝・早起き・朝ごはん運動」に取り組み各学校においては、独自に作成したチャレンジカードを子どもたちに取り組みせたり、栄養教諭等がエプロンシアターで指導するなど、工夫を凝らしながら取り組むとともに、保護者への啓発にも取り組んでいる。また、本市では学校ファームが設置されており、平成24年度も児童生徒が栽培体験に取り組み、環境や食物に対する理解を深めることができた。また、栄養教諭・栄養職員とのチーム・ティーチングによる食に関する指導の充実がなされ、平成24年度より栄養教諭配置校が8校に増加され、さらなる充実が図られた。地場産米を使用した給食については、市内の米生産農家をはじめJAあだち野の協力により、地産地消の一環として実施している。さらに生産者の顔が見える地場産米や地場産野菜類の使用は、食材に対する認識を深め、食育を推進する役割を果たしている。

## ◎次年度以降の目標設定

目標指標		平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
朝ごはんを必ず食べる	小学校	95.9%	100%	
	中学校	93.4%		

学識経験者の意見	◇地元の食材の積極的な利用や農場体験などは、生きた社会科学習にもなり、食生活に自覚を促すことは生涯にわたる健康的な生活の基礎ともなる。今後とも取り組みを充実させてほしい。
	◇「早寝・早起き・朝ごはん」は、長年にわたる継続的な取り組みであり、この数字をキープしているのは大変なこと、よく努力していることと理解できる。地場産の米や野菜、果物等を給食に提供することは大いに奨めるべきであり、保護者や子供にもよりいっそう広く知らせるべきことである。
	◇平成24年度の小3・4年生と中1・2年生の「朝ごはんを必ず食べる」割合が、平成22年度より僅かだが減少した。これは「就寝時間」と同傾向であり、この学年の生活習慣が少し気になる。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策7 児童生徒の体力向上

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額（千円）	事業 評価	評価指標				
			評価指標	22年度	23年度	24年度	
3 教育に関する3つの達成目標 推進事業	510	A	教育に関する3つの達成目標 全小・中学校全学年 学力の達成率（読む・書く・計算）	93.5%	94.5%	94.6%	
			規律ある態度80%達成項目数	93項目 / 108項目	99項目 / 108項目	103項目 / 108項目	
			新体力テスト 総合評価 上位3ランク（ABC） の児童生徒の割合	小学校	78.4%	79.5%	79.6%
				中学校	83.9%	84.9%	85.5%
4 魅力ある学校づくり事業	7,114	A	委嘱研究発表校数	11校	13校	11校	
			上尾市学力調査の 国語・算数（数学）・ 英語の平均値	小学校	52.2	52.4	51.8
				中学校	51.0	50.7	50.3
			教育に関する3つの達成目標 体力（運動習慣）	79.9%	80.1%	76.4%	
22 中学校部活動支援事業	3,080	A	部活動指導員配置人数	45人	45人	45人	
33 児童生徒体力向上推進事業	3,603	A	運動部活動加入率	75.3%	74.2%	75.0%	
			教育に関する3つの達成目標 体力（運動習慣）	79.9%	80.1%	76.4%	
			新体力テスト 総合評価 上位3ランク（ABC） の児童生徒の割合	小学校	78.4%	79.5%	79.6%
				中学校	83.9%	84.9%	85.5%

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
教育に関する3つの達成目標 体力 （週1時間以上運動する児童生徒の割合）	79.9%	80.1%	76.4%	週1～2回以上は1時間以上運動すると回答した児童生徒の割合
新体力テスト 総合評価 上位3ランク（ABC） の児童生徒の割合	小学校	78.4%	79.5%	5ランク中 上位3ランクの児童生徒 の割合
	中学校	83.9%	84.9%	

## ◎教育委員会の施策評価

児童生徒の体力向上については、児童生徒の体力低下が懸念される中、本市においても児童生徒の体力向上を目指し、さまざまな取組を行った。具体的には、大学教授、市体育関係団体、市教育委員会が上尾市体力向上地域連携協議会を組織し、上尾市の児童生徒の体力等について協議し、なわとび大会等を計画することで運動する機会を設定することができた。小学校体育連盟と中学校体育連盟においては、児童生徒の実態に応じた体力向上に係る取組を推進することができた。新体力テストの総合評価上位3ランクの割合が上がっていることから、児童生徒の体力は、伸びてきている。また、児童生徒の運動に対する意欲を高めることができ、日常的な運動の推進及び運動の機会を増やすことができた。さらに中学校では、スポーツにおいて高い技能、知識を持つ部活動指導員を配置することで、教員による指導を補うことができ、部活動の充実及び活性化を図ることができた。

## ◎次年度以降の目標設定

目標指標		平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
教育に関する3つの達成目標 体力 (週1時間以上運動する児童生徒の割合)		76.4%	80%	80%
新体力テスト 総合評価 上位3ランク(ABC) の児童生徒の割合	小学校	79.6%	80%	80%
	中学校	85.5%	86%	86%

### 学識経験者の意見

◇児童・生徒が学校外でスポーツを楽しむ時間を増やしたり、参加する児童・生徒数を増やすためには、地域のスポーツ団体やNPOなどとの連携をより深めることもスポーツに参加する多様な機会を提供することになる。

◇体力測定の結果は全国的に低下傾向が続いている。そんな中、上尾市においては、向上傾向が見られ、大いに評価できる。

◇平成24年度の「週1時間以上運動する児童・生徒」の割合は、平成22年度より低い。「縄跳び」を日常の活動に入れるなどして、運動量・時間を確保したい。

〔 大石中学校 〕



〔 富士見小学校 〕



## 基本目標Ⅲ

### 安心・安全で質の高い学校教育の推進

---

- 施策1 教職員の資質・能力の向上
- 施策2 学校経営の改善・充実
- 施策3 学校施設・設備の整備・充実
- 施策4 学校のICT化の推進
- 施策5 学校安全の推進
- 施策6 就学支援の充実

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策1 教職員の資質・能力の向上

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額 (千円)	事業 評価	評価指標			
			評価指標	22年度	23年度	24年度
20 指導法改善事業	31,359	A	指導の重点努力点 配布数	935冊	942冊	965冊
			研修会実施数	37回	44回	44回
			市学力調査 平均値	小学校 52.2	52.4	51.8
			中学校 51.0	50.7	50.3	

◎施策の成果指標

指標名		平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
上尾市学力調査の国語・算 数（数学）・英語の平均値	小学校	52.2	52.4	51.8	全国平均を50としたときの市の平均値
	中学校	51.0	50.7	50.3	

◎教育委員会の施策評価

教職員の資質、能力の向上については、埼玉県教育委員会及び上尾市教育委員会主催の各種研修会や各学校の取組によって積極的に進めることができた。実践的かつ効果的な取組により、若手教師の育成とともに、優秀な指導力を有する教員を育てることにつながった。その結果、教職員全体の資質、能力の向上へとつなげることができた。また、適正な教育課程を計画、編成、実施、適切な評価を行うことで、学力向上及び教育活動の充実とともに、優れた指導力と使命感を兼ね備えた教師の育成とともに、学校の教育力を維持向上させることができた。教師力アップ講座も軌道に乗り、実施回数を増加させた。多くの教員が参加し自己研鑽に励んだ。各教科の指導方法やICT機器を活用した指導方法などについて研修を積み、結果として質の高い授業実践につなげることができた。中学校へのデジタル教科書の配備も済み、創意工夫ある魅力な授業の展開が行える環境を整えることができた。デジタル教材の配備は、小・中学校におけるICT機器を活用した教育活動の充実に役立っている。さらに上尾市の指導の重点・努力点を作成し全教員へ配布し、指導方針等の周知徹底とともに、指導方法の工夫改善、授業の充実を図ることができた。

◎次年度以降の目標設定

目標指標		平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
上尾市学力調査の国語・ 算数（数学）・英語の平均値	小学校	51.8	52.0	52.0
	中学校	50.3	51.0	51.0

学  
識  
経  
験  
者  
の  
意  
見

◇教員の世代交代が急速に進んでいる状況があり、経験者の指導技術などの継承機会を用意して、若い世代の教員としての資質・能力の向上に努める必要がある。また若い世代の教員は、一般的にICT分野に詳しい傾向があるので、彼らの能力を活かした教材開発の促進やその普及の環境整備が求められている。

◇次々と新たな課題に取り組む教師の姿勢に敬意を表する。児童生徒の学力向上にいつか必ず反映されると確信しているが、早急に結果を求めすぎるのは危険でもある。教師力アップ講座における教師の意欲的な学びに感動さえ覚えた。教師の自主的な向上心に今後も期待したい。

◇「教育は人なり」という。教職員の資質・能力の向上は必須である。教育先進県への指導主事の派遣研修等、積極的な研修機会を提供したい。5か年計画等で、さらに上尾市の学校の教育力向上を図りたい。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策2 学校経営の改善・充実

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額 (千円)	事業 評価	評価指標				
			評価指標	22年度	23年度	24年度	
4 魅力ある学校づくり事業	7, 114	A	委嘱研究発表校数	11校	13校	11校	
			上尾市学力調査の国語・算数（数学）・英語の総合	小学校	52.2	52.4	51.8
				中学校	51.0	50.7	50.3
教育に関する3つの達成目標 体力（運動習慣）	79.9%	80.1%	76.4%				
20 指導法改善事業	31, 359	A	指導の重点努力点配布数	935冊	942冊	965冊	
			研修会実施数	37回	44回	44回	
			市学力調査 平均値	小学校	52.2	52.4	51.8
中学校	51.0	50.7		50.3			
34 学校評議員制度運営事業	590	A	学校評議員会議開催回数	3.15回	3.30回	3.21回	
			学校評価に対する意見聴取回数	1.64回	1.82回	1.84回	
35 元気な学校をつくる地域連携推進事業	220	A	学校応援団員数	9,795人	10,434人	9,510人	
			学校応援団活動件数	8,435件	9,029件	8,892件	

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明	
上尾市学力調査の国語・算数（数学）・英語の平均値	小学校	52.2	52.4	51.8	全国平均を50としたときの市の平均値
	中学校	51.0	50.7	50.3	
教育に関する3つの達成目標 体力（運動習慣）	79.9%	80.1%	76.4%	週1～2回以上は1時間以上運動すると回答した児童生徒の割合	
研修会実施数	37回	44回	44回	指導課研修総数	
学校評価に対する意見聴取回数	1.64回	1.82回	1.84回	学校の自己評価等に対する評議員からの意見聴取回数	
学校応援団活動件数	8,435件	9,029件	8,892件	各学校の学校応援団活動件数合計	



## ◎教育委員会の施策評価

学校経営の改善・充実については、各学校が、学校評議員会を充実させ、学校運営に関し保護者や地域住民の願いを把握して、地域と一体となった教育活動を展開するなど、魅力ある学校づくりの推進につながった。また、学校応援団の様々な取組をとおり、地域の方々が児童生徒の活動にかかわることができ、機会が増えることによって、地域で子どもを育てるという意識を高めることができた。学校・家庭・地域が一体となった教育活動が展開され、質の高い教育活動を推進することができた。また、毎月の校長会議、教頭会議においては、学校経営、学校運営、教育活動に関するさまざまな情報、諸課題を学校間において共有するために、本年度も情報交換を行う時間を設け、学校間の連携強化を図ることができた。

## ◎次年度以降の目標設定

目標指標		平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
上尾市学力調査の国語・算数（数学）・英語の平均値	小学校	51.8	52.0	52.0
	中学校	50.3	51.0	51.0
教育に関する3つの達成目標 体力（運動習慣）		76.4%	80%	85%
学校評議員会議開催回数		3.21回	4.0回	4.0回
学校応援団活動件数		8,892件	10,000件	10,000件

### 学識経験者の意見

◇埼玉県内ではあまり採用されていない学校協議会（コミュニティスクール）の試験的な導入も検討されてよいと考える。

◇学校応援団については、地域住民の高齢化も加速しつつあり、通学区域の地域差も大きい。是非多面的な評価を望む。

◇学校評議員や学校応援団が評価されている。学校・家庭・地域が一体となる教育活動が学校力を高める。日々の連携・協力を大事にしたい。

また管理職の研修内容を工夫し、学校経営の機運を高めたい。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策3 学校施設・設備の整備・充実

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額 (千円)	事業 評価	評価指標					
			評価指標	22年度	23年度	24年度		
8 準教科書・副読本整備事業	13,185	A	道徳副読本整備状況	67%	67%	100%		
			体育科準教科書整備状況	67%	67%	67%		
			保健体育科準教科書整備状況	100%	100%	100%		
			社会科副読本整備状況	100%	100%	100%		
25 小中学校図書整備事業	25,861	A	増加冊数	小学校	7,179冊	13,272冊	12,399冊	
				中学校	3,295冊	6,959冊	5,783冊	
			廃棄冊数	小学校	593冊	43,153冊	4,023冊	
				中学校	199冊	17,848冊	497冊	
			年度未現有冊数	小学校	204,860冊	174,740冊	181,400冊	
				中学校	114,566冊	103,677冊	106,119冊	
			図書標準目標達成率	小学校	91.6%	78.1%	83.7%	
				中学校	81.6%	72.1%	74.3%	
36 小中学校教室エアコン整備事業	80,746	S	小学校	普通教室	必要教室数	12 室数	385 室数	387 室数
					整備済室数	12 室数	12 室数	385 室数
			中学校	普通教室	整備室数	0 室数	373 室数	2 室数
					未整備室数	0 室数	0 室数	0 室数
	26,583	S	小学校	普通教室	必要教室数	13 室数	13 室数	205 室数
					整備済室数	13 室数	13 室数	13 室数
			中学校	普通教室	整備室数	0 室数	0 室数	192 室数
					未整備室数	0 室数	0 室数	0 室数
37 小中学校教育教材整備事業	43,889	A	小学校の児童1人当たりの支出額	1,940円	2,073円	2,126円		
			中学校の生徒1人当たりの支出額	2,746円	2,741円	2,724円		
			備品購入費（小学校）	25,307千円	26,662千円	26,591千円		
			備品購入費（中学校）	17,015千円	17,299千円	17,297千円		
38 小中学校校舎大規模改造（耐震補強）事業	793,099	A	耐震化棟数	7棟（81棟） （補強不要含む）	12棟（93棟） （改築含む）	13棟（106棟） （改築含む）		
			校舎耐震化率	小学校 70.2% 中学校 60.4% 平均 66.3%	小学校 87.5% 中学校 62.5% 平均 77.5%	小学校 94.4% 中学校 79.1% 平均 88.3%		
39 小中学校校舎改築事業	323,419	S	富士見小学校校舎改築 工事出来高率（%）	30%	70%	—		
			中央小学校校舎改築工事	基本設計 耐力度調査	実施設計	出来高率 20%		
			上尾中学校校舎改築工事	—	—	基本設計 耐力度調査		
			改築事業完了校累計数	0校／3校	1校／3校	1校／3校		

## ◎施策の成果指標

指標名		平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
図書標準目標達成率	小学校	91.6%	78.1%	83.7%	現有冊数/標準冊数×100
	中学校	81.6%	72.1%	74.3%	現有冊数/標準冊数×100
校舎耐震化率		小学校 70.2% 中学校 60.4% 平均 66.3%	小学校 87.5% 中学校 62.5% 平均 77.5%	小学校 94.4% 中学校 79.1% 平均 88.3%	平成22年度まで対象棟数122棟 平成23年度から対象棟数120棟
改築事業完了校累計数		0校 / 3校	1校 / 3校	1校 / 3校	改築事業校（富士見小・中央小・上尾中）

## ◎教育委員会の施策評価

学校施設は、児童生徒が1日の大半を過ごす活動の場であり、また災害時には地域住民の避難場所となるため、学校施設の安全性の確保は最優先課題でもあることから、積極的に耐震化を図っている。耐震化工事と並行して、トイレ改修工事も実施しており、ドライ化したトイレは清潔で明るく、以前社会問題化した3K（暗い・臭い・汚い）による健康被害も解消しており、平成25年度には校舎内のトイレも上尾中学校改築工事を除き100%リニューアルされる。

また、平成23年度には、児童が健康で快適な環境の中で授業に臨むことができるよう、小学校の普通教室にエアコンを設置し、平成24年7月には、中学校の普通教室にもエアコンを設置した。このように、ハード面での環境整備を着実に進めてきている。

子どもたちや教員が授業等で使用する学習教材や教具を、確かな学力と豊かな心をはぐくむ学校図書については、国庫補助金などを活用しながら、国の標準指標に近づけるため計画的に整備している。平成24年度は、学校図書館管理システムの運用を開始し、図書検索、蔵書管理がシステム化され、効率的図書管理を行うことが可能となった。これら学校図書関連施策と相乗効果を創出し、児童生徒が快適でより良い学習活動を行うための環境整備を進めていく。

## ◎次年度以降の目標設定

目標指標		平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
図書標準目標達成率	小学校	83.7%	86.8%	89.8%
	中学校	74.3%	76.0%	77.7%
学校施設の耐震化率		88.3%	97.4%	97.4%

## 学識経験者の意見

◇学校は災害発生時など、非常時の地域住民の安全拠点ともなる施設であり、耐震化や緊急時対応施設などの整備が求められている。

◇各学校のトイレの改修工事が進み、来客にとってもとても好評である。最近の特に7～9月の暑さは異常で、エアコンなしでは健康を損ねかねない。学習の場であればなおのこと、学びやすい環境は不可欠である。各クラスにエアコンを設置できたことは、近隣の市町村に比べても大いに評価できることである。学校図書館管理システムによって、図書館管理が機能的にできたことは学校以外の図書館の利用方法とも共通性があり、管理と利用の両面から好ましい。

◇校舎内トイレのリニューアル化、小・中学校全普通教室のエアコン化、富士見小校舎改築工事等、市教育委員会の尽力に敬意を表する。「美しい環境は美しい人をつくる。」安心・安全が教育の根幹である。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策4 学校のICT化の推進

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額 (千円)	事業 評価	評価指標				
			評価指標	22年度	23年度	24年度	
20 指導法改善事業	31,359	A	指導の重点努力点配布数	935冊	942冊	965冊	
			研修会実施数	37回	44回	44回	
			市学力調査 平均値	小学校	52.2	52.4	51.8
				中学校	51.0	50.7	50.3
40 小中学校コンピュータ 整備事業	117,940	A	パソコン設置 台数	教育用	1,421台	1,453台	1,453台
				校務用	1,080台	1,086台	1,080台
			教育用パソコンの 目標達成率 [達成値…児童生徒 3.6人に1台]	小学校	26.7%	27.1%	27.9%
				中学校	28.1%	27.7%	27.5%
41 小中学校電子黒板整備事業	4,713	A	電子黒板ユニット設置必要台数(小学校)	540台	539台	513台	
			電子黒板ユニット設置必要台数(中学校)	249台	258台	255台	
			大型テレビ設置台数(小学校)	487台	487台	487台	
			大型テレビ設置台数(中学校)	117台	117台	117台	
			電子黒板ユニット設置台数(小学校)	15台 (51台)	128台 (179台)	66台 (245台)	
			電子黒板ユニット設置台数(中学校)	15台 (26台)	22台 (48台)	22台 (70台)	
			電子黒板ユニット設置 率(小学校)	9.5%	33.2%	47.8%	
			電子黒板ユニット設置 率(中学校)	10.4%	18.6%	27.5%	

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
教育用パソコンの目標達成率 (小学校) [達成値…児童生徒3.6人に1台]	26.7%	27.1%	27.9%	3.6÷(整備台数/児童数)
教育用パソコンの目標達成率 (中学校) [達成値…児童生徒3.6人に1台]	28.1%	27.7%	27.5%	3.6÷(整備台数/生徒数)
電子黒板 ユニット設置率	小学校	33.2%	47.8%	ユニット設置総数/設置必要台数
	中学校	10.4%	18.6%	
普通教室の校内LAN整備率	0%	1校/33校	1校/33校	

## ◎教育委員会の施策評価

情報化が進展する中、教育においても情報化が強く求められており、国においても教育のICT化を積極的に支援している。本市小学校普通教室において、国の補正予算を活用して大型テレビを設置し、有効活用しているが、引き続き中学校においても大型テレビを計画的に整備していきたい。また、平成24年度には、電子黒板ユニット88台を購入し、小・中学校に設置した。これについても同じく小中学校全クラスに1台ずつ整備できるよう継続的に設置していく。

教育現場のICT化により、多くの科目でデジタル教科書が導入され、教員が電子黒板を利用しながら授業を行っている。また、今後普通教室での授業で、タブレット端末などの携帯型端末を導入し、情報端末を通して教員と児童生徒との双方向でやりとりを可能とするため、校内LANを構築していく。

教育のICT化だけをもって、児童生徒の学力を向上させるものではないが、ICTを活用するタイミングやその使用方法などの工夫と、これまでの指導方法を組み合わせることで、児童生徒の学力向上につながるものと考えられる。平成24年度、教育委員会では、教師力アップ講座と題してICT活用研修会を通年で開催し、各教員のICT活用技術の向上を図ってきた。今後も、研修会を開催することで、指導技術の向上を図る必要がある。

授業における電子黒板の活用やデジタルブック等の活用が確実に定着してきており、今後においてもICT活用技術の向上や、更なるICT機器の整備を進め質の高い学校教育を推進していく必要がある。

また、教育のICT化により、各教員が作成した教材資料については、教育委員会内のネットワークで共有化を図っている。児童生徒の実態に即した、より良い指導教材づくりにつなげていきたい。

## ◎次年度以降の目標設定

目標指標		平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
教育用パソコンの目標達成率	小学校	27.9%	28.6%	28.8%
	中学校	27.5%	27.7%	32.1%
電子黒板ユニット設置総数	小学校	47.8%	60.0%	70.0%
	中学校	27.5%	40.0%	60.0%
普通教室の校内LAN整備率		1校/33校	2校/33校	50.0%

### 学識経験者の意見

◇新しい教育環境の整備には、若い教職員や児童・生徒に適応力が高いので、この分野に優れた人材の活用を図ってほしい。またインターネットには様々な問題があり、とくにネットモラルについては、積極的な教育が必要であり、教員の研修も重要である。

◇教職員のICT機器活用教育に対する関心や意欲の高さは、教師力アップ講座等で理解することができる。良くも悪くもこうした流れを止めることは不可能であり、推進することが求められている。大切なのは如何に活用し、子供の学力の定着を図るかである。

◇社会の情報化の進展が急であり、学校現場のICTの鈍さが懸念される。優先順位を繰り上げて予算措置し、設置を進めたい。また、教職員のICT研修を推進し、指導技術の向上や電子黒板の有効活用に繋げたい。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策5 学校安全の推進

### ●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額 （千円）	事業 評価	評価指標			
			評価指標	22年度	23年度	24年度
4 2 児童生徒安全推進事業	20,567	A	新規防犯ブザー貸与数	2,061人	2,150人	2,160人
			不審者事案等の件数	46件	27件	24件
4 3 学校安全パトロールカー事業	3,355	A	月あたりパトロール回数	15.9回	15.1回	15.6回
			登下校時の事故件数	12件	15件	13件

### ◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
登下校時の事故件数	12件	15件	13件	
不審者事案等の件数	46件	27件	24件	

### ◎教育委員会の施策評価

登下校時において、児童生徒が巻き込まれる交通事故が絶えない状況であるが、本市では、子どもたちの安全確保のため、各学校に配置されたスクールガードリーダーを中心に、PTAや学校応援団、各地域の防犯ボランティアの皆様などの協力により、登校時の立哨指導を行うとともに、各学校において、関係団体と情報交換しながら連携を図り、地域ぐるみで子どもたちを見守る体制づくりを進めることができた。また、小中学校の下校時刻に合わせて、市職員および地域住民により、学校安全パトロールカーの運行を行うとともに、防犯ブザーを貸与することによって、不審者による声掛け事案が減少するなど、その効果が表れている。登下校時だけでなく、校内における事件、事故、災害から児童生徒を守るため、学校は安全の確保に努めるとともに、様々な場面を想定し、児童生徒に危険対応能力の基礎を培うことが求められている。例えば、危険に遭遇したときに避難できる家庭や商店に依頼している「子ども110番の家」の場所を覚えるために、「子ども110番の家」をスタンプラリーで確認したり、登下校時に「子ども110番の家」の方々と挨拶をするなどして、いつでも助けを求められる環境づくりを行っている学校も増えつつあり、こうした実践を全市的に広めてきた。平成24年度は、全校一斉に緊急地震速報を利用した避難訓練と市教育委員会の情報収集訓練を同時に実施したが、そこで明らかとなった課題を今後の防災対策に反映させていく必要がある。さらには学校における危機管理体制をしっかりと確立させ、教職員の危機管理能力の向上を図っていく必要がある。また、パトロール実施者証保有者数が2,286人と県下でもトップレベルであり、地域の交通事故防止や防犯に取り組んでいる。

### ◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
登下校時の事故件数	13	0	0
不審者事案等の件数	24	0	0

### 学 識 経 験 者 の 意 見

- ◇登下校時の安全は保護者にとっても重要な関心事であり、より完全な安全確保の体制を整える努力が求められる。
- ◇地域の方々は、毎日通学路に出て、子供たちに声をかけ、見守り活動を実施している。地域と学校とのより強い信頼関係に発展するよう期待する。
- ◇日常のスクールガードリーダー、PTA、学校応援団、住民による学校安全パトロールカーの運行など、取り組みは活発である。学校・教育委員会の学校安全の推進策に敬意を表する。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策6 就学支援の充実

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額 (千円)	事業 評価	評価指標				
			評価指標	22年度	23年度	24年度	
7 日本語指導職員派遣事業	2, 253	A	派遣教職員数	12人	9人	12人	
4.4 入学準備金・奨学金貸付事業	3, 083	A	貸付件数	16人	11人	11人	
4.5 小中学校特別支援教育就学 奨励事業	5, 150	A	奨励費申請書 の配布・回収	小学校	98%	100%	100%
				中学校	92%	97%	100%
			奨励費受給者 の割合	小学校	92%	94%	90%
				中学校	89%	86%	93%
特別支援学級 在籍者の割合	小学校	0.95%	0.83%	0.87%			
	中学校	1.03%	1.18%	1.18%			
4.6 小中学校就学援助費補助事業	47, 820	A	就学援助申請人数	1, 568人	1, 589人	1, 615人	
4.8 準要保護児童生徒給食費援助事業	66, 613		就学援助認定割合	96.2%	95.7%	97.8%	
4.7 要保護児童生徒医療費援助事業	197	B	就学援助申請割合	8.1%	8.3%	8.6%	
			医療券交付人数	636人	52人	54人	
			医療券使用人数	199人	15人(3人)	16人(1人)	
			医療券使用人数割合	31.3%	29.0%	29.6%	

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
—	—	—	—	

◎教育委員会の施策評価

格差の無い教育の実施のため、小学校・中学校・高校・大学までの一貫した支援が必要とされている中、さまざまな取組がなされ、教育機会の均等が図られている。すべての家庭の子どもが安心して同じように教育を受けられるよう就学支援の充実に努めるため、引き続き継続する必要がある。なお、経済的支援の施策については、何をもちて成果とするかを定めることが困難であるため、数値目標は設定しないこととする。

◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
—	—	—	—

学識経験者の意見	◇今年度は国会においても「子どもの貧困対策法」が制定されてことでもあり、貧困と学力の関係が注目を集めている。子どもたちが安心して学習に取り組めるように、積極的な支援体制が必要である。
	◇世相を反映してか、就学援助申請数がじりじりと増加している。生活保護世帯の増加と関連し、心配なことではあるが、効果的な就学支援がなされていくよう今後とも見ていく必要性を感じる。
	◇子どもの教育を受ける機会の均等からもこの施策は重要である。本当に支援を必要としている人に十分な援助が届く事業の継続を願う。

## 基本目標Ⅳ

### 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上

---

施策1 学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進

施策2 家庭教育の充実



上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅳ 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上
施策	施策1 学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額 (千円)	事業 評価	評価指標			
			評価指標	22年度	23年度	24年度
35 元気な学校をつくる地域連携 推進事業	220	A	学校応援団員数	9,795人	10,434人	9,510人
			学校応援団活動件数	8,435件	9,029件	8,892件

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
学校応援団員数	9,795人	10,434人	9,510人	学校応援団登録者数合計
学校応援団活動件数	8,435件	9,029件	8,892件	学校応援団活動件数合計

◎教育委員会の施策評価

学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進については、元気な学校をつくる地域連携推進事業により、市内すべての小・中学校で組織されている学校応援団が、安心・安全に教育活動に協力し活動することができた。例えば、授業中、児童の発表を聞いて、感想を述べる、長期休業中に補充学習の支援を行う、児童に読み聞かせをする、図書室の環境整備や図書室貸出返却を補助する、飼育委員会の補助として活動の支援や休日の飼育動物の世話に協力する、ビオトープを整備する、校外学習等の引率を支援する、あいさつ運動や校内パトロールを行う、児童の下校時に声掛けをし、児童を見守る等、様々な取組を実施することができた。その結果、地域の方々の児童生徒の活動にかかわる取組の機会が増え、学校に協力いただくことで学校をより深く理解し、地域で子どもを育てるという意識を高めることができた。また、学校応援団員の専門的な知識や優れた実践等を積極的に活用でき、質の高い学校教育の推進につながった。さらに、11月の「上尾市教育月間」には、各学校が音楽会や敬老参観など特色ある学校公開を行い、家庭・地域の教育に関する関心と理解を深め、学校・家庭・地域が連携した教育活動を推進できた。

◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
学校応援団活動件数	8,892件	10,000件	10,000件

学 識 経 験 者 の 意 見	◇学校応援団ができる仕事について、協力者からもアイデアを出してもらい、例えばキャリア教育など、新たな活動の幅を広げることも検討されてよいと考える。
	◇学校・家庭・地域が連携したユニークな取り組みや実践を発表しあう機会がもっともっとあってもよい。学校からの協力要請ばかりで、地域還元というかお礼のお手紙等を子供たちが作るなど感謝の気持ちを伝えるものがあると一方的でなく交流に発展するのではないか。
	◇学校応援団の活動が評価される。さらに、学校応援団を充実・拡大したい。学校だより、地域の回覧板などで活動事例をもっと紹介し、気軽に多くの地域の方々が関わり参加できるようにしたい。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅳ 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上
施策	施策２ 家庭教育の充実

### ●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額（千円）	事業 評価	評価指標			
			22年度	23年度	24年度	
49 家庭教育推進事業	490	B	家庭教育講演会開催数	1回	1回	1回
			家庭教育に関する講座等 委託団体数	6団体	4団体	6団体
			家庭教育に関する講座・ 講演会参加者数	1,540人	1,426人	1,552人

### ◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
家庭教育に関する講座・講演会参加者数	1,540人	1,426人	1,552人	

### ◎教育委員会の施策評価

家庭の教育力の向上を図るため、子育て中の親に対して、子どもが生活のために必要な習慣を身に付け、自主性を育むための家庭教育に取り組めるよう、家庭教育推進事業をPTAなど保護者の組織と連携を図りながら実施した。この事業により、市PTA連合会による家庭教育行動指針の啓発事業、幼稚園保護者会6団体による家庭教育に関する講演会、市PTA連合会と共催による家庭教育講演会といった事業を実施することができた。

また、家庭教育に関する知識だけではなく、実際に子どもたちを指導する親の教育力の向上を図るため、埼玉県で作成した「親の学習プログラム」等の制度を各校PTA等が活用できるよう、情報提供に努めた。

### ◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
家庭教育に関する講座・講演会参加者数	1,552人	1,600人	1,600人

学 識 経 験 者 の 意 見	◇講演会などによる啓発運動も大切であるが、子育てに深刻な課題を抱えている家庭を見出し、適切な対応をとるための体制整備も充実が求められる。
	◇家庭教育講演会は、子供が小さい時にこそ必要である。幼稚園保護者会6団体の家庭教育講演会では、幼い兄弟を連れての参加は大変であるが、託児等のボランティアを活用してでも今後是非継続させたい事業である。
	◇教育行政が家庭教育を支援することは容易ではない。先進事例（たとえば「ブックスタート事業」）と連携を図り、必要な情報が必要な人に届く仕組みづくりが急務である。

## 基本目標Ⅴ

### 生涯にわたる豊かな学びのサポート

---

施策1 生涯学習体制の充実

施策2 生涯学習施設の整備

施策3 生涯学習機会の提供

施策4 人権教育の推進

施策5 図書館運営の充実

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート
施策	施策1 生涯学習体制の充実

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
あげお市政出前講座参加者数	9,813人	12,746人	10,526人	

◎教育委員会の施策評価

生涯学習を推進する体制については、第3次上尾市生涯学習振興基本計画の推進を図りながら、情報の収集や提供、学習グループや社会教育団体等の支援が必要である。このため、平成24年度については、公民館や生涯学習課での情報収集や提供を行うほか、生涯学習を行いたい市民に対して、まなびすと指導者バンク運営を行って、指導者情報の提供を行ったほか、あげお市政出前講座による職員の派遣などを推進してきた。

しかし、まなびすと指導者バンクの登録者の活用が進まない、登録者数も不安定といった課題があり、制度の見直しが必要となってきた。また、市政出前講座についても、消防・救命分野に利用が偏っており、他の分野の利用促進が課題となっている。

◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
あげお市政出前講座参加者数	10,526人	11,000人	11,000人

学識経験者の意見

◇高齢市民の増加傾向が進むなか、市民による自発的な活動を支援することが、行政に求められていると考える。団体と指導者のマッチングなど、支援方法についても工夫が必要であろう。

◇指導者バンクへの登録者でなくとも専門知識を持つ人たちの活動は多様化しており、口コミ情報をもとに市民に浸透してきている。どこに行けば自分の欲しい情報が得られるのかさえわかれば学びの意欲を持つ人たちは、自分たちで動いていける。情報提供の仕方が課題になるのではないだろうか。

◇高齢社会に入り、心身の健康のためにも、生涯学習の意義は大きい。高齢者をはじめ多くの世代が学び、その成果が市全体に生きる仕組みづくりとして、「生涯学習のポイント制度」的な一工夫が必要である。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート
施策	施策2 生涯学習施設の整備

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額 （千円）	事業 評価	評価指標			
			評価指標	22年度	23年度	24年度
50 学校施設開放（生涯学習）事業	1,754	A	利用団体登録	33団体	42団体	71団体
			利用件数	373件	409件	672件
			利用者数（延べ人数）	3,967人	4,445人	7,676人

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
学校施設開放事業利用者数（延べ人数）	3,967人	4,445人	7,676人	

◎教育委員会の施策評価

23年度までは、市内6公民館及び学校施設開放事業（平方東小学校・芝川小学校）を中心に生涯学習施設を整備し、利用者の生涯学習意欲にこたえる施設の整備を行ってきた。これに加え、24年度から富士見小学校で学校施設開放事業を開始し、大会議室、第1音楽室、集会室、生活科教室を開放特別教室として開放している。その結果、24年度は学校施設開放事業について利用団体登録、利用件数及び利用者数が著しく増加した。また、6公民館についても建設から20年を超えており、一部設備等については更新の必要が生じているが、安全かつ快適に利用をいただくために、緊急性の高いものから修繕等を行って対応してきた。

◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
学校施設開放事業利用者数（延べ人数）	7,676人	8,000人	8,500人

学 識 経 験 者 の 意 見	◇施設の利用団体数が急増している。学校施設などの開放がいつそう進められることが求められている。
	◇高齢化社会に向かい、スポーツだけでなく文化的活動の場としての役割は大きい。学校施設がこうした分野の役割を持つことは画期的なことであり、地域コミュニティの形成に大いに役立つ。
	◇生涯学習施設の中心は公民館や図書館である。本市の両施設の利用率を再調査し他市と比較研究し、施設の整備・改善に努めたい。学校開放事業も有効だが、新図書館など魅力ある生涯学習施設が望まれる。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート
施策	施策3 生涯学習機会の提供

### ●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額（千円）	事業 評価	評価指標			
			評価指標	22年度	23年度	24年度
5 1 生涯学習指導者活動推進事業	431	B	市民講座 （実施講座数）	29講座	28講座	51講座
			市民講座 （参加者数）	359人	464人	617人
5 2 成人式事業	991	A	成人式対象者	2,178人	2,144人	2,099人
			成人式参加者	1,618人	1,593人	1,533人
			参加率	74.29%	74.30%	73.03%
5 3 子ども大学 あげお・いな・おけがわ	0	B	全参加者数	—	60人	61人
			平均参加率	—	94.6%	85.6%
5 4 公民館講座事業	3,286	A	講座数	140講座	136講座	130講座
			講座参加者数 （延べ人数）	9,687人	10,104人	10,549人

### ◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
公民館講座参加者数(延べ人数)	9,687人	10,104人	10,549人	公民館まつりを除く

### ◎教育委員会の施策評価

生涯学習機会の提供については、公民館事業をその基幹的な事業として位置付けている。このほか地域の大学を活用した事業、まなびすと指導者バンク活動推進会議が学校開放施設を利用して行う「まなびすと市民講座」、市職員が行う「あげお市政出前講座」、小学校4～6年生を対象に行う「子ども大学 あげお・いな・おけがわ」など、市民ニーズの多様化に対応しながら、学習機会の提供を行ってきた。今後も、高齢化社会などに対応できるよう、柔軟な施策展開が必要である。

### ◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
公民館講座参加者数(延べ人数) (公民館まつりを除く)	10,549人	11,000人	11,000人

学 識 経 験 者 の 意 見	◇参加者が増加傾向にあり、定年退職した高齢者の学習機会を求める動きの表れと思われる。ニーズを探りながら市民にとって有意義な学習内容の提供ができるように対応していく必要がある。
	◇公民館の活動はとても盛んであるが、イベントの時など駐車場が足りずに大変な思いをすることが多い。公民館の多くは、車に頼らざるを得ない場所にあり、近隣にある駐車場とシェアしあうなど工夫が必要である。
	◇生涯学習機会の提供として、公民館の主催事業数や参加者数は概ね良好である。市民のニーズの把握や事業の広報等に留意されたい。他の課と連携した市独自の「シルバー大学」等の開設も検討されたい。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート
施策	施策4 人権教育の推進

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額 （千円）	事業 評価	評価指標	評価指標		
				22年度	23年度	24年度
55 人権教育推進事業 （生涯学習課所管分）	991	A	人権標語作品応募点数	19,400点	18,705点	18,867点
56 人権教育集会所運営事業	1,825	A	人権教育集会所主催事業 参加者数	373人	491人	614人
			人権教育集会所利用者数	24,568人	26,869人	26,774人

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
人権教育集会所利用者数	24,568人	26,869人	26,774人	

◎教育委員会の施策評価

現在も、さまざまな人権問題が生じている中で、人権教育・啓発の推進については、人権教育推進協議会を設置し、積極的に推進を図っている。さらに、子どもの頃から「人権感覚」をはぐくむことを目的に、全小・中学校生を対象にした人権標語コンクールを実施するなど、人権意識の高揚を図っている。他には、24年度は教育委員会事務局職員（96人）を対象に同和問題をテーマに教育委員会職員人権研修会を行った。

また、人権教育・啓発を推進していく拠点施設として人権教育集会所の活用を図り、人権研修会等を積極的に実施している。24年度は、人権教育集会所で障害者問題（精神障害）をテーマに人権問題指導者研修会を行った。

◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
人権教育集会所利用者数	26,774人	27,000人	27,300人

学識経験者の意見

- ◇「精神障害」等テーマを設けて、指導者研修会を実施することは、問題が焦点化されとても有効である。
- ◇人権教育は同和問題を中心に、新たな課題の解決を目指し、粘り強く推進することが大事である。自治会やPTAの協力を得ながら、学校・家庭・地域が連携・協力する取組みに期待したい。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート
施策	施策5 図書館運営の充実

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額（千円）	事業 評価	評価指標				
			評価指標	22年度	23年度	24年度	
26 図書館資料整備事業	37,783	A	蔵書数（全9館）	574,733点	580,537点	580,754点	
			蔵書密度（市民一人当たり）	2.53点	2.56点	2.55点	
			図書館利用者数（全9館）	384,793人	385,539人	440,036人	
			総貸出点数（全9館）	1,440,079点	1,418,163点	1,455,006点	
			貸出密度（市民一人当たり）	6.34点	6.24点	6.39点	
27 子どもの読書活動支援センター運営事業	3,763	A	出張おはなし会	—	—	23回	
			ボランティア養成講座	—	—	21回	
57 ブックスタート事業	2,877	A	絵本配布回数（健康診断実施回数）	24回	24回	23回	
			配布率	95.5%	98.2%	99.8%	
			0歳～6歳 図書館利用者数	1,383人	1,698人	2,351人	
			児童書・紙芝居貸出点数	児童書	152,180点	153,654点	152,198点
				紙芝居	3,755点	3,573点	4,140点

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
図書館利用者数	384,793人	385,539人	440,036人	全9館
貸出密度	6.34点	6.24点	6.39点	市民一人当たりの貸出点数

◎教育委員会の施策評価

図書館資料の整備・充実については、多様化・高度化・専門化する市民のニーズに応えるために社会情勢や蔵書バランス等を考慮し、広い視野から資料を収集し、迅速な資料提供ができるように努めた。引き続き蔵書の充実に努めるとともに、県内ネットワークを有効活用し、質の高い情報提供に努める。また、子どもの読書活動は、言葉を学ぶ、感性・知性を高め、想像力・表現力を豊かなものにし、子どもの成長には欠かせないものである。ブックスタートは、本配布後のフォローアップ講座や「あかちゃんおはなしかい」を充実させ、本の普及と共に育児支援に大きく寄与できた。また、平成24年7月に子どもの読書活動支援センターが開設したことで、子どもたちに読書の楽しさを知ってもらい、生涯にわたる読書習慣を身につけられるように、家庭・地域・学校に向けて様々な支援を行った。さらに読み聞かせボランティアの育成と読み聞かせ技術向上を目指して事業を展開した。

◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
図書館利用者数（全9館）	440,036人	442,000人	444,000人
図書館蔵書点数	580,754点	586,000点	593,000点

学 識 経 験 者 の 意 見	◇高齢化社会の到来により高齢市民の学習の場としての利用価値も高まっている。また情報のデジタル化進行によって、図書館の役割も急速に変わりつつある。図書館のあり方について、長期的な観点からの研究をし、市民にとってより適切な図書館のあり方について検討を加えていく必要もある。
	◇0～6歳児の図書館利用者の増加は大変喜ばしいことであり、新たな子育て支援のあり方と考える。乳幼児から成人、高齢者まで、生涯学習の一端を担っている。
	◇本市の図書館運営は、ブックスタート事業や子どもの読書活動支援センターの運営等によく尽力している。一方、中央図書館は手狭で老朽化が目立つ。23万都市に相応しい新しい図書館構想を希望したい。



## 基本目標Ⅵ

### 文化芸術の創造と文化財の保護

---

施策1 文化芸術活動の推進

施策2 文化財の保護

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅵ 文化芸術の創造と文化財の保護
施策	施策1 文化芸術活動の推進

### ●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額（千円）	事業 評価	評価指標			
			評価指標	22年度	23年度	24年度
58 文化芸術振興事業	2,109	B	文化団体連合会加盟団体数	14団体	12団体	12団体
			文化芸術祭参加者数	3,000人	3,000人	3,000人
59 美術展覧会事業	1,261	A	作品出品点数	506点	503点	545点
			入場者数	2,891人	2,571人	2,360人
60 市民音楽祭事業	544	A	参加団体数	48団体	49団体	50団体
			入場者数	1,263人	1,251人	1,336人
61 市民ギャラリー改修事業	5,370	A	—	—	—	—

### ◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
市民ギャラリー利用率	100%	96%	96%	

### ◎教育委員会の施策評価

文化芸術の振興には、市民の文化芸術への関心を高めることと、文化・芸術団体の活動が継続的に展開されていることが必要である。市美術展、市民音楽祭、文化芸術振興事業、市民ギャラリーの運営事業など、文化芸術活動の推進は、平成24年度も例年のとおり堅実な実施状況である。市民ギャラリーについても、今後の安定した運営のために必要な改修事業を実施することができた。

一方で、さらに多くの市民が文化芸術に関心がもてるよう、新しい文化芸術を創造する活動の支援など更なる充実に取り組む必要がある。

### ◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
市民ギャラリー利用率	96%	100%	100%

学識経験者の意見

◇美術や音楽など多様な文化芸術活動の発表の機会を、図書館あるいは公民館施設などの運営と結びつけるなど、従来の枠を取り払った発想で検討することも考えられる。

◇中高年層の活躍が顕著になっている。元気なお年寄りの生きがいになっていると考えられる。

◇多様な文化活動は、高齢社会を生きる市民の心のオアシスである。公民館や図書館と連携し作品展示や発表の場を拡大したり、学校教育と協力したりして、文化活動を高めたい。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅵ 文化芸術の創造と文化財の保護
施策	施策2 文化財の保護

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額 (千円)	事業 評価	評価指標	評価指標		
				22年度	23年度	24年度
62 文化財調査・保存事業	4,093	A	市指定・登録文化財の数	113件	117件	117件
63 埋蔵文化財調査事業	3,609	A	—	—	—	—
64 文化財保護啓発事業	42	A	文化財保護啓発事業延べ日数	8日	15日	43日
			文化財保護事業参加延べ人数	242人	977人	3,533人
65 歴史資料調査事業	2,608	A	旧役場文書目録の発行	1(6,820) 上平村役場文書目録(上)	1(5,776) 上平村役場文書目録(下)	1(9,050) 原市町役場文書目録(上)
66 古文書整理事業	29,400		旧大谷農協文書 マイクロ化	撮影コマ数	70,378コマ	121,196コマ
			進捗率	46.3%	64.6%	100%

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
市指定・登録文化財の数	113件	117件	117件	

◎教育委員会の施策評価

文化財保護事業は、指定・登録文化財の指定・登録やその保存継承、そのための啓発活動などが基幹事業となっている。平成24年度については、資料のデータベース化や文化財紹介のための冊子の刊行等を行うほか、文化財展等の啓発事業を重点的に行い、全体に堅調である。今後は、未指定・登録の文化財の調査などが必要となってきている。

埋蔵文化財調査事業では、文化財保護法に基づく調査を遅滞なく実施し、埋蔵文化財の保護に努めることができた。無形民俗文化財の継承支援については、保存団体を中心とした団体が実施主体となり、上尾の祭りばやしの映像記録事業を実施し、市内祭りばやしの映像による記録保存を行うことができた。

歴史資料の調査事業については、資料の保存や活用を図るための目録の発行や、旧大谷農協文書のマイクロフィルム化を計画通り実施した。

◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
市指定・登録文化財の数	117件	119件	122件

学 識 経 験 者 の 意 見	◇文化財をより市民に親しんでもらうために、その展示機会や展示方法あるいは広報に工夫が求められる。担当者の研修機会を提供し、人材を養成するなど、積極的な取り組みが欲しい。
	◇文化財保護啓発事業への参加が年々増加しており、文化財への市民の意識の高揚が感じられる。
	◇文化財の保護は地味であるが大切な仕事である。今後は、市内にある貴重な文化財をより多くの市民に啓発する事業の充実・発展を願う。また体験的な事業等を実施して若い市民の参画も図りたい。

## 基本目標Ⅶ

### 健康で活力に満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進

---

施策1 スポーツ推進計画の策定

施策2 スポーツ施設の整備・充実

施策3 スポーツ・レクリエーション事業の充実

施策4 スポーツ指導者の育成

施策5 スポーツ・レクリエーション活動の支援

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅶ 健康で活力に満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進
施策	施策1 スポーツ推進計画の策定

## ◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
スポーツ推進計画策定進捗状況	計画策定方針検討会議の設置・検討	計画素案の検討	計画素案の検討	

## ◎教育委員会の施策評価

スポーツ振興法 第4条で国は、スポーツの振興に関する基本計画を定め、都道府県及び市町村は、国の基本計画を参酌し地方の実情に即したスポーツ振興計画を定めるものとされていたが、このスポーツ振興法は、平成23年に全面改正され、平成23年8月にスポーツ基本法が施行された。

スポーツ基本法 第9条で国は、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るためにスポーツに関する基本的計画を定めるものとし、さらに第10条で都道府県及び市町村は、国のスポーツ基本法を参酌し地方の実情に即したスポーツ推進計画を定めることが明文化されている。

市では、当初スポーツ振興計画の策定を目指していたが、その後のスポーツ基本法の制定を受け、そして平成24年3月に策定された国のスポーツ基本計画、平成25年1月に策定された埼玉県スポーツ推進計画を踏まえ、さらに本市におけるスポーツの実情をかんがみスポーツ推進計画を検討してきた。平成24年度においては、スポーツ推進計画の素案をスポーツ推進審議会において検討を行った。今後、検討を進め平成25年度中に策定することを目指している。

## ◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
スポーツ推進計画策定進捗状況	計画の検討	計画の策定	—

## 学識経験者の意見

◇歴史的にスポーツ推進に積極的に取り組んできた上尾市では、スポーツ推進計画策定においても大いに期待したい。

◇本年度、7年後の2020年にオリンピック東京大会の開催が決定した。本市も、大きな目標に向けて、オリンピック出場選手の育成計画をはじめとするスポーツ推進計画の早期立案・実施に期待する。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅶ 健康で活力に満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進
施策	施策2 スポーツ施設の整備・充実

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額（千円）	事業 評価	評価指標			
			評価指標	22年度	23年度	24年度
67 学校施設開放（スポーツ振興）事業	3,937	B	学校開放登録団体数	568団体	552団体	536団体
			学校開放施設利用者数	426,000人	323,000人	417,291人
68 市民体育館大規模改造（耐震補強）事業	573,362	A	—	—	—	—

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
学校開放施設利用者数	426,000人	323,000人	417,291人	学校開放例月利用報告書

◎教育委員会の施策評価

屋内スポーツ施設の拠点として市民体育館があるが、平成23年3月11日の東日本大震災によりアリーナを含め大きな被害を受けた。市民体育館は、平成24年9月から平成25年3月までに大規模改造（耐震補強）工事を進め、損壊した部分の改修と老朽化した施設の更新を行い、平成25年4月にリニューアルオープンした。快適な市民体育館を目指すという目的は概ね達成した。また、施設の効率的な管理運営と利用者サービスの向上を図るため、指定管理者制度の導入を決定し、リニューアルオープンと同時に新たな運営形態に移行した。

平方スポーツ広場や平方野球場等の屋外スポーツ施設の整備については、現在の施設を有効に利用できるようメンテナンスの充実を図り、利用しやすい施設の環境整備のため施設の修繕や整備を行っている。

その他に身近な地域スポーツ活動の拠点として、学校教育に支障がない範囲で、市立学校の体育館、グラウンドを市民に開放し、多くの市民の利用がある。

◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
学校開放施設利用者数	417,291人	418,000人	419,000人

学識経験者の意見	◇今後とも学校施設の利用希望は増えていくと思われるので、より使いやすく安全が確保された環境を提供する必要がある。
	◇市民体育館は、屋内スポーツ施設として市民の拠り所であり、大規模改造が早期に完了できてよかった。学校の施設も大きな財産であり、上手に折り合いをつけ、多くの市民が利用できることよい。
	◇市民体育館のリニューアル、学校施設の開放等、大変評価できる。これらの利用方法等の広報に努め、身近なスポーツ施設を広く周知したい。更に、市内の県立体育施設の市民優遇活用等を検討されたい。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅶ 健康で活力に満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進
施策	施策3 スポーツ・レクリエーション事業の充実

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額 (千円)	事業 評価	評価指標			
			評価指標	22年度	23年度	24年度
69 スポーツ大会等開催事業	24,008	A	大会の開催日数	4日	3日	4日
			上尾シティマラソン参加者数	9,641人	8,805人	9,374人
70 スポーツ教室・講演会開催事業	323	B	教室・講演会開催事業日数	20日	17日	17日
			教室・講演会参加者数	520人	561人	606人

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
上尾シティマラソン参加者数	9,641人	8,805人	9,374人	
教室・講演会参加者数	520人	561人	634人	延べ参加者数

◎教育委員会の施策評価

昭和63年11月に市制施行30周年記念事業として開催した上尾シティマラソンは、平成24年度に25回を数える大会となり、中学生をはじめとする多くのボランティアによって支えられ、日本全国から約9千人のランナーが集う一大スポーツイベントとして定着し、開催することができた。

今後も、種目、内容、参加料やゲストランナーの招待など類似大会を参考にしながら、より参加しやすい大会を目指していきたい。市民体育祭やいきいきライフ大運動会、市民駅伝などのその他の各種スポーツ大会も、市民のスポーツ活動として定着している。また、上尾市スポーツ推進委員連絡協議会では、「長生きスポーツ教室」や「スポーツ推進委員研修会（レベルアップ研修会）」など健康、体力の維持・増進を図ることやスポーツ指導者としての資質向上を目的に各種教室を実施している。

上尾市体育協会の各種教室については、体育協会が自主的に事業を展開できるよう働き掛けや情報提供を行い、スポーツ教室の充実を図るなどより多くの参加が得られるよう対象の見直しや創意工夫を行いたい。また、市民が生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに親しみ、心身ともに健康で充実した生涯スポーツ社会の実現を、行政の健康・福祉部門を中心とした関係機関や地域・市民との連携・協働により、年代に合わせた教室や取り組みを積極的に推進していきたい。障がい者が安全に利用できる体育施設の整備・充実、適切な指導・助言ができる専門的知識や技術を備えた指導者の確保・育成など、関係機関・団体と連携を図りながら障がい者のスポーツ・レクリエーション活動を支援していく。

◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
上尾シティマラソン参加者数	9,374人	9,500人	9,700人
教室・講演会参加者	634人	790人	700人

学識経験者の意見	◇シティマラソンが定着し、その盛況は喜ばしいことである。ただし、これを、さらに市民に親しまれるものにする、あるいは事業そのものの発展を考えると、将来的には新しい工夫や取り組みも検討されてもよいかと考える。例えば現在、シティマラソンと一週間ずれて開催されている産業祭とを同じ週末に開催し、行事としてのフェスティバル的な性格を強めることも考えられるのではないかと考える。
	◇生涯を通じてスポーツに親しみ、健康を維持することができれば、医療費の削減につながり、さらに社会参加を促し、地域社会の活性化につながる大きな健康サイクルを作ることができる。
	◇上尾シティマラソンは市内外に定着した感がある。関係者の努力に敬意を表す。今年は、高齢者の体力が向上し、青少年の体力低下が話題となった。青少年の体力向上を図る事業や企画を望む。

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅶ 健康で活力に満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進
施策	施策4 スポーツ指導者の育成

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額（千円）	事業 評価	評価指標			
			評価指標	22年度	23年度	24年度
70 スポーツ教室・講演会開催事業	323	B	教室・講演会開催事業日数 （一般向け）	15日	16日	16日
			教室・講演会開催事業日数 （指導者向け）	5日	1日	1日
			教室・講演会参加者数 （一般向け）	423人	539人	589人
			教室・講演会参加者数 （指導者向け）	97人	22人	17人

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
教室・講演会開催日数 （指導者向け）	5回	1日	2日	

◎教育委員会の施策評価

学校、公民館等で様々なスポーツ教室や講座などの事業を開催し、スポーツ推進委員をはじめ、地域、各体育団体等の協力のもと本市のスポーツ推進を図ることができた。

また、スポーツ基本法に基づき委嘱しているスポーツ推進委員については、上尾市スポーツ推進委員研修会を開催しレベルアップを図るほか、他市スポーツ推進委員との合同研修会を開催し、スポーツの指導・普及を行うための研鑽を図っており、徐々に成果が出てきている。

今後は、スポーツ団体、学校、関係団体等と連携強化を図り、スポーツに関するさまざまな分野での指導者情報の収集を図り、適宜提供できる体制をつくり、指導者の活動支援を援助するとともに、各種スポーツ指導者を対象とした研修を実施していく。

◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
教室・講演会開催事業日数 （指導者向け）	2日	5日	5日

学 識 経 験 者 の 意 見	◇スポーツ活動についてはさまざまなNPO団体もあり、多様な人材を活用した指導者のレベル向上に努める必要がある。
	◇指導者の育成と活用であるが、どの程度活躍しているのか検証が必要である。
	◇青少年の体力向上策としても、高齢化する教員を支援する意味でも、小・中学校の部活動等への外部指導者の導入は積極的に推進したい。同時に、その研修を充実し、スポーツ指導者の底辺拡充を図りたい。



上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅶ 健康で活力に満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進
施策	施策5 スポーツ・レクリエーション活動の支援

●主要事業の評価結果（各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照）

事業名	平成24年度 決算額 (千円)	事業 評価	評価指標			
			評価指標	22年度	23年度	24年度
69 スポーツ大会等開催事業	24,008	A	大会の開催日数	4日	3日	4日
			上尾シティマラソン参加者数	9,641人	8,805人	9,374人

◎施策の成果指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
体育協会加盟スポーツ競技団体人数	19,229人	20,120人	19,608人	

◎教育委員会の施策評価

<p>本市のスポーツ推進を図る上での重要なパートナーである。上尾市体育協会に対し、組織の基盤強化及び活動の充実に向けての事業補助を行い、市と同協会が協働し市民体育祭や上尾シティマラソンなどを開催するなど、市民へのスポーツ振興の中心的な役割を担うことができた。</p> <p>市民のあらゆる世代が生涯をとおしてスポーツに親しむためには、スポーツ・レクリエーション活動を活発に展開していく必要があり、今後も上尾市体育協会をはじめスポーツ・レクリエーション団体に対し積極的な活動の支援を行っていく。</p>
--

◎次年度以降の目標設定

目標指標	平成24年度実績	平成25年度目標	平成26年度目標
体育協会加盟スポーツ競技団体人数	19,608人	19,800人	20,000人

学識経験者の意見

- ◇今後は対象を世代別に設定したり、高齢者の寝たきりを予防するスポーツイベント等対象を絞った活動が必要になるのではないかと。
- ◇上尾市体育協会の活躍は多くの市民の周知するところである。支援事業は有効である。市体育協会への若い人達の加入促進を期待する。



## 基本目標 I

### 確かな学力と自立する力の育成

#### 施策1 創意工夫を生かした適切な教育指導の実施

- 事業番号1 さわやかスクールサポート事業(学級支援)【再I-4】
- 事業番号2 理科教育振興事業
- 事業番号3 教育に関する3つの達成目標推進事業【再II-1,II-7】
- 事業番号4 魅力ある学校づくり事業【再II-7,III-2】
- 事業番号5 学力向上支援事業
- 事業番号6 小学校理科支援員配置事業

#### 施策2 時代の変化に対応した教育の推進

- 事業番号7 日本語指導職員派遣事業【再III-6】
- 事業番号8 準教科書・副読本整備事業【再II-1,III-3】
- 事業番号9 英語弁論暗唱大会開催事業
- 事業番号10 中学生海外派遣研修事業
- 事業番号11 小中学校ALT配置事業

#### 施策3 進路指導・キャリア教育の充実

- 事業番号12 中学生社会体験チャレンジ事業
- 事業番号13 中学生進路意識啓発事業

#### 施策4 特別支援教育の推進

- 事業番号1(再掲) さわやかスクールサポート事業(学級支援)
- 事業番号14 特別支援学級補助員派遣事業
- 事業番号15 特別支援教育推進事業

#### 施策5 幼児教育の推進

- 事業番号16 幼稚園就園奨励費補助事業
- 事業番号17 私立幼稚園児保護者負担軽減費補助事業

事業番号 1	さわやかスクールサポート事業（学級支援）	担当	学務課
--------	----------------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系			
基本目標	基本目標 I 確かな学力と自立する力の育成		
施策	施策 1 創意工夫を生かした適切な教育指導の実施	施策 4	特別支援教育の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	児童生徒への生活指導・自立支援及び介助をすることで、対象児童生徒の在籍する学校の円滑な運営、事故防止を図るとともに、学級集団の少人数化を図ることにより、きめ細やかな個に応じた指導を徹底することができ、基礎学力の向上に効果を発揮する。
事業の対象 対象数	（アピースマイルサポーター） 小学校 53人 / 22校 中学校 15人 / 11校 幼稚園 2人 / 1園 （アピースマイル教員） 中学校 1年 2, 133人 に対して 7名配置
事業の内容	特別な支援を要する児童生徒や授業中の立ち歩きや落ち着きのない行動をとる児童等が在籍する学校に対し、生活面の指導、自立支援及び介助を担当し、学級担任の職務の補佐をする支援員（アピースマイルサポーター）を配置する。また、中1ギャップ解消を主な目的として、中学校 1年生を対象に 1クラス 35人学級を編制するため、市独自に臨時教員（アピースマイル教員）を採用する。

## ●事業費決算額の推移

年 度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
決 算 額	74,284 千円	81,606 千円	84,227 千円

## ●評価指標

指標名	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	指標の説明
少人数学級教員数	24人	26人	7人	
アピースマイルサポーター数	20人	27人	70人	
アピースマイルサポーター配置率	40.0%	48.2%	25.5%	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価  （今後の方向性等）	<p>（アピースマイルサポーター）</p> <p>支援を必要とする児童生徒の増加や障害のある児童生徒が通常学級を希望するケースが増加傾向にあり、円滑な学級運営や児童生徒の安全確保のため、支援員（アピースマイルサポーター）を配置した。</p> <p>これにより、支援を必要とする児童生徒の個々の状況に合わせた教育環境を整えることができ、健全・円滑な学級運営を行うことが出来ている。</p> <p>（アピースマイル教員）</p> <p>学級担任制の小学校から教科担任制の中学校へ移る際の変化（中1ギャップ）を少しずつ解消することを目的として実施している。これにより、教育環境の整備が図られ、大変落ち着いた学習環境の中で次のような「きめ細かい指導」がなされている。</p> <p>①授業の中できめ細やかに生徒一人一人をより正確に評価することができ、個に応じた指導が一層効果的に実施できる。</p> <p>②個別の発表学習の機会を多く与えることができ、生徒の表現力等の向上が図られている。</p> <p>③全員を視野に捉えた上で、一斉指導が出来る。</p>
	<p>・平成 24 年度から「さわやかスクールサポート事業」として個別支援により一層重点をおいたアピースマイルサポーターの配置、中1ギャップの解消を主な目的としたアピースマイル教員の配置を行っている。</p> <p>・今後も引き続き、事業の充実を図っていく。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目 標 指 標	平成 24 年度実績	平成 25 年度	平成 26 年度
A	アピースマイル教員数	7人（中学）	7人（中学）	11人（中学）
	アピースマイルサポーター配置率	25.5%	26.0%	26.0%

事業番号 2	理科教育振興事業	担当	指導課
--------	----------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成
施策	施策1 創意工夫を生かした適切な教育指導の実施

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	市内小・中学校児童生徒の科学的研究物の展示を行い、科学教育の振興に資するとともに、児童生徒の研究物を審査し、北足立地区科学展及び県中央展に出品するための取組を支援する。
事業の対象 対象数	上尾市立小・中学校 全児童生徒
事業の内容	小学校1年生から中学校3年生が、各学校や家庭において科学的研究物を作成し、上尾支部科学教育振興展覧会に出品する。特に優秀な研究物は、北足立地区科学展の審査を経て、県中央展に選出される。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	164 千円	158 千円	158 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
上尾支部科学展出品数	161 作品	144 作品	145 作品	児童生徒の出品数
県中央展選出作品数	2/107 作品	2/118 作品	1/115 作品	上尾市作品数/北足立地区展出品作品数
埼玉県学習状況調査 理科 正答率	小5	71.1% (70.7%)	73.2% (72.2%)	括弧書きは、埼玉県平均正答率
	中2	58.7% (55.7%)	53.9% (52.1%)	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>理科教育振興事業は、科学教育振興展覧会の開催等を支援することにより、理科教育の振興に資するもので、展覧会に出品できることにより、平成24年度も各小・中学校で計画的かつ継続的に研究を進めることができた。その成果として、上尾支部科学教育振興展覧会に多くの優秀作品が出品された。また、上尾支部展覧会を広く市民に公開したことで、多くの来場者があり、市民の日常の科学・理科教育に対する興味関心を高める効果もあった。なお、同様の取組は、県内全市町村において実施されており、地区展覧会、中央展覧会に出品することで、児童生徒の科学的な資質や能力の向上を図ることにもつなげることができた。</p>
(今後の方向性等) 特記事項	<p>出品数は毎年度150点前後となっており、市の事業として定着している。複数年にわたり、継続して研究を行っている児童生徒も多数おり、研究物の内容も充実してきている。また、過去3年間には、上尾市からも連続して県中央展に選出され出品している。上尾支部科学展において選出された優秀作品は、市教育研究会理科研究部が作品集としてまとめ、全小・中学校に配布している。今後も事業を継続して実施していく必要がある。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	上尾支部科学展出品数	145 点	160 点	160 点
	県中央展選出作品数 (北足立科学展出品作品より14点が県中央展へ選出)	1 点	2 点	2 点

事業番号 3	教育に関する3つの達成目標推進事業	担当	指導課
--------	-------------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系			
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成	
施策	施策1 創意工夫を生かした適切な教育指導の実施	施策1 豊かな心の育成	施策7 児童生徒の体力向上

●事業の概要

事業の目的 事業の目標	教育に関する3つの達成目標における県の目標値及び市が実態に応じて設定した独自の目標値の達成を目指す。各小・中学校の積極的な取組とともに、中学校区を基盤とした上尾市独自の取組を推進し、児童生徒に身に付けさせる。
事業の対象 対象数	上尾市立小・中学校 全児童生徒
事業の内容	「生きる力」を育む教育を一層推進するため、小・中学校の児童生徒を対象として、「学力」「規律ある態度」「体力」の3つの分野について、その学年で身に付けさせたい基礎的・基本的な内容を取りまとめ、県教育委員会が作成した「教育に関する3つの達成目標」の取組を、市内全小・中学校で推進する。

●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	418 千円	510 千円	510 千円

●評価指標

指標名		平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
3つの達成目標	学力 教育に関する3つの達成目標 全小・中学校全学年 (読む・書く・計算)	93.5 %	94.5 %	94.6 %	小・中学校 全学年正答率
	規律 規律ある態度80%達成項目数	93項目 / 108項目	99項目 / 108項目	103項目 / 108項目	小・中学校合計
	体力 新体力テスト 総合評価 上位3ランク(ABC) の児童生徒の割合	小学校 78.4 % 中学校 83.9 %	79.5 % 84.9 %	79.6 % 85.5 %	5ランク中 上位3ランク の割合

◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>教育に関する3つの達成目標推進事業については、「学力」「規律ある態度」「体力」について、平成23年度の数値を上回ることができた。「学力」に関しては、各学校において基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るための繰り返し学習や、言語活動を充実し、思考力、判断力、表現力等を児童生徒が身に付けられる授業の展開を図り、学力の達成率を上げることができた。「規律ある態度」に関しては、教育に関する3つの達成目標担当者研修会において、中学校区単位で協議を行い、各小・中学校の課題を確認し合い、実態に応じた取組を行い、達成項目数を増やすことができた。「体力」に関しては、児童生徒の課題に基づいた授業及び体育的活動を充実し、前年度よりも新体力テスト総合評価上位3ランクの児童生徒の割合を高めることができた。</p>
(今後の方向性等) 持記事項	<p>「学力」「規律ある態度」「体力」の3領域において、目標を達成するために、今後もPDCAサイクルに則った着実な取組を進めていく必要がある。中学校区における小・中学校の連携が推進されてきている。今後も一層の連携を深めるとともに、家庭や地域の理解を得るため、学校の取組を公開するとともに、家庭への働きかけを積極的に行っていく。</p>

次年度以降の目標設定

事業評価判定				
A	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
	全小・中学校全学年 (読む・書く・計算)	94.6 %	95%以上	95%以上
	規律ある態度80%達成項目数	103項目 / 108項目	108項目 / 108項目	108項目 / 108項目
	新体力テスト 総合評価 上位3ランク(ABC)の 児童生徒の割合	小学校	79.6 %	80 %
		中学校	85.5 %	86 %

事業番号 4	魅力ある学校づくり事業	担当	指導課
--------	-------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系			
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策1 創意工夫を生かした適切な教育指導の実施	施策7 児童生徒の体力向上	施策2 学校経営の改善・充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	各学校が教育課題の研究をとおし、教員の指導力の向上を図り、児童生徒・保護者・地域から信頼される学校を築く。
事業の対象 対象数	上尾市立幼稚園・小・中学校
事業の内容	市立幼稚園及び小・中学校において教育課題の研究を推進する。各学校に対して、3年ごとのサイクルで【①研究準備→②研究1年目→③研究2年目<研究発表>】、2年間の計画的な研究を委嘱している。各学校では創意工夫を生かした教育活動を展開することにより、魅力ある学校づくりを行う。また、上尾市教育研究会に対して、全体研修会や各部会の研究の補助金を交付し、教職員の資質の向上を図る。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	6,789千円	6,789千円	7,114千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
委嘱研究発表校数	11校	13校	11校	年間委嘱研究発表校
上尾市学力調査の 国語・算数(数学)・英語の平均値	小学校	52.2	52.4	全国平均を50としたときの市の平均値
	中学校	51.0	50.7	
教育に関する3つの達成目標 体力(運動習慣)	79.9%	80.1%	76.4%	週1~2回以上は1時間以上運動すると回答した児童生徒の割合

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	魅力ある学校づくり事業については、児童生徒一人一人の学力等の向上のため、各学校が児童生徒の実態を踏まえ、実践を重ねることをとおして、信頼される学校づくりに努めることができた。委嘱研究では、一人一人の教職員が、指導方法の工夫改善に取り組むことで、教職員の指導力の向上を図ることができた。また、2年間の研究のまとめとして研究発表を行い、研究授業について分科会を開催し、研究協議を深めることで、市内全校に研究成果を広め、市全体の教育力の向上を図ることができた。市内教職員で組織し、主体的に研修・研究に取り組んでいる上尾市教育研究会へ予算的補助を行うことで、指導力の向上を図ることができた。
(今後の方向性等) 特記事項	3年間を見通した研究を進めることは、本市の教職員の指導力の向上や、学校の教育力向上に資する有効な手段の一つであり、今後も継続して行っていく必要がある。また、市内各学校へ広く研究を発表することで、3年間の研究実績を全市的に共有化し、効率的・効果的に学校の教育水準の向上が期待できる。さらに、各学校では、他校の研究成果をもとに指導方法の工夫改善等を図り、特色ある取組・魅力ある学校づくりを一層推進することができる。市の教育水準の向上を図るため、各学校への研究準備段階からの研究内容等による交付金の配分内容について、研究をした証が見られるような使い方を検討していく必要がある。さらに研究委嘱において、県や埼大附属小(中)学校等から指導者を招くことで、最先端の指導を得られるよう、指導者の招聘を行っていく。研究発表会の分科会においては、小・中学校の教員による研究協議を行うことで、小・中学校の連携も推進できている。

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標		平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	上尾市学力調査の 国語・算数(数学)・英語の平均値	小学校	51.8	52.0	52.0
		中学校	50.3	51.0	51.0
	教育に関する3つの達成目標 体力 (週1時間以上運動する児童生徒の割合)		76.4%	80%	85%

事業番号 5	学力向上支援事業	担当	指導課
--------	----------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成
施策	施策1 創意工夫を生かした適切な教育指導の実施

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	学力調査結果の分析を多面的に行い、学力向上策を立案して、学習指導に取り組むことにより、児童生徒一人一人の学力を向上させる。
事業の対象 対象数	上尾市立小学校 第3学年・第4学年・第5学年・第6学年 全児童 上尾市立中学校 第1学年・第2学年・第3学年 全生徒
事業の内容	市立小・中学校の児童生徒一人ひとりに「確かな学力」を育成するため、標準学力検査用紙を用いて基礎的な学力の実態を把握し、学校の教育課程の編成や学習指導の工夫・改善に役立てる。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	7,296 千円	7,262 千円	7,139 千円

## ●評価指標

指標名		平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
家庭等で学習している 児童生徒の割合	小学校	57.0%	60.7%	63.7%	学校以外で1時間以上学習する児童生徒（小学校6年生、中学校3年生）の割合
	中学校	65.5%	65.3%	64.1%	
上尾市学力調査の 国語・算数(数学)・英語の平均値	小学校	52.2	52.4	51.8	全国平均を50としたときの市の平均値
	中学校	51.0	50.7	50.3	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>学力向上支援事業については、小・中学校ともに新学習指導要領の全面实施を受け、さらなる学力の向上、学習の定着を図ることができた。平成24年度も上尾市学力調査の結果を分析し、各学校の状況、児童生徒の実態に応じた学力向上プランを作成することができた。このことにより、1時間の授業の中に位置づける手立てや必要な支援の方法などが明確になり、児童生徒一人一人に確かな学力を確実に身につけさせるための方策をより具体的にすることができた。また、一人一人の学習状況の経年変化を把握し、児童生徒一人一人の実態に応じた指導の充実を図ることにつなげることができた。さらに生活アンケートの実施により一人一人の生活状況を客観的に把握するとともに、生活習慣と学習状況との関係についても、把握することができ、家庭への基本的生活習慣の確立や適切な家庭学習のあり方についても情報提供を行うことができた。</p>
(今後の方向性等) 持記事項	<p>本事業は、「確かな学力」を育てるために、児童生徒の基礎学力を調査し、調査結果をもとに各学校の実態に応じた学力向上プランを作成し、学習指導の工夫改善を図るものである。本事業では、児童生徒一人一人の学習状況及び経年の変化を把握することで、学習の定着状況等を正確に捉え、個に応じた指導を行うことができる。また、学力向上プランでは、1単位時間の授業改善を図るための方策を具体的に示している。各学校での継続した指導や支援により上尾市全体の学力は着実に定着してきており、さらに継続することで学力の向上が見込まれる。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標				平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	上尾市学力調査の 国語・算数(数学)・英語の平均値	小学校		51.8	52.0	52.0	
		中学校		50.3	51.0	51.0	



事業番号 6	小学校理科支援員配置事業	担当	指導課
--------	--------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成
施策	施策1 創意工夫を生かした適切な教育指導の実施

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	上尾市立小学校に理科支援員を配置することで、第5学年・第6学年児童の理科授業における観察・実験活動の充実を図り、理科が好きな児童を育てる。
事業の対象 対象数	上尾市立小学校第5学年・第6学年児童
事業の内容	小学校に理科支援員を配置し、第5学年・第6学年児童の観察や実験など体験的な学習における教員への支援、児童への学習支援を行うことにより、小学校理科教育の一層の充実を図る。

## ●事業費決算額の推移

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決 算 額	846 千円	450 千円	420 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
理科支援員配置校数	22校	6校	4校	理科支援員配置小学校数
理科支援員配置時数（年間）	5.9時間	9.5時間	11.7時間	1学級あたりの年間支援時数

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>小学校理科支援員配置事業については、理科離れが進みつつある学校教育の中で、観察・実験等の活動を中心に理科の授業を支援する支援員の必要性は高く、平成24年度は、国の予算の関係で配置校数を減らすこととなったが、その分、支援員配置時数を増加させたことで、配置校での実験活動が充実し活動の安全性も一層確保された。また、わかりやすい授業や理科教材の準備、観察・実験に使用する薬品の管理、理科室の整備等も推進することができた。</p>
（持記事項） （今後の方向性等）	<p>事業の実施については、国や県の動向を注視しながら、市独自の予算措置で対応していくことも検討していく。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
B	理科支援員配置校数	4校	—	—

事業番号 7	日本語指導職員派遣事業	担当	学務課
--------	-------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系		
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策2 時代の変化に対応した教育の推進	施策6 就学支援の充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	日本語が理解できない児童生徒に、日本語や日本文化の習得の援助を行い、授業や学校生活及び学校行事に積極的に参加できるようにする。
事業の対象 対象数	計23人 (内訳 ポルトガル語：1人 中国語：9人 タガログ語：8人 スペイン語：4人 英語：1人)
事業の内容	日本語が理解できない児童生徒に対して、日本語習得の援助及び指導を行う職員を、在籍する小・中学校へ派遣する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	2,415 千円	2,224 千円	2,253 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
派遣教職員数	12人	9人	12人	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>日本語を理解できない外国人児童生徒数は年々増加する傾向にあり、コミュニケーションを図るために必要な母国語の種類も増加している。そこで、中国語や英語、スペイン語やタガログ語などでコミュニケーションを図ることの出来る日本語指導員を平成24年度には12名を配置し対応したところである。</p> <p>外国人児童生徒のスムーズな就学を図る上で効果的な取組となっている。</p>
持記事項 (今後の方向性等)	<p>現在、児童生徒の実態に応じて学校と日本語指導員の間で指導法を協議しながら行っており、母語を理解できる日本語指導員のサポートは、学校にとっても大変ありがたい事業である。</p> <p>今後は、さまざまな言語に対応しうる指導員を確保することがより一層重要となってくる。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	指導員派遣率 派遣数/申請数×100(%)	82.6	100	100

事業番号 8	準教科書・副読本整備事業	担当	指導課
--------	--------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系			
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策2 時代の変化に対応した教育の推進	施策1 豊かな心の育成	施策3 学校施設・設備の整備・充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	体育科・社会科・道徳の授業において、準教科書及び副読本を用い、効果的に活用して 児童生徒の基礎基本の定着、豊かな心の醸成を図る。
事業の対象 対象数	上尾市立小・中学校 全児童生徒
事業の内容	小・中学校の体育科、保健体育科の準教科書、社会科・道徳の副読本の無償給与と市独自の「社会科副読本」の作成・配布を行い、授業内容の一層の充実を図る。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	15,325 千円	13,448 千円	13,185 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
道徳副読本整備状況	67%	67%	100%	整備率
体育科準教科書整備状況	67%	67%	67%	整備率
保健体育科準教科書整備状況	100%	100%	100%	整備率
社会科副読本整備状況	100%	100%	100%	整備率

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>準教科書・副読本整備事業については、教科用図書が発行されていない体育科・保健体育科、道徳の授業を充実するために小・中学校各校へ整備することができた。また、社会科副読本についても地域学習の教材として、小学校3年生と4年生及び中学校1年生に配布することができた。体育科の準教科書については、資料等を授業の中で使用することで、運動における体の動きを視覚的にとらえることができた。道徳の副読本については、学習指導要領に準拠した内容であり、授業を副読本の資料を使って実施し、児童生徒本人と資料の主人公とを照らし合わせることで、豊かな心の醸成に効果をあげた。また、社会科副読本「のびゆく上尾」を上尾市教育委員会が作成し、小学校3年生に配布し、上尾市の地理や経済など郷土に関する資料を提供し、地域の学習を効果的に展開することができた。さらに小学校4年生では、「郷土さいたま」を配布し、埼玉県の特徴をつかんだ郷土学習を行うことができた。中学校1年生では、「われらの郷土 埼玉県」を配布し、埼玉県に関する調べ学習の資料として活用することができた。平成24年度は、「のびゆく上尾」のデジタル資料も作成し、各学校に配布し、社会科の学校ICT化を進めることができた。</p>
（今後の方向性等） 特記事項	<p>国語科や算数科・数学科等の教科用図書は、国の補助により無償給与であるが、教科用図書のない道徳や体育・保健体育、特別に資料が必要な社会科においては、授業の充実を図るために準教科書や副読本が必要である。道徳の副読本については、学校備品とし、複数年にわたり使用できるようにしているが、授業において書き込みなどができないなどの課題もある。今後も継続して事業を行うことで、本市の教育水準を高める。社会科副読本は年間指導計画例を改訂し、指導の充実を図ることができた。今後は、社会科副読本のICT化について検討する。また、体育科の準教科書に関しては、小学校3年生からの配布になっているので、低学年の準教科書配布についても検討していく。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定
A

目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
道徳副読本整備状況	100%	100%	100%
体育科準教科書整備状況	67%	78%	89%
保健体育科準教科書整備状況	100%	100%	100%
社会科副読本整備状況	100%	100%	100%

事業番号 9	英語弁論暗唱大会開催事業	担当	指導課
--------	--------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成
施策	施策2 時代の変化に対応した教育の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	「聞くこと」「話すこと」を中心としたコミュニケーション能力、表現力の向上を目指し、英語学習に対する興味・関心を一層高めることをねらいとする。
事業の対象 対象数	上尾市立中学校 全生徒（各中学校で3名以内の参加者を決定）
事業の内容	「弁論の部」「暗唱の部」の2部構成で、市内中学生が英語で表現する発表の機会を設けている。

## ●事業費決算額の推移

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決 算 額	57 千円	57 千円	58 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
大会参加生徒数	31人	30人	33人	弁論大会参加者数
上尾市学力調査の英語 平均値	50.8	51.7	52.1	全国平均を50としたときの市の英語 (中2・3)の平均値

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>英語弁論暗唱大会開催事業については、弁論大会への参加者数を増やすことができた。審査員として、これまでのALT（外国語指導助手）11名に、市内県立高等学校4校の英語教員も加わり、参加した生徒に助言をしてもらうことにより、さらなる表現力の向上につなげることができた。優勝生徒は県大会に出場し、優れた表現力が評価された。本事業をとおり、生徒の英語による表現力や英語の学習に対する意欲を高めることができた。</p>
----------	--

## 次年度以降の目標設定

総合評価判定	目 標 指 標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	大会参加生徒数	33人	33人	33人

事業番号 10	中学生海外派遣研修事業	担当	指導課
---------	-------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標 I 確かな学力と自立する力の育成
施策	施策 2 時代の変化に対応した教育の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	コミュニケーション能力、英語力、表現力をはじめ、将来、国際社会で貢献できる人材として必要な資質・能力及び態度を有した生徒を育成する。
事業の対象 対象数	上尾市立中学校第3学年生徒 22人
事業の内容	中学生に豊かな国際感覚を養い、国際社会に貢献できる人材として必要な能力や態度を育成する教育活動の一環として、市立中学校に在籍する生徒を対象に、8日間のホームステイや授業体験、スポーツ交流、文化交流等の英語研修等のプログラムを特色とした11日間の海外派遣研修を実施する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	7,900 千円	7,800 千円	9,810 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
応募生徒数	51人	46人	44人	海外派遣研修応募生徒数
派遣生徒数	22人	22人	22人	海外派遣研修派遣生徒数

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>中学生海外派遣事業については、市内各中学校から生徒22名が11日間の研修の日程を無事に修了し、修了証書を研修先の高等学校から受け取ることができた。生徒は、ホームステイ等の直接的な体験を通して、積極的に異文化体験を行うことができた。今後さらに進展する国際社会の中で必要とされる豊かな国際感覚を養うために、また、将来、国際社会に貢献できる人材として必要な資質と能力を身につけるために、主体的に交流を図る機会や場面を与えることができた。感受性豊かで多くのことを吸収できる中学生を海外に派遣することは大変有意義である。異国で生活することにより、自国の文化や伝統を再確認し、異なる生活習慣や文化の中で生活する人々を尊重する態度の育成にも大きく貢献している。日本語が通用しない外国でコミュニケーションを図る体験は、たくましく生きていく力の育成にもつながるものである。</p>
特記事項 (今後の方向性等)	<p>11日間の海外での体験・交流活動は、日本及び外国の文化・伝統に深い理解をもち、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意志を表現する力を育むなど、将来、国際社会に貢献できる人材として必要な資質の育成に向けて成果をあげている。急速に国際化が進むこれからの社会においては、国際感覚をもった人材の育成が一層必要となる。ホームステイプログラムに関しては、スポーツ交流、文化交流、小学校訪問による日本文化の紹介など、更に効果的なプログラムを検討する必要がある。平成24年度には、日本の伝統文化を紹介することに、より一層力を入れた。また、オーストラリアのアボリジニの文化について触れることができた。海外派遣研修を契機に、夢と感動、国際的な視野を育むことができることから本事業は継続していくことが重要である。派遣研修に参加した生徒による各学校での研修報告会等を充実することで、本事業の効果をさらに高めていく。</p>

## 次年度以降の目標設定

総合評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	派遣生徒数	22人	22人	22人

事業番号 11	小・中学校ALT配置事業	担当	指導課
---------	--------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成
施策	施策2 時代の変化に対応した教育の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	小学校では「外国語活動」及び「総合的な学習の時間」とおして外国語に慣れ親しみ、外国語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、中学校では、ALT（外国語指導助手）とのTT（ティームティーチング）により、コミュニケーション能力の育成を図る。
事業の対象 対象数	上尾市立小・中学校 全児童生徒
事業の内容	児童生徒が、国際社会において、外国の方と積極的にコミュニケーションを図ろうとする能力や態度、英語力を身に付けるための体験的学習や国際理解教育を推進するために、ALTを小・中学校に配置する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	56,482 千円	100,698 千円	100,698 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
ALT配置人数	15人	27人	27人	小・中学校ALT配置人数
ALT活用 時数	小学校	9.6時間	30.6時間	小・中学校の1学級あたりのALT活用 時数（外国語活動、英語授業、その他国 際理解教育等）
	中学校	27.9時間	36.0時間	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>小・中学校ALT配置事業については、小学校では、新学習指導要領に「外国語活動」が位置付けられ、本市では、国際感覚の早期の育成を図るために、27名のALTを全小・中学校に派遣した。今後ますます国際化する社会に主体的に対応できる児童生徒の育成につなげることができた。小学校段階からALTと日常的にふれあい、外国語によるコミュニケーション能力を高める成果をあげており、さらに、中学校では、「生きた英語」を学ぶことができる環境を整え、英語学習の動機づけを図り、英語力の基礎を培うことに効果をあげている。</p>
持記事項 （今後の方向性等）	<p>ALTの配置により、英語によるコミュニケーション能力やその素地を高める学習活動の充実が図られた。平成23年度からは、小学校5・6年生において年間35時間の外国語活動すべての時間においてALTとのTTを実施できるよう、全小学校へALTを配置した。平成24年度も引き続き、全小・中学校に配置することができた。また、中学校教員の小学校への出前授業（外国語活動）や小学校教員による中学校への授業参観など、小・中学校の連続した外国語教育や小学校教員の外国語活動指導力の向上についてもALTとの連携により、充実することができた。1校に1名のALTを常駐することで、通常の学校生活において直接、異文化にふれ、児童生徒の国際感覚等を一層育むことができ、今後も事業を継続する必要がある。</p>

## 次年度以降の目標設定

総合評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	ALT配置人数	27人	33人	33人

事業番号 12	中学生社会体験チャレンジ事業	担当	指導課
---------	----------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成
施策	施策3 進路指導・キャリア教育の充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	生徒の勤労観や職業観を育成し、社会性や自立心、表現力、礼儀作法、コミュニケーション能力などを養う。また、教職員と事業所担当者等との打合せ、教職員やPTAによる各事業所等への巡回、校長による各事業所等への挨拶などとおして、学校、保護者及び地域との連携を深める。
事業の対象 対象数	上尾市立中学校 第1学年・第2学年 生徒
事業の内容	市内中学校生徒が市内等の事業所等において2日間の社会体験活動を行い、勤労観や職業観を育成し、進路指導・キャリア教育を推進する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	581 千円	596 千円	593 千円

## ●評価指標

指標名		平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
職場体験事業所数		214	233	221	職場体験を行った事業所数
職場体験充実度	生徒	97.8%	98.6%	98.8%	参加生徒が職場体験をよいと回答した割合
	保護者	99.4%	99.5%	99.7%	参加生徒の保護者が職場体験をよいと回答した割合

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>中学生社会体験チャレンジ事業については、生徒、保護者とも「職場体験がよい」と回答した割合が平成23年度を上回った。職場体験後のアンケートでは、生徒・保護者とも98%以上の割合で、「有意義である」と回答しており、職場体験をとおして、生徒の勤労観や職業観を育成することができた。職場体験を行った事業所数に関しては、平成23年度より若干減少したが、新たに30の事業所に生徒を受け入れていただいた。地域の事業所が生徒を受け入れることにより、学校と地域社会との連携を深めることができた。</p>
持記事項 (今後の方向性等)	<p>県の意向では、本事業は5日間の実施が望ましいとしている。上尾市としては市内の受け入れ事業所等の状況を踏まえ、2日間の実施としている。受け入れ先事業所及び職場体験期間の拡充等については、平成24年度も、200以上の事業所に生徒を受け入れていただいた。新規の事業所も増えている。体験日数等については、増加が見込まれる高齢者施設、福祉施設等における職場体験の検討も含め、チャレンジ事業推進委員会において協議していく。</p>

## 次年度以降の目標設定

総合評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	職場体験充実度 (生徒、保護者)	99.3%	100%	100%

事業番号 13	中学生進路意識啓発事業	担当	指導課
---------	-------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成
施策	施策3 進路指導・キャリア教育の充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	自分を振り返り、自らの生き方や進路について考えることができ、目標を立てその達成のために努力できる生徒を育成する。
事業の対象 対象数	上尾市立中学校 全生徒
事業の内容	進路指導・キャリア教育の観点から、地域で活躍する様々な分野の人を招いて講演会を開き、生徒の将来の夢や希望を育むとともに進路意識の啓発・高揚を図る。

## ●事業費決算額の推移

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決 算 額	116 千円	116 千円	110 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
ふれあい講演会 実施率	100%	100%	100%	講演会実施校数／中学校数×100

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	中学生の進路意識の啓発については、「人間としての生き方に関する指導」という観点で捉え、将来にわたって「職業観・勤労観」を育成することを主眼に置き、指導をすることができた。その方策として、地域で活躍する方々を学校に招き、講演会を開催した。各学校が工夫しながら、様々な分野から講師を招聘し、生徒・保護者の意識を啓発することができた。
持 記 事 項 (今後の方向性等)	全学年が講演会に参加する中学校と、特定の学年のみを対象に実施する学校があるが、地域で活躍する様々な分野の方々を講師に招き、各中学校が講演会を実施することにより、生徒が自らの進路や生き方について考える有意義な機会となっている。生徒と保護者が一緒に講演を聴く機会を設けるなど、学校と家庭が一体となり、進路意識の啓発を図る学校が増加している。本事業は、生き方を学ぶ中学校の進路指導・キャリア教育を推進するために必要な事業である。平成24年度は、全学年対象に行う学校が増え、進路指導の積み重ねがより充実してきている。平成25年度からは、他校と合同での開催も可能となり、講師選択の幅も広がる。

## 次年度以降の目標設定

総合評価判定	目 標 指 標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	ふれあい講演会 実施率	100%	100%	100%



## 事業番号 14 特別支援学級補助員派遣事業

担当

学務課

## 上尾市教育振興基本計画の体系

基本目標	基本目標 I 確かな学力と自立する力の育成
施策	施策 4 特別支援教育の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	障害のある児童生徒一人ひとりの発達状況に即応した適切な教育を行う
事業の対象 対象数	特別支援学級配置校 小学校9校20学級 109人、中学校3校12学級 75人
事業の内容	市内小中学校に配置されている特別支援学級のうち、担任教員の指導等の補助が必要な学校へ職員を派遣する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	14,817千円	15,666千円	15,698千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
補助員配置数	9人	9人	9人	
補助員配置率	26.5%	26.5%	28.1%	補助員数/学級数×100(%)
補助員対象研修回数	0回	0回	9回	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>特別支援学級に在籍する児童生徒は障害の種類や発達状況がさまざまであるため、障害の程度によっては担任教員だけの学級運営が厳しい。市費による補助員を配置し、担任を補助することで、児童生徒への適切な対応が可能となった。</p> <p>特別支援学級の健全・円滑な学級運営を行うため、補助員の派遣は大きな効果がある。</p>
(今後の方向性等) 特記事項	<p>児童生徒の障害も様々である上、障害の程度によっては1対1対応が必要なケースもある。今後、補助員の質・数の確保および研修体制の充実が課題である。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定
B

目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
補助員配置率	28.1%	30%	36%

事業番号 15	特別支援教育推進事業	担当	指導課
上尾市教育振興基本計画の体系			
基本目標	基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成		
施策	施策4 特別支援教育の推進		

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	特別支援教育研修会では、特別支援教育担当者が研修を深め、各小・中学校で適切な指導、必要な支援、授業改善が図られるようにする。特別支援学級設置校と特別支援学校の交流を兼ねた合同作品展は、障害のある児童生徒の創作意欲を喚起するとともに、市民にとっても、障害のある児童生徒を理解するよい機会とする。
事業の対象 対象数	上尾市立小・中学校の特別支援教育担当者及び市民
事業の内容	特別支援教育担当者を対象とした各種研修会の実施及び市民啓発、特別支援学級設置校と特別支援学校の交流の目的を兼ねて合同作品展を開催する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	206 千円	206 千円	236 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
特別支援教育研修会回数	5回	5回	5回	特別支援教育に係る研修会実施回数
特別支援教育研修会参加率	100%	104%	100%	研修会参加者数/33校×100
障害のある児童生徒の理解	500人	500人	500人	合同作品展入場者数

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価  (今後の方向性等)	<p>特別支援教育を推進するためには、教員の指導力・資質の向上は欠かせない。担当者が専門的な知識・技能を習得するための質の高い研修会は不可欠である。また、作品展は、障害のある児童生徒にとって活躍の場、市民にとって障害のある児童生徒を理解する場として必要である。</p> <p>平成24年度は、上尾市の特別支援教育に係る研修会の講師として、上尾特別支援学校特別支援教育コーディネーター、川島ひばりが丘特別支援教育コーディネーターを招いて、県立特別支援学校のセンター的機能の活用について研修を行い理解を深めることができた。また、各学校でも県立特別支援学校の特別支援教育コーディネーターを招き、通常学級における特別な支援を要する児童生徒への対応等について研修を行い、特別支援教育を推進することができた。特別支援学級及び特別支援学校との合同作品展は、多くの児童生徒、市民の方の参加があり、障害のある児童生徒にとっては作品を披露する場となり、市民にとっては障害のある児童生徒について理解する場となり、よい交流の機会とすることができた。</p>
	<p>本市の特別支援教育に携わる教員の指導力向上を図る上で、専門的な見識を持った方を招いての研修会は有効な方法の一つであり、今後も継続していく必要がある。また、特別支援学級間や特別支援学校との交流を深める上で、本事業の役割は大きく一層の充実を図る必要がある。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	特別支援教育研修会回数	5回	5回	5回

事業番号 16	幼稚園就園奨励費補助事業	担当	総務課
事業番号 17	私立幼稚園児保護者負担軽減費補助事業		

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標 I 確かな学力と自立する力の育成
施策	施策5 幼児教育の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	幼児を幼稚園に通園させている保護者への経済的負担を軽減し、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差を是正し、幼児の幼稚園への就園の機会を確保する。
事業の対象 対象数	【幼稚園就園奨励費補助事業】上尾市に住民登録がある満3歳児・3歳児・4歳児・5歳児を幼稚園に通園させている保護者のうち、所得要件を満たす者（平成24年度実績 3,012人） 【私立幼稚園児保護者負担軽減費補助事業】基準日現在（当該年度の10月1日）上尾市に住民登録がある満3歳児・3歳児・4歳児・5歳児を私立幼稚園に通園させている保護者（平成24年度実績 3,849人）
事業の内容	幼児を幼稚園に通園させている保護者に対し、保育料の減免または補助金を交付する。（幼稚園就園奨励費補助事業は国庫補助事業）

## ●事業費決算額の推移

年度	事業名	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	幼稚園就園奨励費補助事業	270,843千円	287,265千円	284,894千円
	私立幼稚園児保護者負担軽減費補助事業	69,759千円	70,535千円	69,757千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
就園奨励費補助金減免率（公立）	15.9%	26.2%	16.2%	補助対象園児／公立幼稚園児数
就園奨励費補助金支給率（私立）	78.2%	77.8%	76.1%	補助対象園児／私立幼稚園児数
補助額	106,837円	111,145円	113,050円	就園奨励費・保護者負担軽減費補助金の平均額（一人当たりの年額）
差引後 公・私立幼稚園保育料差額	102,839円	100,245円	97,198円	私立幼稚園補助後保育料－公立幼稚園保育料（一人当たりの年額）

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>私立幼稚園への就園については、幼児の保護者は相対的に若く、経済的負担が大きいものとなっている。国の基準に基づき、就園奨励費補助金を交付しているが、保育料の負担を賄いきれていない状況である。そこで、さらに負担を軽減し、より多くの幼児の就園機会を確保するため、上尾市独自の事業として保護者負担軽減費補助金を交付している。</p> <p>補助事業を行うことで、幼稚園への就園機会を確保し、幼児教育の推進を図っている。</p>
（今後の方向性等） 持記事項	<p>就園奨励費補助金と保護者負担軽減費補助金の在り方について、研究を進めてきたところであるが、幼児教育無償化の動きが活発化しているため、国の動向を注視し、今後の動きに備える。また、これまでの研究の中で、保護者負担軽減費補助金において、就園奨励費補助金との合計額が保護者の自己負担額（入園料及び保育料）を上回る世帯があったため、公平性を確保するため、平成25年度より自己負担額を補助上限額とする。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	幼稚園就園率	87.4%	88.4%	89.4%

## 基本目標Ⅱ

# 豊かな心と健やかな体の育成

### 施策1 豊かな心の育成

- 事業番号3(再掲) 教育に関する3つの達成目標推進事業
- 事業番号8(再掲) 準教科書・副読本整備事業
- 事業番号18 学習支援事業
- 事業番号19 さわやかスクールサポート事業(学校図書館支援)
- 事業番号20 指導法改善事業 【再Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-4】
- 事業番号21 小中学校音楽会開催事業
- 事業番号22 中学校部活動支援事業 【再Ⅱ-7】
- 事業番号23 中学校吹奏楽演奏会開催事業
- 事業番号24 道徳教育研究推進モデル校事業
- 事業番号25 小中学校図書整備事業 【再Ⅲ-3】
- 事業番号26 図書館資料整備事業 【再Ⅴ-5】
- 事業番号27 子どもの読書活動支援センター運営事業 【再Ⅴ-5】

### 施策2 生徒指導の充実

- 事業番号28 生徒指導推進事業
- 事業番号29 さわやか相談室運営事業

### 施策3 人権教育の推進

- 事業番号30 人権教育推進事業(指導課所管分)

### 施策4 学校教育相談の充実

- 事業番号31 不登校児童生徒の学校適応指導事業
- 事業番号32 教育相談事業

### 施策5 学校保健の充実

### 施策6 食育の推進・学校給食の充実

### 施策7 児童生徒の体力向上

- 事業番号3(再掲) 教育に関する3つの達成目標推進事業
- 事業番号4(再掲) 魅力ある学校づくり事業
- 事業番号22(再掲) 中学校部活動支援事業
- 事業番号33 児童生徒体力向上推進事業

事業番号 18	学習支援事業	担当	指導課
---------	--------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策1 豊かな心の育成

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	総合的な学習の時間等に専門的な知識や技能を持つ外部指導者や学校支援ボランティアを導入することで、豊かな体験活動をはじめ、学習活動の充実を図り、豊かな人間性や社会性を育てる。
事業の対象 対象数	上尾市立小・中学校 全児童生徒
事業の内容	「総合的な学習の時間」の外部指導者や学校の教育活動を支援する学校支援ボランティアに、謝礼をする。小・中学校校外行事実施に係る引率者の入場料等の経費を負担する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	478 千円	196 千円	204 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
外部指導者補助数	70人	97人	103人	外部指導者補助人数
外部指導者活用数	140人	103人	187人	外部指導者活用人数

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>学習支援事業では、各学校の校外行事の引率者の入場料等の経費の補助を行い、円滑な実施を図ることができた。外部指導者や学校支援ボランティアが協力し地域との連携により、学校教育の質を高め、各学校で児童生徒や地域の実態に応じた特色ある教育活動の推進をすることができた。特に、総合的な学習の時間等に専門的な知識や技能を持つ外部指導者や学校支援ボランティアを積極的に活用しており、体験活動の充実や個に応じた指導が可能になり、児童生徒にとって魅力ある教育活動が展開できた。</p>
（今後の方向性等） 特記事項	<p>学校外の教育力を積極的に取り入れるため、外部指導者等の活用希望数が100人を超えている。今後も、外部指導者の依頼の増加が見込まれることから予算措置が必要となる。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	外部指導者活用数	187人	200人	200人

事業番号 19	さわやかスクールサポート事業（学校図書館支援）	担当	指導課
---------	-------------------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策1 豊かな心の育成

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	読書活動を推進するとともに、学校図書館の教育効果を組織的に高めることで、児童生徒に「確かな学力」と「豊かな心」を身につけさせる。
事業の対象 対象数	上尾市立小・中学校 全児童生徒
事業の内容	各小・中学校図書館の充実を図り、読書活動を推進するため、学校図書館支援員を各学校に派遣する。平成24年度から、小学校に毎日4時間、中学校に週1日5時間の派遣を行う。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	6,373 千円	6,373 千円	18,091 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
学校図書館支援員数	8人／33校	8人／33校	25人／33校	小・中学校に派遣する図書館支援員の人数
1校あたりの派遣日数 (平均)	43日	43日	小学校 202日 中学校 41日	支援員の派遣日数／1校あたり
「読書が好き・どちらかといえば好き」と回答した児童生徒の割合	小学6年	71.6%	72.6%	上尾市小・中学校学力調査 質問紙調査
	中学3年	73.8%	75.8%	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	さわやかスクールサポート事業（学校図書館支援員）では、平成24年度から全小学校に学校図書館支援員を毎日派遣することができるようになった。また、中学校には3名の支援員を11校に巡回派遣させることができた。このことにより、司書教諭の様々な業務を補助することができた。特に、読み聞かせの回数が増え、推薦図書や読書案内、新書の展示コーナーも設置されるようになり、児童生徒が本を手に取りやすい環境を整えることができ、学校図書館の環境整備の底上げを図ることができた。学校図書館支援員の情報交換や研修によるスキルアップを定期的に行い、支援員の資質の向上も図ることができた。
持記事項 (今後の方向性等)	中学校では週1日の派遣となり、継続的な指導や支援が難しいという理由から、毎日派遣して欲しいという要望がある。派遣日数の増加や常駐について、さらに検討する必要がある。

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度	
A	学校図書館支援員数	25人／33校	25人／33校	33人／33校	
	1校あたりの派遣日数（平均）	小学校 202日 中学校 41日	小学校 202日 中学校 202日		
	「読書が好き・どちらかといえば好き」と回答した児童生徒の割合	小学6年	74.5%	75.0%	75.5%
		中学3年	72.8%	73.5%	74.0%

事業番号 20	指導法改善事業	担当	指導課
---------	---------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系				
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進		
施策	施策1 豊かな心の育成	施策1 教職員の資質・能力の向上	施策2 学校経営の改善・充実	施策4 学校のICT化の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	適正な教育課程の編成及び実施、教育活動の充実や教員の指導力の向上及び授業の充実を図るために必要な図書・資料の作成・配布、研修会の開催等を行う。
事業の対象 対象数	上尾市立小・中学校 全児童生徒・教員及び管理職 各種研修会等参加者
事業の内容	教師用指導用図書、デジタル教科書等の購入、学力向上プランの作成、上尾市の教育「指導の重点・努力点」の印刷製本（全教職員への配布）、研修会の開催等

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	1,606千円	79,622千円	31,359千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
指導の重点努力点 配布数	935冊	942冊	965冊	小・中学校教職員への配布数
研修会実施数	37回	44回	44回	指導課研修総数
上尾市学力調査の国語・算数（数学）・英語の平均値	小学校	52.2	52.4	全国平均を50としたときの市の平均値
	中学校	51.0	50.7	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>指導法改善事業については、教育基本法、学校教育法、学習指導要領等法令に基づいて適正な教育課程の編成を実施し、学力の向上と教育活動を充実させるため、教員の資質・能力の向上を図ることができた。平成24年度は、児童生徒の学力向上を目指し、指導方法の工夫改善を図るため、ICT活用研修会、道徳教育研修会等の研修会を実施し、教員一人一人の指導力を高めるとともに、新学習指導要領対応の教師用指導資料を全中学校に配布し、指導の充実を図ることができた。また、中学校の担当教員の校務用パソコンにデジタル教科書をインストールし、ICT活用研修会を開催することで、指導方法の工夫改善を図ることができた。さらに、上尾市の指導の重点・努力点を作成して全教員へ配布することにより、本市の重点事項等の周知徹底を図ることができた。</p>
特記事項 (今後の方向性等)	<p>平成23年度から小学校において、また、平成24年度から中学校で、新学習指導要領が全面实施となり、学習内容も増加したことから、授業の質の維持向上と指導方法の工夫改善が今後さらに重要となる。指導内容の理解を深め、指導方法の向上を図るため、研修会等の内容を一層充実させていく。教職員を対象とする研修については、新学習指導要領に対応したデジタル教科書を活用し、学習指導要領のねらいを踏まえた指導方法等の研修会を実施するとともに、ICTの活用や各教科等の指導方法等を教職員が自主的に研修できる機会として教師力アップ講座を夜間や土曜日等に開催し、教職員の資質・指導力の向上を今後も図っていく。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度	
A	上尾市学力調査の 国語・算数（数学）・英語の平均値	小学校	51.8	52.0	52.0
		中学校	50.3	51.0	51.0

事業番号 21	小中学校音楽会開催事業	担当	指導課
---------	-------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策1 豊かな心の育成

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	市内小・中学校の児童生徒の音楽性を伸ばすとともに、音楽を愛好する心を養い、情操豊かな児童生徒の育成を図る。
事業の対象 対象数	上尾市立小・中学校 児童生徒 約1,300名
事業の内容	表現及び鑑賞をとおして、音楽性を伸ばすとともに、音楽を愛好する心を養い、情操豊かな児童生徒の育成を図るため、毎年度1回「上尾市小・中学校音楽会」を実施する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	803 千円	868 千円	861 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
参加学校数	33校	33校	33校	音楽会参加学校数
参加者数	約2,000人	約2,000人	約2,000人	保護者等含む

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>上尾市小・中学校音楽会を開催することで、音楽的な活動をとおして、児童生徒の豊かな心の育成につながった。日常的に行われている音楽的教育活動の成果を発表し合える場を設けていくことは、児童生徒の豊かな心を育成するとともに、音楽科としての学力を高めることにもなった。また、学校間で互いの音楽を鑑賞することは、教員の指導力を高める視点からも効果的であった。参観者に音楽会の内容について、アンケート調査を行ったところ、「よかった、概ねよかった」が98%であった。現在、各学校の枠を超えた交流活動には体育的な行事が多いが、そのような中で、文化芸術を振興するという視点からも、本事業のような音楽的活動には意義がある。会場規模及び時間的な問題により、全小・中学校がそれぞれの学校の発表を聞くことができないこともあるが、音楽会の開催をとおして、各小・中学校が文化的な連携を深め、児童生徒が自らの音楽性を伸ばすとともに、音楽を愛好する心を養い、情操豊かな児童生徒の育成を図ることができた。</p>
（今後の方向性等） 持記事項	<p>市立小・中学校の教職員及び各学校の保護者からも音楽会の教育的効果については、認識が高まっている。参観者からは、児童生徒の歌声のすばらしさに感動した等の内容の感想も多く、今後も継続していく必要がある。また、上尾市歌を全員合唱として、参加した児童生徒全員で合唱し、市歌の普及を図っていく。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	音楽会参加者数	約2,000人	2,000人	2,000人



番号 22	中学校部活動支援事業	担当	指導課
-------	------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系			
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成		
施策	施策1 豊かな心の育成	施策7 児童生徒の体力向上	

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	部活動の充実及び活性化、生徒の意欲の向上と技能の向上を図る。また、生涯スポーツ・文化に親しむ習慣の基礎を養うことや目標を持った意欲的な学校生活を送ることができるようにする。
事業の対象 対象数	上尾市立中学校 全生徒
事業の内容	保護者、地域から部活動の活性化が望まれる中、部活動指導員を配置することで、生徒の技能の向上を図り、安全を確保する。

## ●事業費決算額の推移

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決 算 額	3,078 千円	3,080 千円	3,080 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
部活動指導員配置人数	45人	45人	45人	配置人数

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>中学校部活動支援事業においては、各校の希望する部活動において、部活動指導員を配置し、生徒の技能の向上を図ることができた。中学校部活動では、顧問の人事異動等の関係で、技術指導を行うことができる指導者が不在となり、部の活動が停滞したり、存続が難しくなったりする等の状況がある中、部活動指導員を活用することで、生徒は、長期的に技術指導等を受けることができた。</p> <p>平成24年度は、関東大会に46名が出場し、全国大会には、男子バスケットボール部を含む33名が出場することができ、優秀な成績を収めることができた。</p>
(今後の方向性等) 持 記 事 項	<p>スポーツ、文化において高い技能、知識を持つ部活動指導員を配置することで、教員による指導を補い、部活動の充実及び活性化並びに生徒の自主性、協調性、責任感、連帯感などの育成が図られている。毎年、運動部活動に加入する生徒数が増加しており、さらに各校から部活動指導員の配置希望が増加している現状もあり、今後も事業を充実し継続して実施していく必要がある。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定
A

目 標 指 標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
部活動指導員配置人数	45人	45人	45人

事業番号 23	中学校吹奏楽演奏会開催事業	担当	指導課
---------	---------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策1 豊かな心の育成

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	中学校部活動の文化的な活動において日頃の活動の成果を発表する機会の一つとする。対象生徒の意欲・技能の向上を図るとともに、保護者や一般市民にも公開することにより、市民の文化的活動としての位置付けを図る。
事業の対象 対象数	上尾市立中学校吹奏楽部
事業の内容	生徒の演奏技能を高め、担当教員の指導力の向上を図る機会として吹奏楽演奏会を開催する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	347 千円	252 千円	299 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
参加学校数	11校	11校	11校	参加中学校数
一般来場者数	282人	310人	378人	一般来場者数（受付通過分）

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>中学校吹奏楽演奏会の開催については、音楽的な活動をとおして、文化部活動の活性化と文化的活動の振興を図ることができた。日常的な活動の成果を発表することは、生徒の意欲を高め、技能の向上を図るとともに、担当教員の指導力の向上にもつながった。保護者や一般市民にも公開することにより、市民に芸術文化の提供と学校理解を図ることにもつながり、「この演奏会を毎年、楽しみにしている。」「今後も継続してほしい。」「中学生の技術の高さに感動した。」「このような場を提供していただき感謝している。」等の声が多く寄せられた。</p>
持記事項 (今後の方向性等)	<p>平成23年度から、市内11校すべての中学校の吹奏楽部が揃って参加した演奏会となっている。吹奏楽部に所属する生徒にとっては、日頃の取組の成果を発表する場である。また、吹奏楽部顧問が委員となる実施委員会を組織することで、顧問同士が吹奏楽指導に関する情報交換等を行い、吹奏楽部顧問の指導力の向上を図ることができている。演奏技術及び演奏態度とも、年々向上しており、事業を継続していく。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	一般来場者数	378人	380人	380人

事業番号 24	道徳教育研究推進モデル校事業	担当	指導課
---------	----------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策1 豊かな心の育成

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	学習指導要領に基づいた道徳教育の質の向上とその一層の充実を図るため、埼玉県独自の道徳教育教材資料集「彩の国の道徳」を活用し、地域と一体となった道徳教育の推進を図る。
事業の対象 対象数	上尾市立上平北小学校・上平中学校
事業の内容	全教職員が参画する道徳教育推進体制について研究を進めるとともに、学校、家庭、地域が一体となり、創意工夫ある道徳教育を推進し、研究の成果を市内等の各学校に普及する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	— 千円	760 千円	760 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
道徳教育研究発表会	—	2回	2回	研究発表会開催数
研究発表会参加者数	—	348人	359人	上平北小学校、上平中学校 研究発表会参加者数
規律ある態度 80%達成項目数	93項目/108項目	99項目/108項目	103項目/108項目	教育に関する3つの達成目標 規律ある態度達成項目数(小・中学校合計)

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価  (今後の方向性等)	道徳教育研究推進モデル校事業では、2校の研究をとおして、小・中学校の9年間を見通した道徳教育の実施の重要性を市内外に広めることができた。また、本事業における取組で、埼玉県教育委員会発行の「彩の国の道徳」「家庭用 彩の国の道徳」を親子で読むことで、親と子・学校と家庭とが道徳的価値観を共有することができた。さらに、道徳の時間や体験学習において保護者や地域人材等を活用することにより、児童生徒の道徳的実践力が高まった。
	平成25年度は、事業計画なし。

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
	A	平成24年度事業終了		

事業番号 25	小中学校図書整備事業	担当	総務課
---------	------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系			
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進	
施策	施策1 豊かな心の育成	施策3 学校施設・設備の整備・充実	

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	子どもたちの自主的・自発的な学習活動を支援するとともに、豊かな感性や情操を育む読書活動を推進するため、「学校図書館図書標準」（平成5年3月）を目標に、充実した学校図書館図書の整備を図る。
事業の対象 対象数	上尾市立小・中学校 全児童生徒
事業の内容	学校図書館図書標準の早期達成に向け、図書の計画的な整備を図る。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	12,952 千円	32,660 千円	25,861 千円

## ●評価指標

指標名		平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
増加冊数	小学校	7,179 冊	13,272 冊	12,399 冊	
	中学校	3,295 冊	6,959 冊	5,783 冊	
廃棄冊数	小学校	593 冊	43,153 冊	4,023 冊	
	中学校	199 冊	17,848 冊	497 冊	
年度末現有冊数	小学校	204,860 冊	174,740 冊	181,400 冊	
	中学校	114,566 冊	103,677 冊	106,119 冊	
図書標準目標達成率	小学校	91.6 %	78.1 %	83.7 %	
	中学校	81.6 %	72.1 %	74.3 %	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>確かな学力と豊かな心を育むため、子どもたちの自主的・自発的な学習活動の場として、また多くの情報を収集できる場として、学校図書館の果たす役割は大きなものがある。整備指標である「学校図書館図書標準」の達成を目標としてきたが、現状では図書標準目標達成までには至っていない。しかし、文科省の平成24年度からの学校図書館関係の地方財政措置を利用し、図書購入予算を例年並みに維持し、着実に蔵書数を増やすことができた。</p> <p>引き続き学校図書館を充実させるため、積極的に図書整備を推進していく。</p>
（今後の方向性等） 持記事項	<p>学校図書のデータベースを作成して学校図書館管理システムを導入した。データベース化・システム化したことによって、図書検索や図書の蔵書管理（購入・廃棄）が容易になり、効率的な学校図書館運用が可能となった。また、学校図書館管理システムを中心とした運用管理方法が学校間で统一的に業務できるよう学校、教育委員会とで調整作業を行ってきた。また、子どもの読書活動支援センターとも連携し、子どもたちにより良質な図書を提供していく。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	図書標準目標達成率（小学校）	83.7%	86.8%	89.8%
	図書標準目標達成率（中学校）	74.3%	76.0%	77.7%

事業番号 26

図書館資料整備事業

担当

図書館

## 上尾市教育振興基本計画の体系

基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成	基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート
施策	施策Ⅰ 豊かな心の育成	施策5 図書館運営の充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	図書館資料の充実を図り、「くらしに役立つ 市民とともに歩む図書館」をめざす。
事業の対象 対象数	上尾市民及び在勤・在学の人（広域・相互協定による、さいたま市・伊奈町・桶川市・蓮田市に在住の人）
事業の内容	図書館運営の根幹となる図書館資料（書籍・新聞・雑誌・CD・DVD等）の整備を進め、図書館サービスの充実を図る。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	37,214 千円	37,410 千円	37,783 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
蔵書数（全9館）	574,733 点	580,537 点	580,754 点	
蔵書密度（市民一人当たり）	2.53 点	2.56 点	2.55 点	蔵書数/人口
図書館利用者数（全9館）	384,793 人	385,539 人	440,036 人	
総貸出点数（全9館）	1,440,079 点	1,418,163 点	1,455,006 点	
貸出密度（市民一人当たり）	6.34 点	6.24 点	6.39 点	貸出点数/人口

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>図書館サービスの基本は、情報技術の急速な進展や生涯学習に対する高まり等、多様化する傾向にある資料や情報を提供することである。市民のニーズに応えるために、適切かつ迅速な選書を行い、新刊資料の配架、リクエストされた資料の手配等、幅広い図書館資料の収集により蔵書の充実に努め、資料の提供をすることができた。また、県内ネットワークを有効活用し、相互貸借（広域利用）による幅広い資料の活用と提供に努めた。さらに、資料等に基づくサービスのほか、市民の求める適切な資料を結びつけるためにレファレンス・サービスによる資料案内を行い、きめ細かなサービスの提供に努めた。</p>
（今後の方向性等） 特記事項	<p>本館と分館が連携し、図書館としてのより充実した蔵書構成を考え資料の選書を行う。また、今後とも魅力ある読書環境を整備・充実させるため、定期的な書架の整理・資料の除籍により蔵書の新鮮度を保ちながら継続して、資料の整備を図り、高度化・多様化する市民のニーズに応えられるよう図書館資料等の購入を進める。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定
A

目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
蔵書数（全9館）	580,754 点	584,000 点	587,000 点
貸出密度（市民一人当たり貸出点数）	6.39 点	6.45 点	6.50 点

事業番号 27	子どもの読書活動支援センター運営事業	担当	図書館
---------	--------------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系		
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成	基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート
施策	施策1 豊かな心の育成	施策5 図書館運営の充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	子どもの読書活動の推進を図るため、拠点となる「子どもの読書活動支援センター」を富士見小学校内に開設し、上尾の子どもを本好きにするための事業を展開する。
事業の対象 対象数	18歳以下の子どもたちと保護者
事業の内容	家庭・地域・学校へ情報の発信提供や講師の派遣、講演会・講座の開催、ボランティアの養成、出張おはなし会の開催

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	— 千円	— 千円	3,763 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
出張おはなし会	—	—	23回	ボランティア派遣を含む
ボランティア養成講座	—	—	21回	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>子どもの読書は、感性や知識を伸ばし、想像力や表現力を豊かにするなど成長に欠かせないものである。「子どもの読書活動支援センター」では、子どもが本に興味を持ち、本を好きになるような魅力的な手法で事業を行っている。特に、出張おはなし会は、子どもたちに大変好評であり「読み聞かせのまち あげお」の実現に向けて、更に拡大していく必要がある。今後は、学校や地域の子どもたちに読書の楽しさを伝えることのできる、読み聞かせボランティアを養成するための講座を企画し、充実を図りつつ、ボランティアの活躍の場を開拓していく。</p>
（今後の方向性等） 持記事項	<p>全市内小中学校間で巡回させる「あっぴい ぶっくるセット本」事業の本格開始。科学絵本の読み聞かせ・アニメーションなど新しいジャンルの読み聞かせボランティアを養成し、バラエティに富んだおはなし会を開催できるようにする。学校や市内のイベントなど、いろいろな場所にボランティアを派遣する。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	出張おはなし会	23回	30回	40回
	ボランティア養成講座	21回	30回	30回

事業番号 28	生徒指導推進事業	担当	指導課
---------	----------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策2 生徒指導の充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	児童生徒の非行・問題行動の未然防止と、健全育成及び学校生活の充実を図る。
事業の対象 対象数	上尾市立小・中学校 全児童生徒
事業の内容	中学校での非行問題行動の未然防止のため、4人の生徒指導支援員を要請のあった中学校へ派遣し、校内巡視や非行・問題行動を取る生徒への対応など、中学生の非行問題行動を未然に防ぐ活動を行う。また、生徒指導推進協議会の活動をとおり、各中学校区で小・中学校及び地域住民、警察等関係 機関及び青少年育成団体、高等学校等と連携しながら、青少年健全育成活動、長期休業中のパトロールや補導を行い、地域と一体となった総合的な生徒指導の取組を推進する。

## ●事業費決算額の推移

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決 算 額	4,550 千円	4,550 千円	4,539 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
支援員派遣校数	5校	5校	4校	生徒指導支援員派遣中学校数
支援員1校あたり週派遣日数	1.6日	1.6日	2日	派遣校1校あたりの週派遣日数
暴力行為発生件数	16件	26件	20件	小・中学校の暴力行為発生件数
街頭補導回数	558回	536回	569回	11中学校区における街頭補導実施数

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>生徒指導推進事業については、生徒指導支援員の活動や上尾市生徒指導推進協議会の取組により、小・中学校の暴力発生件数が減少するなど、成果をあげることができた。</p> <p>生徒指導支援員の活動に関しては、派遣校数が平成23年度の5校から4校となったが、週あたりの派遣日数が1校当たり2日と増加し、校内巡視などを行ったり、専門性の高い支援員を配置したりすることで、非行・問題行動を繰り返す生徒への教員の指導を支援することができ、再発防止等に効果を上げることができた。</p> <p>上尾市生徒指導推進協議会の活動に関しては、市内の小・中学校及び高等学校が地域及び警察等関係機関、青少年育成団体等と連携し、中学校区内のパトロールなど具体的な実践を行い、児童生徒及び青少年の非行・問題行動の抑止力となることができた。</p>
(持 記 事 項 等) 今後の方向性等	<p>生徒指導支援員は、毎年4～6校の中学校からの派遣要請があり、派遣した学校は、徐々に落ち着いた状況になり、効果は明らかである。また、非行・問題行動の低年齢化、集団化、広域化、再発の増加に伴い、1年生からの対応が必要になるなど、今後も配置が必要と想定される。上尾市生徒指導推進協議会は、本市の生徒指導の中心となる組織であり、学校・家庭・地域の生徒指導力の向上を担っているため、今後ますます重要な位置づけとなる。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目 標 指 標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	暴力行為発生件数	20件	0件	0件

事業番号 29	さわやか相談室運営事業	担当	教育センター
---------	-------------	----	--------

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策2 生徒指導の充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	児童生徒・保護者の身近な相談機関として中学校に相談員を配置し有効に機能させる。不登校生徒が学級復帰を果たすまでの第一段階として、教育相談主任・学級担任等と連携して、生徒個々にカウンセリング等を実施しながら学級復帰をめざす。
事業の対象 対象数	市内全中学校 11校
事業の内容	児童生徒・保護者等の様々な相談に応じるため、市内中学校のさわやか相談室に相談員を配置する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	17,552 千円	17,718 千円	17,760 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
相談室の相談回数	14,073 回	9,927 回	11,204 回	相談室で扱った相談の延べ回数
相談の解決率	79 %	80 %	87 %	解決件数/相談件数×100
不登校生徒出現率（中学校）	1.81 %	1.69 %	1.60 %	不登校生徒数 / 全生徒数×100

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	市内全中学校に配置しているさわやか相談室相談員は、相談延べ回数も11,204回と大変多いが、生徒の学校生活や家庭生活での悩みに対応したり、学級に行けない不登校傾向のある生徒へのカウンセリングや学習支援を積極的に行うことができた。また、校区内の小学校とも連携をとり、必要に応じて小学生保護者との面談等も行えた。さらに、教育センターの相談員及び適応指導教室指導員と連携を図り、きめ細かい支援を行っているが、これらの業務は、不登校児童生徒を教室復帰に導く重要な業務であるため、年間7回の研修を教育センターで実施した。さわやか相談室相談員の相談延べ回数は、前年度より増えているが、相談の解決率は87%に達し、いじめや不登校等の問題に積極的に関わることで成果をあげることができた。特に不登校生徒出現率は1.60%で、着実に減少しており、さわやか相談室の貢献度も大きい。
持記事項 （今後の方向性等）	不登校生徒を減らすために教育センターの相談室訪問の充実を図るとともに、連携しながら対応していく。今後も、さわやか相談室相談員の資質の向上と相談室の運営の充実を図っていく。

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	不登校生徒出現率	1.60 %	1.43 %	1.30 %



事業番号 30

人権教育推進事業（指導課所管分）

担当

指導課

## 上尾市教育振興基本計画の体系

基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策3 人権教育の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	人権を尊重する教育と心豊かな人づくりの推進を図り、人権尊重の意識を高めることで、いじめや差別のない学校の実現と相手の立場に立ち差別をしない児童生徒の育成を図る。
事業の対象 対象数	上尾市立小・中学校 全児童生徒・管理職及び教員
事業の内容	人権教育研修会（人権教育施設体験研修会を含む）をとおして校長、教頭、教員の資質の向上を図る。人権教育を視点においた指導方法の研究をより一層推進する。

## ●事業費決算額の推移

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決 算 額	1,381 千円	1,382 千円	1,357 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
教育に関する3つの達成目標 「規律ある態度」 やさしい言葉づかい	86.2%	86.5%	88.7%	効果の検証 「相手のことを考えたやさしい言葉づかいができる」 『よくできる』『だいたいできる』回答児童生徒数/全児童生徒数×100
人権作文・標語集配布率	100%	100%	100%	配布数/児童生徒数×100

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	人権教育推進事業については、「教育に関する3つの達成目標」でのやさしい言葉づかいができる児童生徒の割合も増加傾向にあり、他者を尊重する人権意識が醸成されてきている。人権作文・標語集の全児童生徒への配布を平成24年度も行い、他の児童生徒の人権に対する意識や実践を知り、児童生徒自らの人権意識を高めるとともに、人権教育に活用することができた。管理職及び教員を対象に差別の現実を踏まえた講演会や現地研修会等を実施し、人権教育推進の意識を一層高めることができた。
特記事項 (今後の方向性等)	人権作文・標語集の活用を年間指導計画に位置づけ人権教育を授業で着実に実施し、効果的に活用することでさらなる人権意識の高揚と実践力の向上を図る必要がある。インターネット上における人権問題が増加していることを受け、その対応についての教員研修会を実施し、適切な指導をしていくことできるようにする必要がある。

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	教育に関する3つの達成目標 「規律ある態度」やさしい言葉づかい	88.7%	89.0%	90.0%

事業番号 31	不登校児童生徒の学校適応指導事業	担当	教育センター
---------	------------------	----	--------

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策4 学校教育相談の充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	不登校児童生徒のうち、学校復帰に意欲のある者の自立に向けた指導・支援を行うことによって、学校への完全復帰を目指す。
事業の対象 対象数	市内小・中学校不登校児童生徒 127人
事業の内容	不登校児童生徒の自立と学校生活への適応を図り、学校に復帰させることを目的として様々な指導・援助を行う。体験学習を多く取り入れた活動や学生ボランティアによる学習支援を実施する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	4,486千円	4,431千円	4,408千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
適応指導教室入級者数	11人	10人	9人	入級者数
適応指導教室開設日数	165日	167日	146日	4月及び水曜日を除く平日 *夏休みは、火・木のみ開設
学校への復帰率	100%	100%	100%	学校復帰した人数/入級者×100

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価  (今後の方向性等)	<p>学校適応指導事業では、不登校児童生徒の自立と学校生活への適応を図るため適応指導教室において指導員が丁寧な指導・支援を行い学校への復帰を目指した。上尾市内における不登校児童生徒数は127人であった。その内、教育センターに来所した児童生徒は約4割の52人であった。その中で適応指導教室に入級した数は9人と少ないが、もう一歩で入級という児童生徒も多く見られた。まずは適応指導教室に入級することが学校復帰・学級復帰につながると考え、積極的にサポートすることができた。適応指導教室に入級している児童生徒はコミュニケーションが苦手であったり、学習面に不安を抱えたりしていることが多い。そのため、1日の計画の中で、交流の時間や体験活動を重視した時間割を設定する、学生ボランティアを活用することで、できるだけ個別に学習支援を行い学力の定着を図る、宿泊体験等の施設外体験学習を行うことにより他者との関わりをもつことの大切さを味わわせる活動を取り入れた。平成24年度も適応指導教室に入級した児童生徒は100%学校復帰を果たすことができた。</p>
	<p>教育センターに通ってくる児童生徒は、他者と積極的に関わることができない、関わり方が分からないなど、他者とのコミュニケーションに課題が見られる。そこで、児童生徒が協力して活動を計画・実行し、適応指導教室の中での個々の役割を明確にさせていく必要がある。さらに、教育センター内の活動にとどまらず、施設外での活動を年間の活動に位置づけ、他者との関わりをさらに多く持たせていく。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	適応指導教室から学校への復帰率	100%	100%	100%

事業番号 32	教育相談事業	担当	教育センター
---------	--------	----	--------

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策4 学校教育相談の充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	幼児及び児童生徒と保護者、学校関係者が抱える教育問題等を解消する。特に不登校児童生徒については、学校（相談室・適応指導教室を含む。）に復帰させる。
事業の対象 対象数	上尾市在住の幼児、児童生徒、保護者及び関係者 約57,000人 （内訳：幼児、児童生徒数約28,000人、保護者数約28,000人、学校関係者約1,000人）
事業の内容	幼児・児童生徒及び保護者の教育問題等に関する相談、軽度発達障害のある児童生徒の相談及び各種知能検査・発達検査を行う。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	9,310 千円	9,284 千円	11,446 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
教育相談実件数	310 件	282 件	279 件	実人数
教育相談延べ回数	3,829 回	3,432 回	3,171 回	面接相談+電話相談+メール相談
教育相談終結率	78.7 %	88.7 %	86.4 %	終結数/相談実件数×100

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>平成24年度の教育相談は教育心理専門員1名が増員され、副主幹1名、教育心理専門員2名、相談員4名の計7名で対応した。不登校に関する相談のほかに性格・行動や学習・発達での相談も多く、知能検査（WISC-Ⅲ）を受けるケースも大変多くなっている。平成24年度の実績は82件であり、前年度より30件増えた。そのため、教育心理専門員の増員により、保護者や学校からの検査要請に十分応えることができた。また、SSW（スクールソーシャルワーカー）が不登校の児童生徒に対し家庭訪問を繰り返し行った結果、児童生徒が教育センターに来所できるようになったことは、SSWが有効に機能したものととらえている。教育センターに通う不登校児童生徒は今後、増える可能性もあるので、相談員会議、指導員会議、研修会を定期的を実施し、相談体制の充実及び指導員の資質向上を図りながら、適切かつ有効な支援を行っていく必要がある。</p>
持記事項 （今後の方向性等）	<p>不登校の児童生徒に対し、SSWの活動は大変重要となる。今後も不登校で学校復帰できない児童生徒に対して、さらに積極的な働きかけを行う。市内の小・中学校で、現在登校できない児童生徒全員に対し、学校と連携して家庭訪問を行う等の働きかけを行い、教育センターに繋げることができるようにする。教育相談の終結率が高くなっているため、今後も相談機能の一層の充実を図り、適切な教育相談を行っていく。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	教育相談終結率	86.4%	88%	90%

事業番号 33	児童生徒体力向上推進事業	担当	指導課
---------	--------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
施策	施策7 児童生徒の体力向上

●事業の概要

事業の目的 事業の目標	市立小・中学校の児童生徒の体力向上を図り、心身ともに健やかでたくましい人づくりを目指す。
事業の対象 対象数	上尾市中学校体育連盟・小学校体育連盟 上尾市立小・中学校 全児童生徒
事業の内容	上尾市中学校体育連盟の学校総合体育大会及び県民体育大会兼新人体育大会の市内予選会や小学校体育連盟の連合運動会、親善バスケットボール大会などの実施をとおして、児童生徒の体力向上を目指す。

●事業費決算額の推移

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決 算 額	3,488 千円	3,498 千円	3,603 千円

●評価指標

指標名		平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
運動部活動加入率		75.3%	74.2%	75.0%	運動部活動加入生徒数/生徒数×100
教育に関する3つの達成目標 体力（運動習慣）		79.9%	80.1%	76.4%	週1～2回以上は1時間以上運動すると回答した児童生徒の割合
新体力テスト 総合評価 上位3ランク（ABC） の児童生徒の割合	小学校	78.4%	79.5%	79.6%	5ランク中上位3ランクの児童生徒の割合
	中学校	83.9%	84.9%	85.5%	

◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>児童生徒体力向上推進事業については、児童生徒の体力低下が懸念されている現状もあり、各学校で工夫して取り組むことができた。小学校においては、親善球技大会や連合運動会を計画し、各校で大会に向けて取り組み、技能の向上を図ることができた。また、体育実技伝達講習会を開催して、教員が指導力の向上を図ることができた。中学校においては、日頃運動部活動で身に付けた技能を6月と10月の大会で発揮することができ、多くの生徒が全国・関東大会に出場し、活躍することができた。</p>
持記事項 (今後の方向性等)	<p>児童生徒の日常生活における運動の機会は減少傾向にあり、体力向上を図る事業の重要性は今後さらに増していく。小学校体育連盟や中学校体育連盟では、日常の児童生徒の様子から、実態に応じた体力向上に係る取組を推進している。また、本市では「ボール投げ」について特に課題となっており、授業研究会等をとおして、指導方法等の改善について研究等を行い、課題解決を図っていく。また、体育授業において、各学校で課題種目を準備運動等で取り入れて体力の向上を図っていく。本事業は、市立小・中学校の児童生徒の体力向上を図るためにも今後も継続し一層の充実を図る必要がある。</p>

次年度以降の目標設定

事業評価判定
A

目 標 指 標		平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
教育に関する3つの達成目標 体力 (週1時間以上運動する児童生徒の割合)		76.4%	80%	80%
新体力テスト 総合評価 上位3ランク（ABC） の児童生徒の割合	小学校	79.6%	80%	80%
	中学校	85.5%	86%	86%

## 基本目標Ⅲ

# 安心・安全で質の高い学校教育の推進

### 施策1 教職員の資質・能力の向上

事業番号20(再掲) 指導法改善事業

### 施策2 学校経営の改善・充実

事業番号4(再掲) 魅力ある学校づくり事業

事業番号20(再掲) 指導法改善事業

事業番号34 学校評議員制度運営事業

事業番号35 元気な学校をつくる地域連携推進事業 【再Ⅳ-1】

### 施策3 学校施設・設備の整備・充実

事業番号8(再掲) 準教科書・副読本整備事業

事業番号25(再掲) 小中学校図書整備事業

事業番号36 小中学校教室エアコン整備事業

事業番号37 小中学校教育教材整備事業

事業番号38 小中学校校舎大規模改造(耐震補強)事業

事業番号39 小学校校舎改築事業

### 施策4 学校のICT化の推進

事業番号20(再掲) 指導法改善事業

事業番号40 小中学校コンピュータ整備事業

事業番号41 小中学校電子黒板整備事業

### 施策5 学校安全の推進

事業番号42 児童生徒安全推進事業

事業番号43 学校安全パトロールカー事業

### 施策6 就学支援の充実

事業番号7(再掲) 日本語指導職員派遣事業

事業番号44 入学準備金・奨学金貸付事業

事業番号45 小中学校特別支援教育就学奨励事業

事業番号46 小中学校就学援助費補助事業

事業番号47 要保護児童生徒医療費援助事業

事業番号48 準要保護児童生徒給食費援助事業

事業番号 34	学校評議員制度運営事業	担当	指導課
上尾市教育振興基本計画の体系			
基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進		
施策	施策2 学校経営の改善・充実		

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	学校運営に関し、保護者や地域住民の意向を把握し、意見等を反映させたり、協力を得たりするなど、特色ある開かれた学校づくりを推進するため、学校評議員制度の運営充実を図る。
事業の対象 対象数	上尾市立各小・中学校 各校5人×33校＝165人
事業の内容	学校評議員の委嘱及び学校評議員研修会の開催等

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	590 千円	590 千円	590 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
学校評議員会議開催回数	3.15回	3.30回	3.21回	1校あたりの学校評議員会議の開催回数
学校評価に対する意見聴取回数	1.64回	1.82回	1.84回	学校の自己評価等に対する評議員からの意見聴取回数

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	学校評議員制度運営事業については、学校評議員の委嘱式とともに研修会を行うことにより、本市の教育の重点や他の学校の取組を知るとともに、学校評議員としての役割を認識していただくことができた。また、各学校では、開かれた学校づくりの観点から学校評議員会の他にも学校公開等に積極的に学校評議員を招き、学校理解を進めることができた。
（今後の方向性等） 特記事項	学校評議員の任期は複数の学校で経験した場合も通算で3年間とし、より多くの地域の方々から学校評議員としての意見をいただけるようにしている。学校は地域に協力を求めるだけでなく、地域の行事等にも教職員や児童生徒が関わりをもつことによって、地域連携を一層充実させていく。

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	学校評議員会議開催回数	3.21回	4回	4回

## 事業番号 35 元気な学校をつくる地域連携推進事業

担当 指導課

## 上尾市教育振興基本計画の体系

基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進	基本目標Ⅳ 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上
施策	施策2 学校経営の改善・充実	施策1 学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	地域の方々の児童生徒の活動にかかわる取組の機会を増やし、学校に協力いただくとともにより深く学校を理解していただき、地域で子どもを育てるという意識を高める。また、学校応援団員の専門的な知識やすぐれた技術など、地域の教育力を学校教育に積極的に活用し、より効果的な学習活動を推進する。
事業の対象 対象数	上尾市立小・中学校 33校
事業の内容	学校が積極的に家庭や地域社会の教育にかかわることにより、学校の活性化を図るとともに、家庭や地域社会の教育力の向上を目指し、学校・家庭・地域社会が一体となって子どもの育成に取り組む。地域から学校応援団を組織するとともにコーディネーターを介して、学校に対しての学習支援や環境整備、児童生徒の安全確保・事故防止の支援などを行う。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	2,220 千円	220 千円	220 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
学校応援団員数	9,795人	10,434人	9,510人	各学校の学校応援団登録者数合計
学校応援団活動件数	8,435件	9,029件	8,892件	各学校の学校応援団活動件数合計

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>元気な学校をつくる地域連携推進事業については、市内すべての小・中学校で組織されている学校応援団が、安心・安全に教育活動に協力し、活動を充実させることができた。学校応援団の活動は、地域の特色や実態に応じており、取組は様々である。例えば、授業中、児童の発表を聞いて感想を述べる、休業中に補充学習支援を行う、児童に読み聞かせをする等の学習支援、図書室の環境整備や図書室貸出返却を補助する、飼育委員会の補助として活動の支援や休日の飼育動物の世話に協力する、ビオトープを整備する等の環境整備、校外学習等の引率を支援する、あいさつ運動や校内パトロールを行う、児童の下校時に声掛けをし、児童を見守る等の安心・安全に係る活動等である。様々な取組を実施したことで、地域の方々が児童生徒の活動にかかわる機会が増え、学校をより深く理解し、地域で子どもを育てる意識を高めることができた。また、学校応援団員の専門的な知識や優れた実践等を積極的に活用でき、質の高い学校教育の推進につながった。</p>
（今後の方向性等） 特記事項	<p>市内全小・中学校で学校応援団が組織されており、安心・安全に係る活動や学習支援活動、学校の環境整備などの活動に取り組み、活動内容は年々充実してきている。平成23年度から、県からの補助がなくなったが、賠償責任保険を市独自で予算化し活動を支援しており、事業を継続していく必要がある。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	学校応援団活動件数	8,892件	10,000件	10,000件

事業番号 36	小中学校教室エアコン整備事業	担当	総務課
---------	----------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策3 学校施設・設備の整備・充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	地球温暖化現象の影響で、近年夏場の気温は異常な上昇ぶりで38度を超える日もあり、教室の気温は外気温とさほど変わらない状況にある。このような学習環境の中では、児童、生徒の健康管理上も悪影響を与え、集中力の低下も生じてしまう。 そこで、児童・生徒の健康管理と授業に集中できる学習環境とするため、普通教室にエアコンを整備する。
事業の対象 対象数	小学校普通教室 375室のエアコン整備（富士見小学校・中央小学校は改築事業により整備） 中学校普通教室 192室のエアコン整備
事業の内容	小学校 平成23年度 普通教室373教室に整備（10年リース：H23.7.1～H34.6.30） 平成24年度 普通教室 2教室に整備（9年リース：H24.7.1～H34.6.30）  中学校 平成24年度 普通教室192教室に整備（10年リース：H24.7.1～H35.6.30）

## ●事業費決算額の推移

年 度	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
決 算 額	小学校	— 千円	小学校	60,292 千円	小学校	80,746 千円
	中学校	— 千円	中学校	— 千円	中学校	26,583 千円

## ●評価指標

指標名		平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
小学校	必要教室数	— 室数	385 室数	387 室数	
	整備済室数	12 室数	12 室数	385 室数	
	整備室数	— 室数	373 室数	2 室数	
	未整備室数	— 室数	0 室数	0 室数	
中学校	必要教室数	— 室数	13 室数	205 室数	
	整備済室数	13 室数	13 室数	13 室数	
	整備室数	— 室数	0 室数	192 室数	
	未整備室数	— 室数	0 室数	0 室数	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>小学校及び中学校において、それぞれ同時に全校にエアコンを整備するため、リース契約を行い予算の平準化をしている。</p> <p>小中学校のすべての普通教室にエアコンを整備したことは、児童・生徒が健康で授業に集中できる学習環境の改善を図るためのもので、本事業の必要性は極めて高い。</p> <p>また、学習環境の整備が図られたことにより、広範な教育行政に効果をもたらしている。</p>
（今後の方向性等） 持記事項	特別教室へのエアコン設置要望も上がっている。

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
S	普通教室エアコン整備率	100.0%	—	—



## 事業番号 37 小中学校教育教材整備事業

担当 総務課

## 上尾市教育振興基本計画の体系

基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策3 学校施設・設備の整備・充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	授業等で使用する学習教材、教具の整備・充実に努め、学習環境を整備する。
事業の対象 対象数	小・中学校の児童・生徒 小学校・・・児童数12,505人 中学校・・・生徒数 6,349人
事業の内容	授業等で使用する学習教材、教育用コンピュータで使用する教材ソフトの整備

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	42,321千円	43,961千円	43,889千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
小学校の児童1人当たりの支出額	1,940円	2,073円	2,126円	小学校事業費/児童数
中学校の生徒1人当たりの支出額	2,746円	2,741円	2,724円	中学校事業費/生徒数
備品購入費（小学校）	25,307千円	26,662千円	26,591千円	
備品購入費（中学校）	17,015千円	17,299千円	17,297千円	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>子どもたちや教員が授業等で使用する学習教材や教具は、学習環境には必要不可欠なものであり、できるだけ多くの教材等を整備することにより、よりよい学習活動が実現できる。今年度も平成21年度からの理科備品の国庫補助金を活用し、限られた予算の中で、学校からの購入計画を基に、学校規模に応じて備品を効率的に整備した。今後も授業等に合わせて多くの教材を整備できるよう精査しながら継続的に進めていく。</p>
持記事項 (今後の方向性等)	<p>教材備品の購入計画から備品登録・管理を紙ベースの台帳で行っていたが、担当者の業務軽減や備品管理の合理化のために備品管理システム導入を行い、システム化したことによって、備品管理（登録・廃棄）や検索、集計作業等が容易になり、効率的な運用が可能となった。備品管理システムを中心とした運用管理方法が学校間で統一的に業務できるよう学校、教育委員会とで調整作業を行ってきた。現在も継続中である。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定		目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A		備品購入費			
		小学校	26,591千円	26,720千円	26,720千円
		中学校	17,297千円	17,375千円	17,375千円

事業番号 38	小中学校校舎大規模改造（耐震補強）事業	担当	総務課
上尾市教育振興基本計画の体系			
基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進		
施策	施策3 学校施設・設備の整備・充実		

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	地震発生等の災害時に児童生徒の安全を確保するとともに、地域住民の応急避難場所としての役割を果たす学校施設とするため。
事業の対象 対象数	小学校22校、中学校11校の対象棟数120棟のうち、昭和56年の新耐震基準を満たしていない校舎、屋内運動場（平成24年度末現在）
事業の内容	建物の強度、粘り強さを基にした耐震2次診断、耐震補強設計を実施し、耐震補強工事を行い、併せてトイレ改修工事を実施する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度 (平成21年度補正予算繰越含)	平成23年度 (平成22年度補正予算繰越含)	平成24年度 (平成23年度補正予算繰越含)
決算額	831,321 千円	877,863 千円	793,099 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
耐震化棟数	7棟（81棟） （補強不要含む）	12棟（93棟） （改築含む）	13棟（106棟） （改築含む）	平成21年度まで72棟耐震化済 （補強不要含む）
校舎耐震化率	小学校 70.2% 中学校 60.4% 平均 66.3%	小学校 87.5% 中学校 62.5% 平均 77.5%	小学校 94.4% 中学校 79.1% 平均 88.3%	平成22年度まで対象棟数122棟 平成23年度から対象棟数120棟

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>学校施設の校舎及び屋内運動場の耐震化については、「上尾市立小・中学校耐震化推進計画」に基づき、計画的に進んでおり、平成23年度末で77.5%であった耐震化率も平成24年度末には88.3%となり、校舎の耐震化はほぼ終了し、安全性が確保された。平成25年度は体育館の耐震補強工事がメインとなる。</p> <p>また、耐震補強工事と併行してトイレの全面改修も実施することにより、学校環境の改善が図られ、健康管理や心の育成に寄与している。</p>
（持記事項等） 今後の方向性等	<p>平成25年度中には上尾中改築工事を除き、耐震工事が完了することから、今後は長寿命化工事を計画していく。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	耐震化率	88.3%	97.4%	97.4%

事業番号 39	小中学校校舎改築事業	担当	総務課
---------	------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策3 学校施設・設備の整備・充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	地震発生等の災害時に児童生徒の安全を確保するとともに、時代の変化に対応できる学校施設整備を図るため
事業の対象 対象数	昭和39年以前に建築された校舎の残る、富士見小学校、中央小学校、上尾中学校の3校を対象とする
事業の内容	耐力度調査、基本設計、実施設計を経て改築工事を実施する。富士見小学校については、全面改築とし、平成23年度に竣工した。中央小学校は、南校舎棟の部分改築で平成24年度に工事着手し、平成25年度に竣工する。上尾中学校についても部分改築とし、平成24年度に基本設計を実施した。

## ●事業費決算額の推移

年 度	平成22年度 (通次繰越金)	平成23年度	平成24年度
決 算 額	749,785 千円	1,448,948 千円	323,419 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
富士見小学校校舎改築 工事出来高率(%)	30%	70%	—	平成22年度30% 平成23年度70%
中央小学校校舎改築工事	基本設計 耐力度調査	実施設計	出来高率 20%	平成24年度20% 平成25年度80%
上尾中学校校舎改築工事	—	—	基本設計 耐力度調査	平成25年度実施設計 平成26年度工事着手(予定)
改築事業完了校累計数	0校/3校	1校/3校	1校/3校	改築事業校:3校 (富士見小・中央小・上尾中)

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>平成24年度には、中央小改築工事に着手し、20%の出来高となっているが、順調に進捗している。上尾中学校についても、基本設計が出来上がり改築工事実施に向けての軌道に乗ってきている。</p> <p>また、時勢に則した改築を行うことにより、教育現場での効果も期待される。</p>
(今後の方向性等)	<p>上尾中学校改築予定</p> <p>平成25年度 実施設計</p> <p>平成26年度 工事着工</p> <p>平成27年度 竣工</p> <p>※上尾中学校改築工事の完了をもって、耐震化率が100%となる</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
S	改築事業完了校累計数	1校/3校	2校/3校	2校/3校

事業番号 40	小中学校コンピュータ整備事業	担当	総務課
---------	----------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策4 学校のICT化の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの情報活用能力を育成するための教育機器の整備</li> <li>ICT（情報通信技術）を活用した効率的な授業実現のための授業支援機器の整備</li> <li>校務の効率化のための校務機器の整備</li> </ul>
事業の対象 対象数	小・中学校の児童・生徒及び教職員 小学校・・・児童数12,505人 教職員数665人 中学校・・・生徒数 6,349人 教職員数397人
事業の内容	学校に配置しているコンピュータシステムの整備及び整備機器の保守 ※パソコン2,533台（教育用1,453台、校務用1,080台）、プリンタ、その他周辺機器

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	109,081 千円	112,725 千円	117,940 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
教育用パソコン設置台数	1,421台	1,453台	1,453台	年度末現在
校務用パソコン設置台数	1,080台	1,086台	1,080台	年度末現在
教育用パソコンの目標達成率 （小学校） [達成値・児童生徒3.6人に1台]	26.7%	27.1%	27.9%	3.6/（整備台数/児童数）
教育用パソコンの目標達成率 （中学校） [達成値・児童生徒3.6人に1台]	28.1%	27.7%	27.5%	3.6/（整備台数/生徒数）

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価  （今後の方向性等）	<p>教育の情報化への対応は、今の社会には必要不可欠なものであり、同時に子どもたちの情報活用能力を育成することは、教育の必須項目となっている。次代を担う子どもたちの将来を見据えながら、必要な教育を実施できる環境の整備が、今後、更に求められるものである。そのためにも、学校ICTを活用した教育を実施できる環境を整備し、効率的な学校運営を展開していくことが必要である。</p> <p>今年度、中学校パソコン教室機器の入替を行ったが、台数を増台することはできず、教育用パソコンのより多くの生徒への提供は実現できていない。</p> <p>今後は、普通教室への校内LANの構築による教育用パソコンの配置を進めていき、多くの児童生徒がICT機器に触れる環境を構築していきたい。</p>
	<p>中学校パソコン教室に配置している教育用パソコンと一部職員室校務用のパソコンが平成25年2月28日にリース期間が終了し、新たに新機種のパソコンを更新した。</p> <p>今後は校内LANを構築し、教育用パソコンの充実を図っていく必要がある。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定  A	目標指標		平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
	パソコンの目標達成率 3.6/（整備台数/児童生徒数）	小学校	27.9%	28.6%	28.8%
		中学校	27.5%	27.3%	32.1%

事業番号 41 小中学校電子黒板整備事業

担当 総務課

## 上尾市教育振興基本計画の体系

基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策4 学校のICT化の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	大型テレビを電子黒板として活用し、子どもたちに授業に対する興味・関心を持たせ、集中力を高められるようなインパクトのある授業を実現するため、電子黒板ユニットを整備する。
事業の対象 対象数	小・中学校の設置必要台数
事業の内容	市立小中学校33校への電子黒板ユニットの整備

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	— 千円	7,875 千円	4,712 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
電子黒板ユニット設置必要台数(小学校)	540台	539台	513台	
電子黒板ユニット設置必要台数(中学校)	249台	258台	255台	
大型テレビ設置台数(小学校)	487台	487台	487台	
大型テレビ設置台数(中学校)	117台	117台	117台	
電子黒板ユニット設置台数(小学校)	15台 (51台)	128台 (179台)	66台 (245台)	( )内はユニット総数
電子黒板ユニット設置台数(中学校)	15台 (26台)	22台 (48台)	22台 (70台)	( )内はユニット総数
電子黒板ユニット設置率(小学校)	9.5%	33.2%	47.8%	ユニット設置総数/設置必要台数
電子黒板ユニット設置率(中学校)	10.4%	18.6%	27.5%	ユニット設置総数/設置必要台数

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>国は、教科書や教材等のデジタル化を普及・促進しており、デジタル技術を活用した情報教育を推進し、子どもたちの学力や情報処理能力の向上を図るため、電子黒板ユニットの配置は必要不可欠であると考えます。</p> <p>今年度は前年度に比べて新規設置台数が減少してしまったが、小学校では1校につき3台ずつ、中学校では1校につき2台ずつ設置することができた。設定率100%に向けて必要最低限には設置台数を増加することはできた。</p> <p>今後は、中学校の設置率を増加させていく必要がある。</p>
持記事項 (今後の方向性等)	<p>平成22年度以前は学校管理整備事業の備品購入費で少しずつ設置をしてきたが、国での教科書や教材等のデジタル化の流れが促進され、平成23年度からはひとつの単独事業として予算化し、着実設置してきた。学校でもデジタル教科書が多くの科目で導入され、電子黒板を授業で活発に利用している。今後も各学校まんべんなく配置できるように進めていきたい。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	電子黒板ユニット設置率			
	小学校	47.8%	60.0%	70.0%
	中学校	27.5%	40.0%	60.0%

事業番号 42	児童生徒安全推進事業	担当	総務課
---------	------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策5 学校安全の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	学校管理下における児童生徒の安全確保を図るとともに、健康教育向上に資する。
事業の対象 対象数	小・中学校児童生徒（平成24年5月1日現在） 小学校の児童 12,505人 中学校の生徒 6,349人
事業の内容	学校の管理下において、児童生徒に万が一事故等が起きた場合、その医療費等を保証する「スポーツ振興センター」への加入や、児童生徒の登下校時の安全確保のための防犯ブザーの貸与、心肺蘇生法講習会の実施のほか、緊急時使用のためのタクシー借上料なども実施している。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	21,415 千円	20,802 千円	20,567 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
新規防犯ブザー貸与数	2,061人	2,150人	2,160人	市内小学校22校の新1年生に配布
不審者事案等の件数	46件	27件	24件	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>学校管理下における児童生徒の安全確保のため、心肺蘇生法講習会（プール開始前に教職員に対し実施）や防犯ブザーの貸与（登下校時の犯罪抑止）、タクシー借上料（緊急時の病院への搬送）等の事業を行っており、大きな事故や犯罪の防止につながり、効果があった。また、学校管理下で起きた事故や病気については、日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度より、保護者の負担軽減になっている。さらに、大規模災害時の安全対策として、平成23年度末に改訂した上尾市学校安全マニュアル（防災編）をもとに、上尾市立小・中学校一斉避難訓練を行い、学校・地域・教育委員会の連携を図り、防災に対する意識が高まった。</p>
（今後の方向性等） 持記事項	<p>学校内の不審者対応として、ネットランチャーの更新を行う。また、心肺蘇生法講習会の形態を変更し、消防本部において、普通救命講習を受講した各学校の代表（1～2名）が、自校において講師となり、他の職員に心肺蘇生法の研修を実施する。なお、エピペン使用の可能性のある生徒がいる学校では、エピペン使用の講習も合わせて実施する。この各学校における研修は、消防署職員をアドバイザーとして協力をお願いしている。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	不審者事案等の件数	24件	0件	0件

事業番号 43	学校安全パトロールカー事業	担当	学校保健課
---------	---------------	----	-------

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策5 学校安全の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	市内各中学校11校に、学校防犯パトロールカーを配備し、教職員、PTA、事務区などと連携し、地域防犯パトロールを実施し、登下校の安全と地域の犯罪抑止力を期するもの。
事業の対象 対象数	小・中学校児童生徒（平成24年5月1日現在） 小学校の児童 12,505人 中学校の生徒 6,349人
事業の内容	各中学校校区単位に青色回転灯とスピーカーを装備した白黒ツートンの巡回用パトロールカーを配備し、学校・PTA・事務区等の協力のもと、学校内パトロールを実施する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	3,290千円	3,388千円	3,355千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
月あたりパトロール回数	15.9回	15.1回	15.6回	
登下校時の事故件数	12回	15回	13回	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>児童生徒を狙った犯罪や不審者の問題は、社会の大きな関心事であり、また、昨年度、亀山市や館山市で起きた事故もあり、児童生徒の交通事故は最重要課題である。これらの課題解決に向けて、学校、家庭、地域が連携して取り組むことは、今後ますます必要となってくる。そういう状況の中で、中学校区ごとにパトロール会が組織され、地域の実態に合わせて、学校、PTA、事務区等が連携して、効率的なパトロール活動が実施され、交通事故防止等、その効果が表れている。本事業は、「地域の子どもたちを地域で守る」具体的な活動として、着実に定着し浸透してきている。</p>
（持記事項） （今後の方向性等）	<p>県警察よりの防犯情報を学校に送付し、児童生徒を狙った犯罪・不審者情報の際には、巡回パトロールを強化するなど、危機管理の向上に機能した。</p> <p>また、パトロール実施者証取得者数は、県内でもトップクラスであり、地域防犯における今後の役割はより重要となってくる。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	登下校時の事故件数	13件	0件	0件

事業番号 44	入学準備金・奨学金貸付事業	担当	総務課
---------	---------------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策6 就学支援の充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	進学意欲を有する者で経済的な理由により就学困難なもののために、入学準備金又は奨学金の貸付けを行い、教育の振興を図る。
事業の対象 対象数	市内に引き続き1年以上居住し市税を完納している世帯の保護者（入学準備金）、子女（奨学金）
事業の内容	<p>入学準備金 ①高等学校（特別支援学校含む）・高等専門学校・専修学校高等課程          公立…20万円 私立…30万円          ②短期大学・大学・専修学校専門課程          公立…30万円 私立…50万円</p> <p>奨学金 ①高等学校（特別支援学校含む）・高等専門学校・専修学校高等課程 月額1万円          ②短期大学・大学・専修学校専門課程 月額2万円</p>

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	8,404 千円	5,980 千円	3,083 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
貸付件数	16人	11人	11人	新規・継続貸付人数

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価  (持記事項 今後の方向性等)	<p>入学準備金、奨学金の貸付けは、独立行政法人日本学生支援機構や埼玉県をはじめ複数の制度があり、各自治体においても独自の制度を設けている。多様な貸付制度の中から利用者が自身の経済状況等を踏まえ、貸付条件や返還条件等を検討し、最も適した制度を選択できる状況を用意することで、経済的理由による就学困難者の救済に寄与することから、本事業の役割は大きい。</p> <p>平成23年度以降、貸付額が減少しているが、平成22年度から高校授業料の無償化が開始されたことが影響していると考えられる。経済的支援は数値目標が設定しにくく、貸付件数等の増減をもって評価することは困難であるが、利用希望者もいることから事業を継続する。経済的理由で進学を断念することがないように、必要としている者に制度を周知していく。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
	B	-	-	-



事業番号 45

## 小中学校特別支援教育就学奨励事業

担当

学務課

## 上尾市教育振興基本計画の体系

基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策6 就学支援の充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	教育の機会均等の趣旨にのっとり、特別支援学級への就学の特殊事情を鑑みて、その保護者の経済的負担を軽減し、もって特別支援教育を普及奨励する。	
事業の対象 対象数	小学生：受給者104人（対象者115人）	中学生：受給者72人（対象者77人）
事業の内容	市内小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、対象となる経費の一部を補助する。	

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	5,140 千円	5,361 千円	5,150 千円

## ●評価指標

指標名		平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
奨励費申請書の配布・回収	小学校	98%	100%	100%	回収数/配布数（在籍者数）×100
	中学校	92%	97%	100%	
奨励費受給者の割合	小学校	92%	94%	90%	受給数/在籍者数×100
	中学校	89%	86%	93%	
特別支援学級在籍者の割合	小学校	0.95%	0.83%	0.87%	特別支援学級在籍者数/全上尾市立小中学校児童生徒数×100 （5月1日現在児童生徒数）
	中学校	1.03%	1.18%	1.18%	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>障害のある子どもを持つ保護者の経済的負担の軽減を図ることから必要性は高く、該当者のほぼ全員に支援することが出来ている。</p> <p>特別支援教育を普及・奨励し、特別支援学級の適切な利用促進を図るためにも効果的な事業となっている。</p>
（特記事項等） 今後の方向性等	<p>学校と円滑に、かつ速やかに連絡を取り合い、国の基準に基づき効率的に事務を執行している。</p> <p>平成24年度から支給対象者が拡大されることから適正な事務遂行を行う必要がある。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定
A

目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
特別支援学級在籍者（小）の割合	0.87%	0.99%	1.04%
特別支援学級在籍者（中）の割合	1.18%	1.30%	1.35%

事業番号 46・48	<b>46 小中学校就学援助費補助事業</b> <b>48 準要保護児童生徒給食費援助事業</b>
---------------	--

担当	学務課・ 学校保健課
----	---------------

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策6 就学支援の充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	経済的理由により就学困難と認められる学齢児童または生徒の保護者に対し、就学に必要な費用を支給することにより、児童または生徒の就学に係る経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な実施を図ることを目的とする。
事業の対象 対象数	就学困難な学齢児童生徒の保護者 (平成24年度実績 小学校939人、中学校640人)
事業の内容	経済的理由により就学が困難と認められる市立小中学校在籍児童生徒の保護者に対して、学用品費、修学旅行費、給食費等の就学に必要な経費の一部を援助する。

## ●事業費決算額の推移

年 度	事 業 名	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決 算 額	小中学校就学援助補助事業	45,261千円	46,131千円	47,820千円
	準要保護児童生徒給食費補助事業	63,220千円	64,943千円	66,613千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
就学援助申請人数	1,568人	1,589人	1,615人	認定人数+不認定人数
就学援助認定割合	96.2%	95.7%	97.8%	認定人数/申請人数
就学援助申請割合	8.1%	8.3%	8.6%	申請人数/市内全児童生徒数

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>少子化の中、長引く景気の低迷、ひとり親世帯の増加等により経済的に困窮する世帯が増えている。そこで、就学援助制度では、生活保護世帯が対象となる要保護に準じる程度に困窮した保護者を援助することで、憲法第26条の「すべての国民が教育を受ける権利」や教育基本法第4条の「教育の機会均等」を保障し、教育格差の無い円滑な義務教育の実施を実現している。市内小中学校に在籍する全児童生徒に対して就学援助申請の案内文を配布する等の周知が図られ、適正に事務が進められており、上尾市教育振興基本計画の施策6「就学支援の充実」を推進するために必要な事業である。</p>
(今後の方向性等)	<p>年々援助費が増加している為、将来的には基準の見直しも必要だが、財政状況を勘案しながら、他市区町村との均衡を保つ必要がある。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	—	—	—	—

## 事業番号 47 要保護児童生徒医療費援助事業

担当 学校保健課

## 上尾市教育振興基本計画の体系

基本目標	基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進
施策	施策6 就学支援の充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	経済的な理由により、就学困難な児童生徒の保護者に対して、学校病（伝染性または学習に支障を生じる恐れのある疾病で、学校保健安全法施行第8条で定めるもの）について医療費の援助を行う。
事業の対象 対象数	上尾市立小・中学校に通う要保護児童・生徒のうち学校病の治療を必要とする者 平成24年度実績 16人（うち1名、H23年度要保護児童生徒未請求分）
事業の内容	生活保護受給者（要保護）に対し、学校保健安全法施行令第8条で定めた学校病に係る医療費を援助する。（国庫補助事業）

## ●事業費決算額の推移

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決 算 額	1,200 千円	225 千円	197 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
医療券交付人数	636人	52人	54人	H23年度から要保護児童のみ対象
医療券使用人数	199人	15人（3人）	16人（1人）	（ ）内は前年度未請求分
医療券使用人数割合	31.3%	29.0%	29.6%	医療券使用人数/医療券交付人数

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>学校の健康診断は、4月～5月にほとんど行われ、児童・生徒の疾病を早期に把握し、伝染性または、学習に支障を生じる恐れのある疾病について治療をするよう、養護教諭が治療指示書を発行している。その際、要保護児童生徒については、学校病（伝染性または学習に支障を生じる恐れのある疾病で、学校保健安全法施行第8条で定めるもの）についての医療費の援助を行うため、医療券を発行し、治療指示書と一緒に渡している。H24年度は、要保護名簿の通知は4月下旬、医療券交付通知も5月上旬にしており、医療券の申請も例年より早く受け付けて発行することができた。医療費を援助することにより、保護者の負担が軽減され、児童生徒が適切な治療を受けることができている。</p>
特記事項 （今後の方向性等）	<p>社会福祉課より発行される医療券と、学校の健康診断で治療が必要とされる学校病に限り発行する医療券があり、保護者が混乱しているためか交付してもこちらの医療券を使って治療をしない、又は、児童生徒を治療に連れて行かない家庭がある。学校を通して保護者に説明するなどさらなる制度の周知、説明が必要である。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
B	医療券使用人数割合	29.6%	30.0%	35%

## 基本目標Ⅳ

### 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上

---

#### 施策1 学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進

事業番号35(再掲) 元気な学校をつくる地域連携推進事業

#### 施策2 家庭教育の充実

事業番号49 家庭教育推進事業

事業番号 49

## 家庭教育推進事業

担当

生涯学習課

## 上尾市教育振興基本計画の体系

基本目標	基本目標Ⅳ 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上
施策	施策2 家庭教育の充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	子育て中の親に対し、子どもが生活のために必要な習慣を身につけ、自立性を育むための家庭教育に取り組めるよう、学習機会や情報について、学校等や地域と家庭の連携を図りながら提供する。
事業の対象 対象数	・幼児～中学生の子どもを持つ保護者と小中学校PTA会員 ・市内幼稚園保護者会・上尾市PTA連合会
事業の内容	家庭教育推進のため、家庭教育をテーマにした講演会の開催などの啓発事業を行う。家庭教育講演会は市PTA連合会の研究大会の講演会と合同で実施。また、市PTA連合会に市PTA連合会で定める「家庭教育行動指針」を啓発する事業を委託。また、市内幼稚園の保護者会にも家庭教育に関する講座等の企画・開催を委託している。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	450 千円	450 千円	490 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
家庭教育講演会開催数	1回	1回	1回	
家庭教育に関する講座等委託団体数	6団体	4団体	6団体	
家庭教育に関する講座・講演会参加者数	1,540人	1,426人	1,552人	委託団体開催講座・家庭教育講演会の参加者数の合計

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	平成24年度については、市PTA連合会と共催での家庭教育講演会の実施、幼稚園保護者会6団体に委託して家庭教育に関する講演会を行った。また、市PTA連合会に委託して、「あいさつをしよう」「こどもをほめよう」「会話をしよう」という「家庭教育行動指針」の啓発事業を実施している。子育て中の親に対する、家庭教育について学習する機会を提供し、PTAや保護者会の活動の中で実施することにより、極めて効果的、効率的に支援することができた。
（今後の方向性等）	市PTA連合会に委託している「家庭教育行動指針」の啓発事業について、裏面に行動指針を印刷したノートを市立小学校の全児童に配布しているが、啓発方法の見直しが必要。

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
B	家庭教育に関する講座・講演会参加者数	1,552人	1,600人	1,600人

# 基本目標V

## 生涯にわたる豊かな学びのサポート

---

### 施策1 生涯学習体制の充実

### 施策2 生涯学習施設の整備

事業番号50 学校施設開放(生涯学習)事業

### 施策3 生涯学習機会の提供

事業番号51 生涯学習指導者活動推進事業

事業番号52 成人式事業

事業番号53 子ども大学 あげお・いな・おけがわ

事業番号54 公民館講座事業

### 施策4 人権教育の推進

事業番号55 人権教育推進事業(生涯学習課所管分)

事業番号56 人権教育集会所運営事業

### 施策5 図書館運営の充実

事業番号26(再掲) 図書館資料整備事業

事業番号27(再掲) 子どもの読書活動支援センター運営事業

事業番号57 ブックスタート事業

事業番号 50	学校施設開放（生涯学習）事業	担当	生涯学習課
上尾市教育振興基本計画の体系			
基本目標	基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート		
施策	施策2 生涯学習施設の整備		

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	市民の学びの場、また、余暇活動の充実を図る場を確保し、生涯学習の推進に寄与する。
事業の対象 対象数	市内に在住・在勤・在学の方で構成された施設利用登録をしている生涯学習団体。（71団体）
事業の内容	生涯学習団体を対象として、平方東小学校、芝川小学校、富士見小学校の特別教室の一部を市民に開放する。

## ●事業費決算額の推移

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決 算 額	699 千円	2,248 千円	1,754 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
利用団体登録	33団体	42団体	71団体	
利用件数	373件	409件	672件	
利用者数（延べ人数）	3,967人	4,445人	7,676人	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>生涯学習や社会教育の場を確保し推進するために、土日・夜間など学校教育の空き時間帯を開放することにより、市民の学びの場や交流の場として生涯学習団体の活動拠点として活用されている。本年度は、富士見小学校の特別教室の一部を新たに開放したことや市民体育館が利用できなかったことにより、登録団体・利用件数が急増した。</p> <p>また、開放施設を利用して上尾市まなびすと指導者バンク活動推進会議に市民講座を委託し開催しており、市民が自発的・主体的に生涯学習活動に参加するきっかけ作りとなっている。</p>
（特記事項） （今後の方向性等）	<p>市民の学習を支援するために、富士見小学校にプロジェクター・スクリーンとマイク・アンプを備品として設置した。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目 標 指 標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	利用団体登録	71団体	80団体	90団体
	利用件数	672件	700件	730件
	利用者数（延べ人数）	7,676人	8,000人	8,500人

事業番号 51	生涯学習指導者活動推進事業	担当	生涯学習課
---------	---------------	----	-------

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート
施策	施策3 生涯学習機会の提供

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	学んだ成果の活用、市民の学びたい事業の実施を行うため、生涯学習指導者の活動の支援を行う。
事業の対象 対象数	市民、上尾市まなびすと指導者バンク活動推進会議会員 74人・生涯学習推進員 15人
事業の内容	市民講座を上尾市まなびすと指導者バンク活動推進会議（上尾市まなびすと指導者バンクに登録している有志で構成された団体）に委託し、学校開放（特別教室）を利用し開催し、様々な分野の学習機会を市民に提供している。また、生涯学習推進員があげおふるさと学園を市と協働で企画・運営している。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	302 千円	444 千円	431 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
市民講座（実施講座数）	29講座	28講座	51講座	実施講座数
市民講座（参加者数）	359人	464人	617人	参加者数

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>市民講座については、余暇の充実、生きがいを求める市民が多くなり、学びたいときに気軽に学べる環境作りとして、上尾市まなびすと指導者バンク活動推進会議に委託し、学校開放（特別教室）施設を活用し、市民講座を開講している。特に今年度は、富士見小学校が学校開放に対応したことにより、会場が増えたため実施講座数・参加者数共に増加している。しかし、講座内容によっては、参加者が少なく中止に至る講座もあり、運営の方法について検討が必要である。</p> <p>生涯学習推進員による「あげおふるさと学園」については、郷土あげおを知るという内容はおおむね好評であるが、事業の新しい企画が難しくなっている。</p>
	<p>（今後の方向性等）</p> <p>持記事項</p> <p>生涯学習推進員の行う事業の見直しが必要となっている。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
B	市民講座（実施講座数）	51講座	60講座	65講座
	市民講座（参加者数）	617人	700人	750人



事業番号 52	成人式事業	担当	生涯学習課
上尾市教育振興基本計画の体系			
基本目標	基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート		
施策	施策3 生涯学習機会の提供		

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	20歳を迎えた若者、あるいは迎える者が、社会人としての自覚を高めるために実施する。
事業の対象 対象数	平成4年4月2日から平成5年4月1日までに出生した市内在住の者。現在市外在住でも、中学校卒業時点で市内に在住していた者。2,099名（男性：1,066 女性：1,033 平成24年11月現在）
事業の内容	新成人の限りない前途を祝福し、「成人式」を行う。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	2,406千円	2,370千円	991千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
成人式対象者	2,178人	2,144人	2,099人	
成人式参加者	1,618人	1,593人	1,533人	
参加率	74.29%	74.30%	73.03%	参加者/対象者×100

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>成人式は、社会人としての自覚を高め、大人としての意識をつけることを目的として、毎年実施している事業である。公募及び各中学校から選出された成人代表者（各校男女1名ずつ）が、事前の企画から当日の司会・市民憲章朗読・誓いの言葉などの運営にかかわることにより、式典参加者にとっても、より身近な成人式となる。特に混乱もなく和やかに進行されている。</p> <p>平成24年度からは成人記念品（クオカード500円券）を廃止したため、決算額が大幅に下がっているが、事業実施に当たっては特に問題はなかった。</p>
（今後の方向性等） 特記事項	

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	成人式参加率	73.03%	75%	76%

事業番号 53	子ども大学 あげお・いな・おけがわ	担当	生涯学習課
---------	-------------------	----	-------

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート
施策	施策3 生涯学習機会の提供

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	地域の大学や他市町村、企業、NPO、県と連携して、子どもの知的好奇心を刺激する学びの場を提供する。
事業の対象 対象数	上尾市、伊奈町、桶川市内在住の小学4年生から6年生 定員 60名
事業の内容	物事の原理や仕組みを学ぶ「はてな学」、地域を知り、ふるさとを愛する心を育てる「ふるさと学」、人生や将来について考える「生き方学」を中心とした講義を行う。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	— 千円	0 千円	0 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
全参加者数	—	60人	61人	
平均参加率	—	94.6%	85.6%	出席者数/全参加者数×100
子ども大学参加満足度	—	75.8%	76.5%	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>子ども大学は、小学4年生から6年生までのいろいろな学校・学年の子どもたちが、大学や地域の施設等を活用して学ぶという趣旨で実施している事業である。上尾市は桶川市・伊奈町と合同で、聖学院大学・日本薬科大学の協力によって開校しているが、大学教授や地域の専門家が、家庭や学校では学べないような一味違ったテーマについて分かりやすく講義し、子どもたちの知的好奇心を満足させる学びの機会となっている。平成24年度は、全5日の講義を行い61人の子どもたちが課程を修了した。</p>
持記事項 (今後の方向性等)	<p>3日目には上尾市内にある中井遺跡を見学し、古代の生活について学んだ。</p> <p>また、県が主催した子ども大学発表会・交流会に代表の10名が参加し、他の子ども大学生と交流した。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
	子ども大学参加満足度	76.5%	78%	80%

事業番号 54

公民館講座事業

担当

生涯学習課

## 上尾市教育振興基本計画の体系

基本目標	基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート
施策	施策3 生涯学習機会の提供

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	市民の教養や健康増進などの向上を図るとともに、地域における自主的・主体的な生涯学習を推進する。
事業の対象 対象数	市民の年齢や性別を問わず、広く市民を対象とする。
事業の内容	生涯学習の場の提供として、6公民館で講座事業を実施する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	3,111千円	2,937千円	3,286千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
講座数	140講座	136講座	130講座	公民館まつりを除く
講座参加者数（延べ人数）	9,687人	10,104人	10,549人	公民館まつりを除く

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>社会教育法に基づく社会教育施設として、上尾・上平・平方・原市・大石・大谷の6つの公民館があり、上尾市の生涯学習や社会教育を実践する場として基幹的な役割を担ってきた。各種教室・講座やイベント等を実施し、平成24年度には、全公民館で130講座、10,549人の参加を得て、堅調な公民館講座事業の運営を行っている。</p> <p>また、学んだ内容を発表する場として、例年どおり各公民館では公民館まつりを実施した。</p>
（持記事項） （今後の方向性等）	

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	講座参加者数（延べ人数）	10,549人	11,000人	11,000人

事業番号 55	人権教育推進事業（生涯学習課所管分）	担当	生涯学習課
---------	--------------------	----	-------

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート
施策	施策4 人権教育の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	市民を対象に、差別意識の解消に向けた人権教育・啓発を充実し、市民一人一人の人権意識の高揚を図る。
事業の対象 対象数	・市民 ・市内小中学校の児童生徒 18,857人
事業の内容	上尾市人権教育推進協議会の開催及び、北足立北部地区人権教育推進協議会や各種団体が開催する研修会・会議等への参加。 市内小中学校児童生徒の人権標語コンクールの実施。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	1,017 千円	985 千円	991 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
人権標語作品応募点数	19,400点	18,705点	18,867点	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>21世紀は「人権の世紀」と言われ、全ての人々の人権が尊重され平和で豊かな社会の実現に向けた様々な取り組みが進められているが、今なお同和問題をはじめ、女性への暴力、子どもや高齢者への虐待、インターネットを悪用した人権侵害があり、24年度中にも新たな差別事象の発生が続いている状況である。そこで、差別のない社会の実現と充実した人権教育を行うため、各種人権研修会・会議等への参加や、集会所における各種講座・市民を対象とした研修会を実施するなどして、職員だけでなく市民一人ひとりの人権意識の高揚を図っている。また、市人権教育推進協議会や人権教育集会所運営委員会において、効果的な事業を実施するための手法等を検討している。さらに、子どもの頃から「人権感覚」を育むことを目的に全小・中学生を対象とした人権標語コンクールを実施し、人権意識の高揚を図ることが出来た。</p>
(持記事項等) 今後の方向性等	<p>多様化・複雑化する人権課題に対応するには、幅広い年齢層に対する教育・啓発が必要なことから、未就園児と保護者が一緒に参加出来る事業を昨年に引き続き実施した。また、小・中学生の頃から人権意識を持つことは重要であることから、学校教育の中で行われる人権教育と相まって児童生徒が人権意識を高めるための事業である「人権標語コンクール」は継続していく必要がある。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	人権標語作品応募点数	18,867点	19,000点	19,000点

事業番号 56

人権教育集会所運営事業

担当

生涯学習課

## 上尾市教育振興基本計画の体系

基本目標	基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート
施策	施策4 人権教育の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	人権教育推進プランを基にして、人権教育推進の拠点施設として、人権意識の普及啓発を行う。
事業の対象 対象数	市民全般
事業の内容	原市集会所・畔吉集会所の主催事業の実施

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	1,680千円	1,573千円	1,825千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
人権教育集会所主催事業参加者数	373人	491人	614人	
人権教育集会所利用者数	24,568人	26,869人	26,774人	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>平成24年度は原市集会所で18事業297人、畔吉集会所で16事業317人の主催事業を実施した。人権教育について啓発するため、多くの市民の参加を図る必要がある中で、これまで高齢者層の参加が多かったが、幅広い年齢層が参加できるよう、親子で参加できるような事業を実施したところ、これまで参加の少なかった若年層の参加を得た。</p>
(今後の方向性等) 持記事項	

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	人権教育集会所利用者数	26,774人	27,000人	27,300人

事業番号 57	ブックスタート事業	担当	図書館
---------	-----------	----	-----

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート
施策	施策5 図書館運営の充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	地域の子育て支援のため、市内の新生児（保護者）を対象に、親子で絵本に親しみ、豊かな情操を育むことを目的に事業を行う。
事業の対象 対象数	新生児（4か月児健康診査時）1,626人
事業の内容	4か月児健康診査時に、市内の新生児（保護者）を対象に絵本と絵本リストを配付する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	3,024千円	3,024千円	2,877千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
絵本配付回数（健康診断実施回数）	24回	24回	23回	
配付率	95.5%	98.2%	99.8%	配付人数／対象者
0歳～6歳 図書館利用者数	1,383人	1,698人	2,351人	
児童書・紙芝居貸出点数	児童書	152,180点	153,654点	152,198点
	紙芝居	3,755点	3,573点	4,140点

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>ブックスタート事業は平成20年度から実施しており、受診率の高い4か月児健診時を利用して、絵本パックを手渡す。早い時期から読書に親しむ環境づくりの一助となっている。職員とボランティアが渡し忘れがないよう配慮することで、毎年ほぼ100%に近い配付率を達成している。また、手渡す際にすべての赤ちゃんに読み聞かせをすることで、保護者に自分の子どもが絵本に興味をもつ姿を見てもらい、早くから絵本に親しませることの重要性を認識してもらうことを大きな目的としている。ブックスタートがきっかけで、図書館の「あかちゃんおはなしかい」に参加するようになったケースや、そこで知り合った親子が自主的に絵本サークルをつくり、子どもの読書活動支援センターを通して指導者の派遣を依頼しているケースなどが見られるようになった。</p>
（今後の方向性等） 持記事項	<p>平成25年7月から、健康推進課の4か月児健診会場が変更になることに伴い、従来のブックスタート事業に加え、健診会場での待ち時間に保護者からの読書相談なども応じられるよう、体制を整える。またブックスタート後のフォローアップとして、保護者向けに啓発講座を年1回行うほか、ブックスタート期の赤ちゃんを対象にした「あかちゃんおはなしかい」を月1回開催し、上尾の子どもたちが誕生から読書に親しむ環境をつくる。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	0歳～6歳 図書館利用者	2,351人	2,400人	2,500人
	配布率	99.8%	100%	100%

## 基本目標Ⅵ

### 文化芸術の創造と文化財の保護

---

#### 施策1 文化芸術活動の推進

事業番号58	文化芸術振興事業
事業番号59	美術展覧会事業
事業番号60	市民音楽祭事業
事業番号61	市民ギャラリー改修事業

#### 施策2 生涯学習施設の整備

事業番号62	文化財調査・保存事業
事業番号63	埋蔵文化財調査事業
事業番号64	文化財保護啓発事業
事業番号65	歴史資料調査事業
事業番号66	古文書整理事業

事業番号 58	文化芸術振興事業	担当	生涯学習課
---------	----------	----	-------

## ●事業の概要

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅵ 文化芸術の創造と文化財の保護
施策	施策1 文化芸術活動の推進
事業の目的 事業の目標	市民の文化・芸術活動の展開や活動団体の育成を支援する。また発表の場を提供して市民が豊かな文化の享受と発信ができるような環境づくりに努める。
事業の対象 対象数	文化団体連合会と、その加盟団体12団体 市内の文化芸術団体、個人
事業の内容	文化団体連合会への補助金の交付 社会教育指導員を配置し、市内の文化芸術団体等の活動支援

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	2,147千円	2,135千円	2,109千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
文化団体連合会加盟団体数	14団体	12団体	12団体	
文化芸術祭参加者数	3,000人	3,000人	3,000人	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>文化団体連合会は、市内で活動する各種の文化芸術団体が加盟する団体である。連携・交流をしながら上尾市の芸術文化振興を担っている。平成24年度で28回目となる「上尾市文化芸術祭」では、様々な文化団体が一堂に会して、展示や公演等を行い、連携や交流が行われている。会の運営は、自立性の高い取組みがなされている。</p> <p>また、市民の文化芸術に関する事業について、名義後援という形で支援した。</p>
(今後の方向性等) 持記事項	<p>文化団体連合会に加盟していない団体や個人に対して、新しい支援方法を検討する必要がある。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
	B	文化団体連合会加盟団体数	12団体	12団体



事業番号 59

美術展覧会事業

担当

生涯学習課

## 上尾市教育振興基本計画の体系

基本目標	基本目標Ⅵ 文化芸術の創造と文化財の保護
施策	施策1 文化芸術活動の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	広く市民の美術活動の普及を図り、市民文化の向上に寄与し、市民の芸術活動を活性化させる。
事業の対象 対象数	市美術展覧会出品者数 522人（平成24年度）
事業の内容	市美術展覧会を開催し、美術の創作活動を行う市民の発表の場を提供する。 また、優秀作品には表彰を行い、さらなる創作活動の励みとする

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	1,206千円	1,332千円	1,261千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
作品出品点数	506点	503点	545点	
入場者数	2,891人	2,571人	2,360人	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>市民ギャラリーや市役所ギャラリーでは、団体や個人の美術展が数多く開催されており、市民の美術活動については、堅調である。こうした中で、市美術展覧会は広く市民から作品を公募し、優秀な作品を表彰するシステムは、より高いレベルの美術活動を目指す市民にとって、その活動を活性化するために重要な事業である。</p> <p>また、事業の運営については、共催する上尾市美術家協会が全面的に参画しており、市民との協働が進んだ事業となっている。</p> <p>この展覧会では、最終日に各部門（写真を除く）ごとに審査員による講評を実施し、出品者の創作活動の支援をすることができた。</p>
（特記事項等） 持記事項	平成24年度から開催要項を改正して、出品点数の制限について緩和したところ、出品点数も増加した。

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定
A

目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
出品作品点数	545点	550点	550点
入場者数	2,360人	2,400人	2,400人

事業番号 60	市民音楽祭事業	担当	生涯学習課
---------	---------	----	-------

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅵ 文化芸術の創造と文化財の保護
施策	施策1 文化芸術活動の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	市民による音楽活動団体に発表の場を提供し、広く音楽活動の普及を図ると共に、実行委員会形式で実施し参加団体間の交流を図る。
事業の対象 対象数	市内で活動する音楽団体
事業の内容	合唱祭、邦楽祭、吹奏楽・器楽祭の3部門で開催。

## ●事業費決算額の推移

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決 算 額	519 千円	540 千円	544 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
参加団体数	48 団体	49 団体	50 団体	・3部門合計参加団体数
入場者数	1,263 人	1,251 人	1,336 人	・3部門合計入場者数

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	平成24年度で39回を数え、市民の音楽グループの発表の場として定着している事業である。邦楽祭については、高齢化の懸念があるが参加団体は協力的であり、堅調な事業実施状況である。合唱祭、吹奏楽・器楽祭についても、参加団体間の交流が活発であり、特に吹奏楽については、学生と社会人の団体の交流が、それぞれの活動の活性化につながっている。
(今後の方向性等) 持記事項	

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定  A	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
	参加団体数(3部門合計)	50	50	50
	入場者数(3部門合計)	1,336	1,400	1,400

事業番号 61 市民ギャラリー改修事業

担当 生涯学習課

## 上尾市教育振興基本計画の体系

基本目標	基本目標Ⅵ 文化芸術の創造と文化財の保護
施策	施策1 文化芸術活動の推進

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	市内の芸術活動団体の発表の場であり、広く市民に芸術鑑賞の場を提供する「市民ギャラリー」の室内環境の改善を行うことにより、より芸術活動しやすい環境を整える。
事業の対象 対象数	市民ギャラリーアリコベール上尾サロン館(JR上尾駅東口)の空調設備、案内表示、LEDスポットライト照明、自動ドア
事業の内容	上尾都市開発株式会社による全館空調設備の入れ替えに伴うギャラリー部分の空調工事の負担や動線をわかりやすくするため案内表示を目立つように改修、スポットライト照明をハロゲンからLED型に変更、ギャラリー入口自動ドア修繕などの環境改善のための改修工事。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	— 千円	— 千円	5,370 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
—	—	—	—	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>市民ギャラリーは上尾駅前のアリコベール上尾サロン館2階にあり、市内・外の芸術グループの発表の場、市民には芸術鑑賞の場として定着しており、ギャラリーの運営は市民の芸術活動の推進に大きく寄与している。本年度は、更新の必要な空調設備の改修、スポットライト照明改修を実施し、今後の安定した運営事業の実施を可能とした。</p> <p>また、市民ギャラリー案内表示の改修や、自動ドアの修繕も併せて実施し、利用環境を向上することができた。</p>
(持記事項等) 今後の方向性等	

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	—	—	—	—

事業番号 62	文化財調査・保存事業	担当	生涯学習課
上尾市教育振興基本計画の体系			
基本目標	基本目標Ⅵ 文化芸術の創造と文化財の保護		
施策	施策2 文化財の保護		

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	文化財保護法や上尾市文化財保護条例に基づいて文化財の保存と活用を図り、市民の文化的向上を図る。
事業の対象 対象数	市内の国・県・市指定・登録の文化財及び未指定・未登録の文化財
事業の内容	未指定及び未登録の文化財の基礎調査。指定・登録文化財の維持管理やそのための交付金の交付や修理のための補助金の交付。文化財周知のため説明板や標柱の設置管理を行う。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	1,556 千円	2,003 千円	4,093 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
市指定・登録文化財の数	113 件	117 件	117 件	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価  (今後の方向性等) 持記事項	<p>本年度は指定・登録文化財の新たな指定・登録はなかったが、文化財の保存継承のための補助事業については2件、説明板の設置については、昨年度指定した文化財について5件実施することができた。また、文化財を紹介する冊子『上尾の指定文化財』の増補版を9年ぶりに発行した。</p> <p>また、上尾市が所有する民俗文化財（民具）2,405点について、データベース化を行い活用することを容易にすることができた。</p>
	<p>法や条例に基づき、文化財を指定・登録し、これを保護継承していくための事業であり、文化財保護行政の根幹をなす重要な事業である。今後は、必要に応じた指定・登録のための調査事業を積極的に実施していきたい。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	市指定・登録文化財の数	117 件	118 件	118 件

事業番号 63	埋蔵文化財調査事業	担当	生涯学習課
上尾市教育振興基本計画の体系			
基本目標	基本目標Ⅵ 文化芸術の創造と文化財の保護		
施策	施策2 文化財の保護		

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	文化財保護法に基づく埋蔵文化財を保護するため、範囲確認や記録保存の調査を実施する。
事業の対象 対象数	埋蔵文化財 周知の埋蔵文化財包蔵地 426か所
事業の内容	周知の埋蔵文化財包蔵地で土木工事等が行われる場合に試掘による確認調査を行い、記録保存すべき遺構・遺物の有無を確認する。遺構・遺物が確認された場合、土木工事等が国庫補助対象であれば発掘調査を実施し、調査報告書を刊行して記録として保存する。また、市が事業者となる土木工事等においても報告書を刊行する。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	4,344 千円	3,762 千円	3,609 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
—	—	—	—	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>埋蔵文化財包蔵地で住宅建設等の開発を実施する場合、発掘調査をする必要があるが、その範囲を確認するために、試掘調査を実施する必要があるが、平成24年度には60件の調査を実施した。試掘調査の依頼があった場合、早急に実施する必要があるが、希望のとおり実施することができた。</p>
(持記事項 今後の方向性等)	<p>事業の性格上、試掘件数の想定は難しい状況にある。平成25年度には景気回復等の影響で試掘件数が増加することが予想される。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	—	—	—	—

事業番号 64	文化財保護啓発事業	担当	生涯学習課
上尾市教育振興基本計画の体系			
基本目標	基本目標Ⅵ 文化芸術の創造と文化財の保護		
施策	施策2 文化財の保護		

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	文化財保護法、上尾市文化財保護条例の趣旨に基づき、市民に対して文化財の活用を図り、その保存継承のための意識啓発と文化財保護に対する理解を深めるために、セミナーや展示会を実施する。
事業の対象 対象数	市民 平成24年度実績 3,533人
事業の内容	あげお歴史セミナー・上尾の文化財展・上尾の歴史展

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	58千円	23千円	42千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
文化財保護啓発事業延べ日数	8日	15日	43日	
文化財保護事業参加延べ人数	242人	977人	3,533人	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>文化財についての知識を体得し、地域の文化や歴史の理解を深めるため、講座を実施することは文化財保護の重要性を啓発するうえで有効な手段である。</p> <p>平成24年度の歴史セミナーは講座と現地見学を組み合わせ実施。文化財展等は市民ギャラリー、尾山台団地、コミュニティセンター、自然学習館で開催したことにより、多くの参加者を得た。</p>
(持記事項等) 今後の方向性等	<p>文化財展については、会場によって展示物の制限もあり、平成24年度と同じ規模での開催は難しい。また、これまでの調査成果の展示を繰り返しているため、新たな展示物の調査事業も必要となる。平成26年度以降は開催回数を縮小し文化財等の調査期間とする。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	文化財保護事業参加延べ人数	3,533人	3,500人	1,000人

事業番号 65・66	<b>歴史資料調査事業・古文書整理事業</b>	担当	生涯学習課
------------	-------------------------	----	-------

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅵ 文化芸術の創造と文化財の保護
施策	施策2 文化財の保護

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	市史刊行事業やその後の調査で収集した歴史資料について、保存と活用を図る。
事業の対象 対象数	歴史的価値のある公文書、諸家文書。旧大谷農協文書のマイクロ化。市指定文化財の古文書デジタル化。
事業の内容	歴史的価値のある公文書の収集。旧役場文書目録の発行（『原市町役場文書目録（上）』）。旧大谷農協文書のマイクロ撮影（250,000コマ）。

## ●事業費決算額の推移

年 度	事業名	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決 算 額	歴史資料調査事業	3,834 千円	3,815 千円	2,608 千円
	古文書整理事業	18,596 千円	14,459 千円	29,400 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
旧役場文書目録の発行	1 (6,820) 上平村役場文書目録（上）	1 (5,776) 上平村役場文書目録（下）	1 (9,050) 原市町役場文書目録（上）	年度1文書発行 ※括弧内は掲載点数
旧大谷農協文書 マイクロ化	撮影コマ数	70,378 コマ	121,196 コマ	250,000 コマ
	進捗率	46.3 %	64.6 %	100 %

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>市史編さん事業で収集した歴史資料について、保存・活用を図るための事業を実施している。平成24年度については、原市役場文書目録（上）について計画通り発行することができた。また、保存措置のために実施してきた旧大谷農協文書の2,910点、約630,000コマのマイクロフィルム化が完了した。</p>
（持記事項） （今後の方向性等）	<p>旧大谷農協文書については、今後活用しやすいように、資料の分類を行って、文書目録の作成を進める必要がある。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	文書目録の刊行	1 冊	1 冊	1 冊

## 基本目標Ⅶ

### 健康で活力に満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進

---

#### 施策1 スポーツ推進計画の策定

#### 施策2 スポーツ施設の整備・充実

- 事業番号67 学校施設開放(スポーツ振興)事業
- 事業番号68 市民体育館大規模改造(耐震補強)事業

#### 施策3 スポーツ・レクリエーション事業の充実

- 事業番号69 スポーツ大会等開催事業 【再Ⅶ-5】
- 事業番号70 スポーツ教室・講演会開催事業 【再Ⅶ-4】

#### 施策4 スポーツ指導者の育成

- 事業番号70(再掲) スポーツ教室・講演会開催事業

#### 施策5 スポーツ・レクリエーション活動の支援

- 事業番号69(再掲) スポーツ大会等開催事業



## 事業番号 67 学校施設開放（スポーツ振興）事業

担当 スポーツ振興課

## 上尾市教育振興基本計画の体系

基本目標	基本目標Ⅶ 健康で活力に満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進
施策	施策2 スポーツ施設の整備・充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	学校施設開放（校庭・体育館）の利用にあたり、随時、施設・備品等の修繕を行い、利用者の利便性を確保する。
事業の対象 対象数	市内在住・在勤・在学の人（平成24年度実績） 校庭（小学校22校・中学校11校）206,930人 体育館（小学校22校・中学校11校）209,601人 夜間照明付き校庭開放（東小）760人 総計 417,291人
事業の内容	学校施設（体育館、校庭）の開放のために、修善、備品の交換、補充や固定テントの設置等を行う。 平成23年度は東日本大震災の影響により、節電対策のため夜間照明付き校庭開放を中止していたが、平成24年度については、4月より通常通り貸出を行った。

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	5,636千円	2,884千円	3,937千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
学校開放登録団体数	568団体	552団体	536団体	学校開放利用団体名簿
学校開放施設利用者数	426,000人	323,000人	417,291人	学校開放月例利用報告書

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	生涯スポーツ・レクリエーションの需要増大が見込まれる中、年間延べ41万7千人以上の市民が学校開放施設を利用しており、身近な社会体育施設として有効に活用されている。 また、学校開放用トイレの多くは昭和52年ごろに設置されており、老朽化しているため、改修などを計画的に進める必要がある。
（持記事項） （今後の方向性等）	学校開放用トイレの改修などに合わせ、利用者の意見を考慮し修繕等を検討したい。

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
B	学校開放施設利用者数	417,291人	420,000人	420,000人

事業番号 68	市民体育館大規模改造（耐震補強）事業	担当	スポーツ振興課
---------	--------------------	----	---------

上尾市教育振興基本計画の体系	
基本目標	基本目標Ⅶ 健康で活気に満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進
施策	施策2 スポーツ施設の整備・充実

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	平成23年3月11日発生の東日本大震災により、市民体育館メインアリーナは、柱や床に大きな被害を受け、利用を中止していた。安心・安全・快適な市民体育館を目指し、耐震補強と合わせて大規模改造を実施した。
事業の対象 対象数	平成21年度 市民体育館利用者数 212,746人 平成22年度 市民体育館利用者数 192,839人 平成23年度 市民体育館利用者数 114,120人 平成24年度 市民体育館利用者数 58,814人
事業の内容	安心・安全・快適な市民体育館を目指し、耐震補強と合わせて内・外装や空調・設備等の大規模改造

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	— 千円	— 千円	573,362 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
—	—	—	—	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>平成23年3月11日の東日本大震災により、市民体育館メインアリーナは柱や床に大きな被害を受け、利用を中止し、平成24年9月から平成25年3月にかけて大規模改造（耐震補強）工事を行い、平成25年4月にリニューアルオープンした。</p> <p>安心・安全・快適な市民体育館を目指すという目的は概ね達成することができた。</p>
特記事項 (今後の方向性等)	<p>大規模改造（耐震補強）工事も完了し、平成25年4月1日からの営業再開と合わせ、指定管理者制度を導入した管理運営を行い、利用者サービスの向上と適正な管理運営を目指す。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	市民体育館利用者数	58,814人	220,000人	230,000人

事業番号 69

## スポーツ大会等開催事業

担当

スポーツ振興課

## 上尾市教育振興基本計画の体系

基本目標	基本目標Ⅶ 健康で活気に満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進	
施策	施策3 スポーツ・レクリエーション事業の充実	施策5 スポーツ・レクリエーション活動の支援

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	様々な大会を開催し、生涯スポーツ・レクリエーションの普及、振興を図る。またそれらの大会を通じ、心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する。
事業の対象 対象数	(24年度実績) ○いきいきライフ大運動会 831人      ○市民体育祭 約5,000人 ○上尾シティマラソン 9,374人      ○市民駅伝競走大会 401チーム・3,174人
事業の内容	生涯スポーツ及びスポーツレクリエーションの振興を図るために、各種大会を実施する。

## ●事業費決算額の推移

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決 算 額	22,683 千円	23,191 千円	24,008 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
大会の開催日数	4日	3日	4日	
上尾シティマラソン参加者数	9,641人	8,805人	9,374人	

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価	<p>上尾シティマラソンをはじめとする平成24年度各種大会については、スポーツ推進委員・上尾市体育協会並びに中学生や看護学校の学生等の協力を得て運営ができた。</p> <p>特に上尾シティマラソンについては、年々参加者が増え、全国各地から多くの参加者を迎え、上尾市最大のスポーツイベントとして開催された。大会運営に当たっては、体協加盟団体を中心としたボランティアスタッフや市内11校の中学生など約1,000人の協力を得て大会を実施できた。</p>
特記事項 (今後の方向性等)	<p>平成24年度に引き続き、上尾シティマラソンのハーフ日本人男子大学生1・2位の選手及びコーチがニューヨークシティハーフマラソンから招待を受ける。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定	目 標 指 標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
A	上尾シティマラソン参加者数	9,374人	9,500人	9,700人

事業番号 70	スポーツ教室・講演会開催事業	担当	スポーツ振興課
---------	----------------	----	---------

上尾市教育振興基本計画の体系			
基本目標	基本目標Ⅶ 健康で活気に満ちたスポーツ・レクリエーション活動の推進		
施策	施策3 スポーツ・レクリエーション事業の充実	施策4 スポーツ指導者の育成	

## ●事業の概要

事業の目的 事業の目標	スポーツ教室等の開催により、スポーツ関係団体の指導、育成のほか、健康体力づくりに役立つ企画等を実施し、生涯スポーツ・レクリエーションの向上を目指した環境整備を推進する。		
事業の対象 対象数	○長生きスポーツ教室 延べ453人 ○アクアエクササイズ教室 延べ136人 ○スポーツ推進委員研修会（レベルアップ研修会） 17人		
事業の内容	○指導者の育成・市民の健康づくりのためにスポーツ教室や講演会等を実施する。		

## ●事業費決算額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
決算額	386 千円	406 千円	323 千円

## ●評価指標

指標名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	指標の説明
教室・講演会開催事業日数 (一般向け)	15日	16日	16日	
教室・講演会開催事業日数 (指導者向け)	5日	1日	1日	
教室・講演会参加者数 (一般向け)	423人	539人	589人	延べ参加数
教室・講演会参加者数 (指導者向け)	97人	22人	17人	延べ参加数

## ◎教育委員会の評価の結果

教育委員会の評価 (今後の方向性等)	<p>生涯スポーツ・レクリエーションの推進を図るうえで、スポーツを楽しむ環境づくりやスポーツ指導者の育成が不可欠であることから、長生きスポーツ教室、アクアエクササイズ教室やスポーツ推進委員研修会などを開催した。</p> <p>アクアエクササイズについては、普段身体を動かす機会が少ない参加者も楽しみながら運動することができ、参加者にたいへん好評であった。</p> <p>また、長生きスポーツ教室については各公民館事業に組み入れてもらい、スポーツ推進委員を派遣し実施しているが、参加者からも大変好評であり定着してきている。</p>
	<p>アクアエクササイズについては、健康プラザわくわくランドでも同様な事業があり、事業の内容について再検討を行い、スポーツ振興にふさわしい事業を考えていきたい。</p>

## 次年度以降の目標設定

事業評価判定  B	目標指標	平成24年度実績	平成25年度	平成26年度
	教室・講演会開催事業日数	17日	18日	18日
	教室・講演会参加者数	606人	790人	640人

平成25年度（平成24年度実施事業対象）  
教育委員会の事務に関する点検評価 報告書

---

発行 上尾市教育委員会

〒362-8501

埼玉県上尾市本町三丁目1番1号

電話 048(775)5111(代表)

編集 上尾市教育委員会事務局

教育総務部 総務課

電話 048(775)9469

FAX 048(776)2250

E-Mail s721000@city.ageo.lg.jp

---



夢・感動教育 あげお